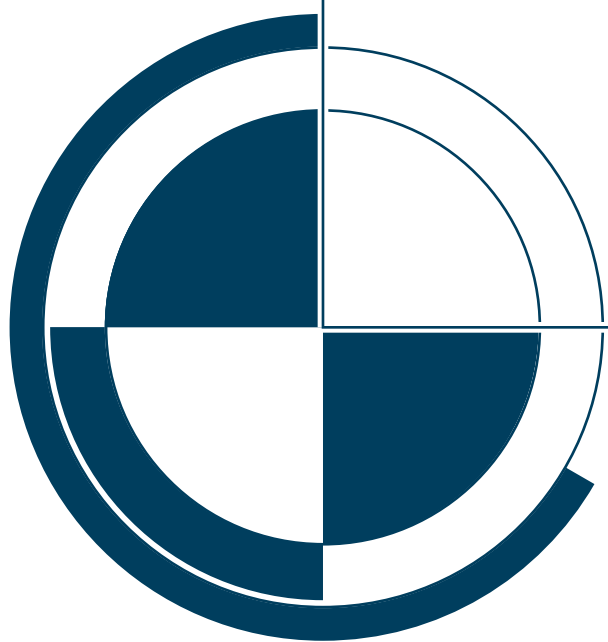




使用説明書

応用編

▶ **KM-2540/KM-3040**

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

使用説明書

本製品の用紙の補給方法、コピーの基本的な操作、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

使用説明書 応用編（本書）

コピー機能の詳細、各種の初期設定などについて説明しています。

かんたん早わかり本

本製品のコピー機能を一覧にして紹介しています。

FAX System (P) 使用説明書（KM-2540 Type F または KM-3040 Type F のみ）

ファクスの操作、ファクスに必要な設定などについて説明しています。

参考：KM-2540 または KM-3040 でファクスを使用するためには、オプションのファクスキットが必要です。

目次

	正しくお使いいただくために	iii
1	コピー機能	1-1
	給紙元の選択	1-2
	原稿サイズ選択	1-3
	コピー枚数の設定	1-6
	原稿セット向きの設定	1-7
	仕分けコピー	1-9
	ステープルコピー	1-10
	ページ集約コピー	1-11
	とじしろコピー	1-14
	センター移動コピー	1-16
	枠消しコピー	1-17
	ページ番号	1-20
	表紙付け	1-22
	小冊子（シート原稿）	1-23
	小冊子（見開き原稿）	1-25
	書き込み余白	1-26
	連続読み込みコピー	1-28
	試しコピー	1-29
	再コピー	1-30
	自動回転コピー	1-32
	排紙先選択	1-33
	エコプリント	1-34
	白黒反転コピー	1-35
	鏡像コピー	1-35
	原稿サイズ混載コピー	1-36
	プログラムコピー	1-38
	機能登録キーの設定	1-40
	応用コピー	1-42
2	出力管理機能	2-1
	出力管理機能について	2-2
	出力管理機能を使用するには	2-3
3	システムメニュー	3-1
	初期設定	3-2
	手差しトレイ用紙設定	3-29
	原稿サイズ登録	3-30
	ドラムリフレッシュ	3-31
	レポート出力	3-32
	トータルカウンタの参照と印刷	3-35
	言語切替	3-36
4	部門管理	4-1
	部門管理について	4-2

部門編集	4-4
部門管理集計	4-12
部門管理の設定	4-15
部門管理初期設定	4-16
部門管理時の操作	4-22
5 困ったときは	5-1
トラブルが発生した場合	5-2
こんな表示が出たら	5-5
付録	付録 -1
用紙について	付録 -2
機能組み合わせ表	付録 -10
用語集	付録 -15
区点コード表	付録 -18
索引	索引 -1

正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDL は、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- PowerPC は IBM 社の米国、その他における商標です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の商標です。
- 本製品はウィンドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornado™ を用いて開発されました。
- 本製品がエミュレートしている HP LaserJet の制御言語である PCL6 は、米国 Peerless Systems Corporation が開発した互換システム PeerlessPrintXL を使用しています。PeerlessPrintXL は米国 Peerless Systems Corporation (2381 Rosecrans Ave. El Segundo, CA 90245, U.S.A.) の商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク® の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Times は、Linotype-Hell AG の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbats は、International Type-face Corporation の登録商標です。
- 本製品は Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には ™ および ® は明記しておりません。

IBM プログラムのご使用条件

お客様がご購入された機器には、International Business Machines Corporation（以下 IBM といいます）が所有権を持つ—またはそれ以上の「プログラム」が含まれています。本「IBM プログラムのご使用条件」には、お客様がこれらのプログラムをご使用いただく場合の条件が記載されています。本「IBM プログラムのご使用条件」にご同意いただけない場合、お客様は機器を取得された日から 14 日以内に返却することで代金全額の返金を受けることができます。機器の取得から 14 日以内に当該機器の返却が行われない場合、お客様はこのご使用条件にご同意いただいたものとみなされます。

この「プログラム」は使用許諾されるものであって、売買の対象ではありません。IBM もしくはお客様の国の IBM は、お客様に対して「プログラム」を取得された国内における使用権のみを許諾します。お客様はこの使用条件のもとで認められた権利のみを有します。

「プログラム」とは、プログラムの原本およびその全体または部分的複製物（改変複製物または他のプログラムに組み込まれた部分を含みます。）を意味します。IBM は「プログラム」の著作権を所有しているか、もしくは権原者より使用権を取得しています。

1. 使用権

本使用権の下でお客様は「プログラム」が導入された機器と共に「プログラム」を使用し、また「プログラム」の使用権および機器の所有権を第三者に移転することができます。「プログラム」の使用権を移転する場合、お客様は本「IBM プログラムのご使用条件」およびその他のすべての関連資料を当該第三者に移転しなければなりません。その移転に伴いお客様の使用権は終了します。移転先の第三者は「プログラム」を最初にご使用になったことにより本「IBM プログラムのご使用条件」に同意いただいたものとします。

お客様は、

- 1) この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、改変、結合もしくは、移転すること、
- 2) 「プログラム」を逆アセンブルもしくは逆コンパイルすること、
- 3) 「プログラム」を再使用許諾、賃貸、貸与することはできません。

2. 保証の内容と制限

「プログラム」は現状するままの状態を提供されます。この「プログラム」には、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証はありません。国または地域によっては法律の強行規定により、上記の保証の制限が適用されない場合があります。

3. 責任の制限

IBM がこの使用条件で負う全ての責任は以下のものです。

- 1) 本使用権に関する、いかなる形式のいかなる性立て（契約不履行が含まれます。）に対しても、IBM の賠償責任は実際の直接損害に対してのみ、
 - a) お客様が居住する国の通貨で 25,000 米国ドル相当額、もしくは、
 - b) 当該「プログラム」の IBM 価格のうちの大きい方の金額を限度とする金銭賠償責任に限られます。

この制限は、IBM が法的責任を負うお客様に生じた身体、生命および有体物に対する損害賠償には適用されません。

IBM は、IBM または IBM 認定再販売者の掠の有無を問わず発生した逸失利益、特別損害、付随的損害、間接損害、あるいはその他の拡大損害について責任を負いません。

IBM は第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害について責任を負いません。

本項の責任の制限は、IBM に「プログラム」を提供した「プログラム」開発者に対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は IBM および「プログラム」開発者に対して重複して損害賠償を請求することはできません。ここでの「プログラム」開発者とは、この項で利益を受ける者をいいます。国または地域によっては、法律の強行規定により上記の責任の制限の規定が適用されないことがあります。

4. その他

お客様はいつでも使用権の使用を解除できます。お客様が本ご使用条件に違反した場合には、IBM はこの使用契約を解約できます。この場合、お客様は「プログラム」のすべての複製を破棄、滅却しなければなりません。「プログラム」を使用することで発生するいかなる税金のお支払いもお客様の負担とします。この使用契約に基づく請求権は、請求のいかににかかわらずその原因が発生した日から 2 年を経過したときに時効により消滅するものとします。お客様が「プログラム」をアメリカ合衆国で取得された場合にはニューヨーク州の法律が適用されます。カナダで取得された場合にはオンタリオ州の法律が適用されます。その他の国で取得された場

合には、取得した国の法律が適用されます。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェイス」）のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。
いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
10. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の (b) (3) (ii) 項または (c) (1) (ii) 項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 (c) (2) 項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1 コピー機能

コピーの詳細な機能について説明しています。

2 出力管理機能

出力管理機能について説明しています。

3 システムメニュー

本機の全般に関わる初期設定について説明しています。

4 部門管理

部門管理の設定方法について説明しています。

5 困ったときは

エラーが表示されたときなど、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。

付録

本機で利用できる用紙、機能と設定の組み合わせについての一覧表、本書で使われている用語を説明しています。

本書の読みかた

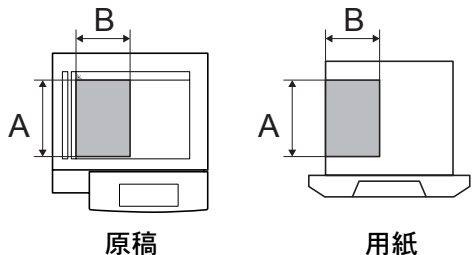
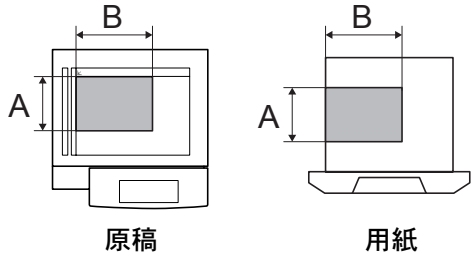
本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	操作パネルおよびタッチパネル上のキーを示します。	[スタート] キーを押してください。
「太字」	タッチパネルに表示されるメッセージを示します。	「コピーできます」が表示されます。
参考	補足説明や操作の参考となる情報が書かれています。	参考：－
注意	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項が書かれています。	注意：－

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズの表記について説明します。

A4 や B5 のように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、原稿 / 用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」を付けて表記しています。

セット方向	表記サイズ※1
縦向き  原稿 用紙 原稿 / 用紙の A より B が短い。	A4、B5、A5、B6、A6
横向き  原稿 用紙 原稿 / 用紙の A より B が長い。	A4R、B5R、A5R、B6R、A6R

※1 使用できる原稿 / 用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは各機能または給紙段のページを参照してください。

1 コピー機能

この章では次の内容を説明します。

- 給紙元の選択 ...1-2 ページ
- 原稿サイズ選択 ...1-3 ページ
- コピー枚数の設定 ...1-6 ページ
- 原稿セット向きの設定 ...1-7 ページ
- 仕分けコピー ...1-9 ページ
- ステープルコピー ...1-10 ページ
- ページ集約コピー ...1-11 ページ
- とじしろコピー ...1-14 ページ
- センター移動コピー ...1-16 ページ
- 枠消しコピー ...1-17 ページ
- ページ番号 ...1-20 ページ
- 表紙付け ...1-22 ページ
- 小冊子（シート原稿） ...1-23 ページ
- 小冊子（見開き原稿） ...1-25 ページ
- 書き込み余白 ...1-26 ページ
- 連続読み込みコピー ...1-28 ページ
- 試しコピー ...1-29 ページ
- 再コピー ...1-30 ページ
- 自動回転コピー ...1-32 ページ
- 排紙先選択 ...1-33 ページ
- エコプリント ...1-34 ページ
- 白黒反転コピー ...1-35 ページ
- 鏡像コピー ...1-35 ページ
- 原稿サイズ混載コピー ...1-36 ページ
- プログラムコピー ...1-38 ページ
- 機能登録キーの設定 ...1-40 ページ
- 応用コピー ...1-42 ページ

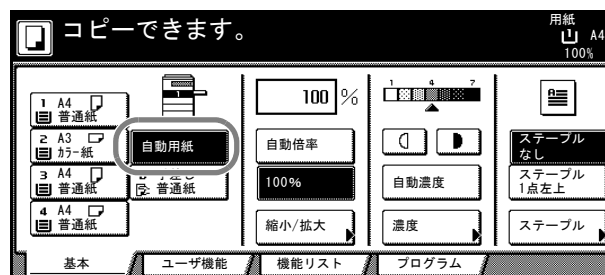
給紙元の選択

給紙元のカセットまたは手差しトレイを変更して、用紙サイズを選択します。

給紙元を選択する操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
【自動用紙】 キーが選択されている場合は、原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。

参考：コピー初期設定で自動用紙を選択させないようにできます。詳細は 3-6 ページの**用紙選択**を参照してください。



- 2 用紙サイズを変更する場合は、用紙サイズを押して、給紙元を選択してください。
 手差しトレイを使用する場合は、**使用説明書の 2 章、カセットおよび手差しトレイのサイズを操作パネルで設定**を参照して、用紙サイズと用紙種類を設定してください。
- 3 **【スタート】** キーを押してください。コピーが開始されます。

原稿サイズ選択

原稿の読み込みサイズを設定することができます。不定形サイズ of 原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを設定してください。

原稿サイズの選択方法は次のとおりです。

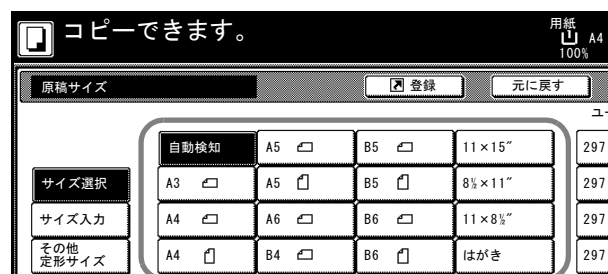
- **定形サイズ**—定形サイズから選択します。(A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6、B6R、A6R、11 × 15"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、はがき)
- **その他定形サイズ**—特殊な定形サイズから選択します。(11 × 17"、8 1/2 × 14"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 5 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"、Folio、往復はがき、8K、16K、16KR)
- **原稿サイズ入力**—定形サイズに表示されていないサイズの場合は、原稿サイズを入力します。
- **ユーザ登録サイズ**—ユーザ登録で設定している原稿サイズを選択します。原稿サイズをユーザ登録サイズに設定するには、3-30 ページの**原稿サイズ登録**を参照してください。

定形サイズ

定形サイズを設定する手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
- 3 [原稿サイズ] キーを押してください。
- 4 原稿サイズを選択してください。

[自動検知] を選択すると、セットした原稿と同じサイズを自動的に選択します。



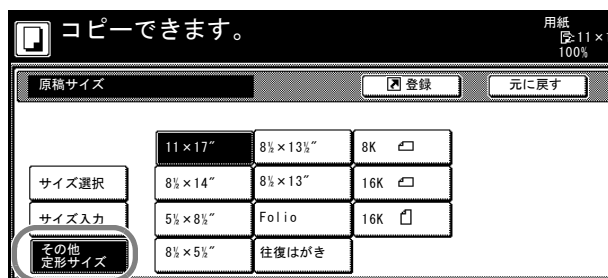
- 5 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

その他定形サイズ

その他定形サイズを設定する手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
- 3 [原稿サイズ] キーを押してください。

- 4 「その他定形サイズ」キーを押してください。

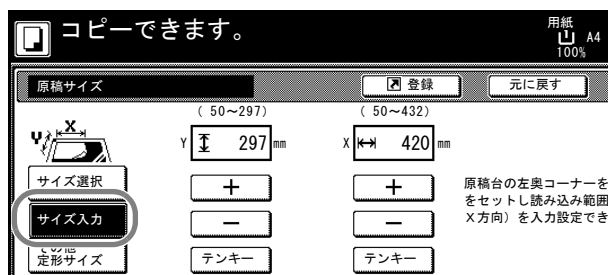


- 5 原稿サイズを選択してください。
- 6 「スタート」キーを押してください。コピーが開始されます。

原稿サイズ入力

原稿サイズを入力する手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 「機能リスト」キーを押してください。
- 3 「原稿サイズ」キーを押してください。
- 4 「サイズ入力」キーを押してください。



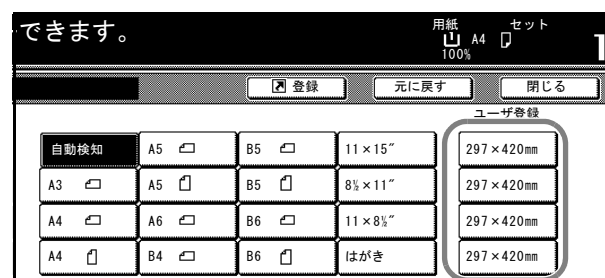
- 5 「+」または「-」キーを押して、「Y」（たて）と「X」（よこ）のサイズを設定してください。
- 6 「スタート」キーを押してください。コピーが開始されます。

ユーザ登録サイズ

ユーザ登録サイズを設定する手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 「機能リスト」キーを押してください。
- 3 「原稿サイズ」キーを押してください。

- 4 「ユーザ登録」から原稿サイズを選択してください。



- 5 「スタート」キーを押してください。コピーが開始されます。

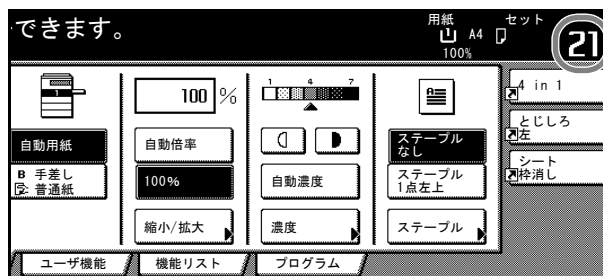
コピー枚数の設定

コピーの枚数を設定します。1回のコピーで999枚まで設定できます。

コピー枚数を設定する手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 テンキーを使って、希望のコピー枚数を設定してください。

参考：設定したコピー枚数を取り消す場合は、[ストップ/クリア]キーを押してください。コピー枚数は1枚に戻ります。



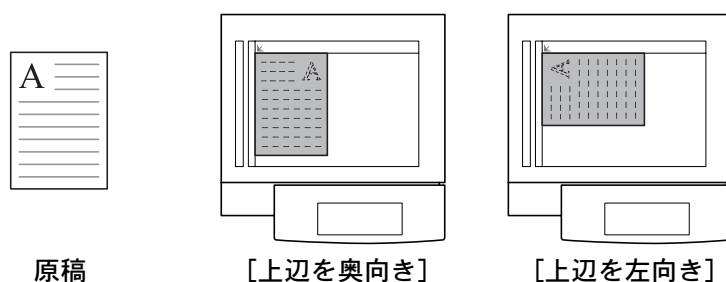
- 3 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

原稿セット向きの設定

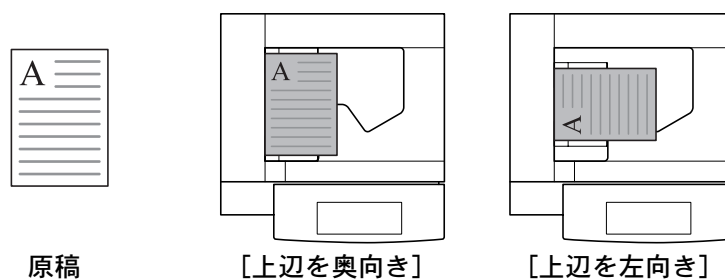
次の機能を使用する場合は、原稿のセット向きを設定する必要があります。

- 両面コピー
- 分割コピー（両面原稿からの分割コピー）
- とじしろコピー
- センター移動
- 枠消しコピー
- ページ集約コピー
- 書き込み余白
- ページ番号
- 小冊子
- ステープルコピー（オプション）

原稿ガラスに原稿をセットする場合



オプションの原稿送り装置に原稿をセットする場合

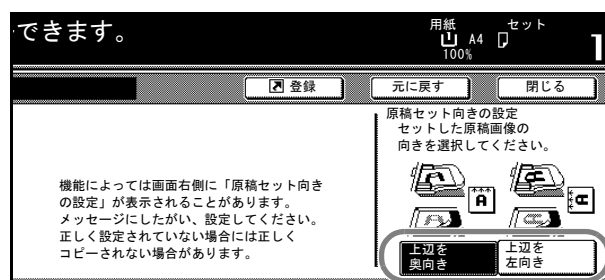


参考：原稿セット向きの初期値を変更することができます。詳細は3-22 ページの**原稿セット向き**の設定を参照してください。

原稿セット向きを設定する手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 3 [原稿セット向き] キーを押してください。

- 4 原稿をセットした向きに合わせて、
〔上辺を奥向き〕または〔上辺を左向き〕キーを押してください。



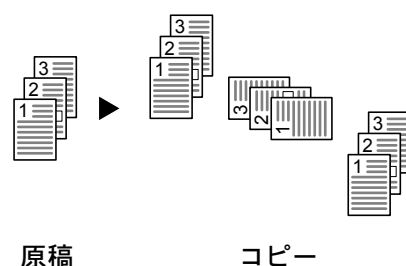
- 5 〔閉じる〕キーを押してください。
- 6 両面コピーなど、原稿セット向きの指定が必要な機能設定を行ってください。
- 7 〔スタート〕キーを押してください。コピーが開始されます。

仕分けコピー

オプションのドキュメントフィニッシャを使用していない場合でも、部数ごとに用紙を 90 度回転させて排紙し、仕分けをすることができます。

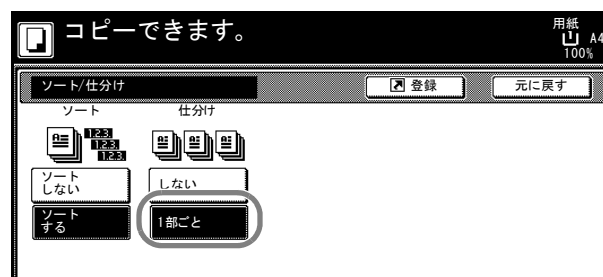
参考：仕分けコピーを行う場合は、同じサイズで向きが異なる用紙がセットされている必要があります。

仕分けコピーに使用できる用紙サイズは、A4、B5、11 × 8 1/2"、16K に限られます。



仕分けコピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 【機能リスト】キーを押してください。
- 2 【ソート/仕分け】キーを押してください。
- 3 【1部ごと】または【ページごと】キーを押してください。



- 4 テンキーを使って、コピー部数を設定してください。
- 5 原稿をセットし、【スタート】キーを押してください。コピーが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットした場合は、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、【スタート】キーを押してください。

次の原稿がなければ、【読み込み終了】キーを押してください。コピーが開始されます。

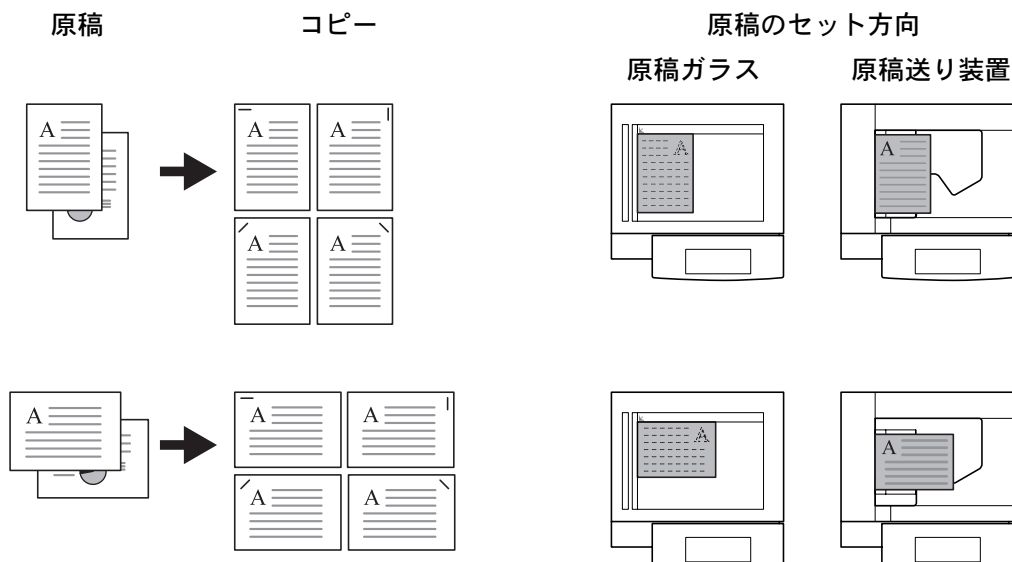
コピーした用紙は部数ごとに仕分けられ、上トレイに排出されます。

ステープルコピー

仕上がったコピーにステープルします。

参考：オプションのドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャが必要です。

原稿のセット方向とコピーにステープルされる位置は次のとおりです。



ステープルコピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 2 [ステープル] キーを押してください。
- 3 [1点止め] キーを押してください。



- 4 ステープルする位置を選択してください。
- 5 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットした場合は、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、[スタート] キーを押してください。

次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。コピーが開始されます。

ページ集約コピー

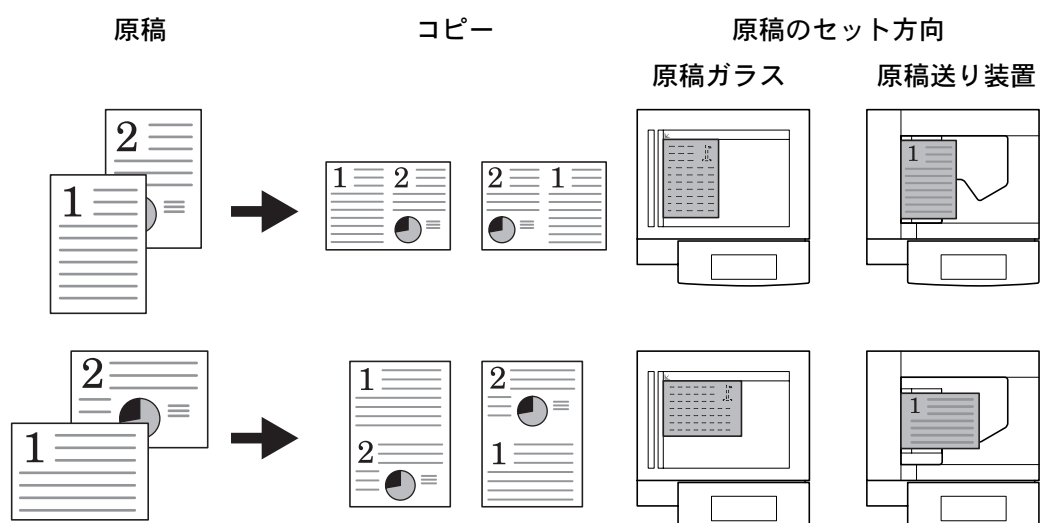
2枚または4枚の原稿を、1枚のコピーに集約することができます。また、各原稿の境界線を実線、点線に入れることもできます。

参考：ページ集約コピーに使用できる用紙サイズはA3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11×17"、11×8 1/2"、8 1/2×11"、8K、16K、16KRです。

2in1 コピー

2枚の原稿を1枚にコピーします。両面コピーと併用すると4枚の原稿を1枚の両面コピーにすることができます。

原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。

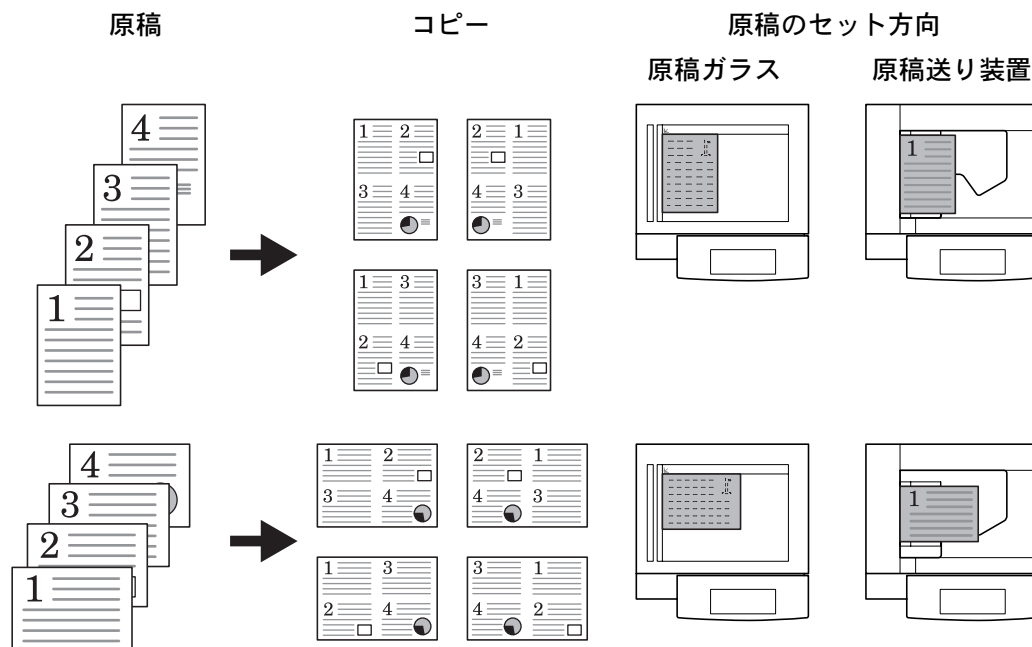


参考：原稿ガラスに原稿をセットした場合は、ページ順にコピーしてください。

4in1 コピー

4 枚の原稿を 1 枚にコピーします。両面コピーと併用すると 8 枚の原稿を 1 枚の両面コピーにすることができます。

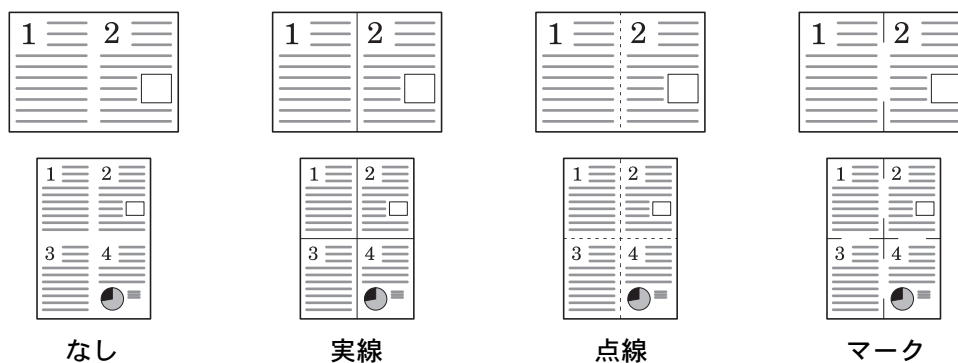
原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。



参考：原稿ガラスに原稿をセットした場合は、ページ順にコピーしてください。

境界線の線種

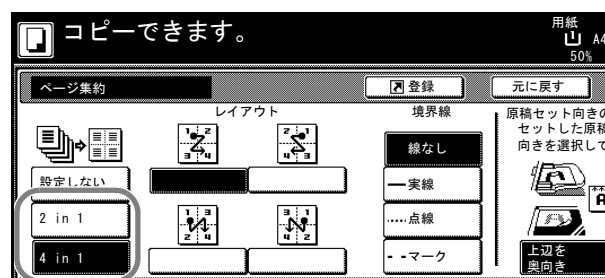
境界線の線種は次のとおりです。



ページ集約コピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押してください。
- 2 [ページ集約] キーを押してください。

- 3 [2 in 1] または [4 in 1] キーを押してください。



- 4 「レイアウト」からページの並び順を選択してください。

- 5 「境界線」から線種を選択してください。

- 6 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットした場合は、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、[スタート] キーを押してください。

次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。コピーが開始されます。

とじしろコピー

原稿の画像の位置をずらしてコピーし、左側（右側）または上側（下側）にとじしろ（余白）を作ります。とじしろ幅は 0 mm ～ 18 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。

うら面のとじしろ設定

両面コピー時に、うら面のとじしろ設定を行うことができます。

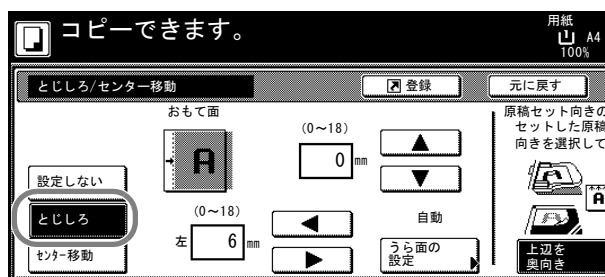
自動—おもて面のとじしろ設定に合わせて自動的にとじしろを設定します。[自動] が設定されている場合は、左右のとじしろをおもて面と反対側に作ります。つまり、おもて面で左側に 10 mm のとじしろが設定されている場合は、うら面には右側に 10 mm のとじしろが設定されます。上下のとじしろはおもて面と同じ設定になります。

おもてうら独立設定—おもて面とうら面を別々に設定できます。

参考：とじしろ幅の初期値を設定することができます。詳細は 3-11 ページの**とじしろ初期値の設定**を参照してください。

とじしろコピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿の上辺が奥または左になるように、原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
- 3 [とじしろ / センター移動] キーを押してください。
- 4 [とじしろ] キーを押してください。

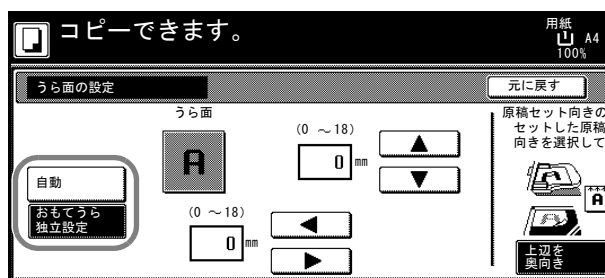


- 5 [▲]、[▼]、[◀] または [▶] キーで上下、左右のとじしろを設定してください。
- 6 両面コピーの場合は、[うら面の設定] キーを押してください。

- 7 [自動] または [おもてうら独立設定] キーを押してください。

[自動] を選択した場合は、おもて面のとじしろ設定に合わせてうら面のとじしろを自動で設定します。

[おもてうら独立設定] を選択した場合は、[▲]、[▼]、[◀] または [▶] キーで上下、左右のとじしろを設定してください。



- 8 セットした原稿に合わせて、「原稿セット向きの設定」から〔上辺を奥向き〕または〔上辺を左向き〕を選択してください。
- 9 〔スタート〕キーを押してください。コピーが開始されます。

センター移動コピー

原稿のサイズよりもコピーする用紙サイズが大きい場合に、画像を中央に移動させてコピーします。

センター移動の操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿の上辺が奥または左になるように、原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
- 3 [とじしろ / センター移動] キーを押してください。
- 4 [センター移動] キーを押してください。



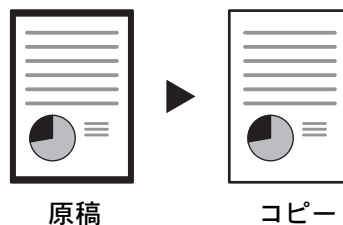
- 5 セットした原稿に合わせて、「原稿セット向きの設定」から [上辺を奥向き] または [上辺を左向き] を選択してください。
- 6 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

枠消しコピー

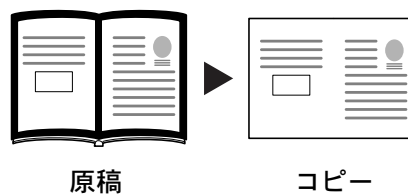
原稿のまわりにできた黒い枠を消去してコピーします。

枠消しコピーには次のモードがあります。

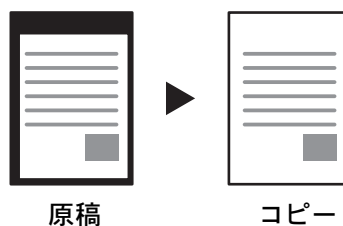
- **シート枠消し**—シート原稿のまわりにできた黒い枠を消す場合に使用してください。



- **ブック枠消し**—分厚い本などをコピーするときに見える、本の回りや中央の黒い枠を消す場合に使用してください。枠消し幅は本の回りと中央を別々に設定できます。



- **個別枠消し**—上下左右の枠消し幅を別々に設定する場合に使用してください。



それぞれのモードで設定できる枠消し幅は 0 mm ～ 50 mm（1 mm 単位）です。

参考：枠消し幅の初期値を設定することができます。詳細は 3-11 ページの**枠消し初期値の設定**を参照してください。

シート枠消し

シート枠消しの操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
- 3 [枠消し] キーを押してください。

- 4 [シート枠消し] キーを押してください。



- 5 [+] または [-] キーを押して、枠消し幅を設定してください。
[テンキー] キーを押すとテンキーで入力することができます。
- 6 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

ブック枠消し

ブック枠消しの操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
- 3 [枠消し] キーを押してください。
- 4 [ブック枠消し] キーを押してください。



- 5 [+] または [-] キーを押して、「外枠」(原稿の回り) と「中枠」(中央) の枠消し幅を設定してください。
[テンキー] キーを押すとテンキーで入力することができます。
- 6 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

個別枠消し

個別枠消しの操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿の上辺が奥または左になるように、原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
- 3 [枠消し] キーを押してください。

- 4 [個別枠消し] キーを押してください。



- 5 原稿をセットした方向に合わせて、「原稿セット向きの設定」から[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]を選択してください。

- 6 [上枠]、[下枠]、[左枠]、[右枠] から枠消し幅を設定する枠を選択してください。

- 7 [+] または [-] キーを押して、枠消し幅を設定してください。

[テンキー] キーを押すとテンキーで入力することができます。



- 8 [閉じる] キーを押してください。他の枠消し幅を設定するには、手順 6 ～ 8 を繰り返して行ってください。

- 9 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

ページ番号

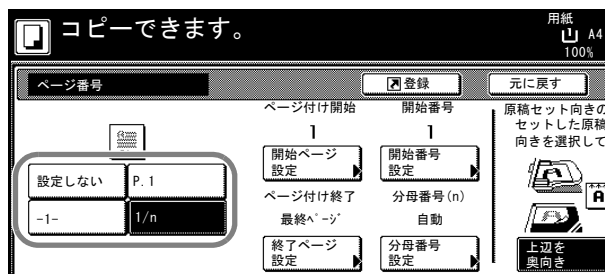
複数枚の原稿からコピーを行うときに、順番にページ番号をつけていくことができます。ページのスタイルは「- 1 -」、[P.1]、[1/n] の3種類があります。[1/n] を選択した場合は、「n」に総ページ数が印刷されます。

ページ番号は、原稿の下側中央に印刷されます。

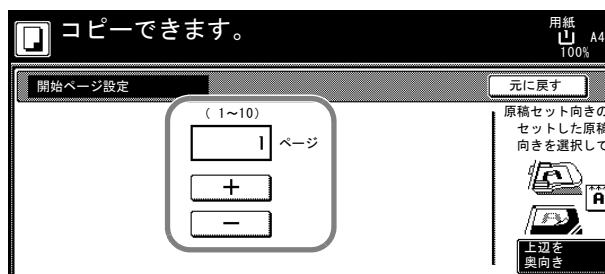


ページ番号の操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿の上辺が奥または左になるように、原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
- 3 [ページ番号] キーを押してください。
- 4 「- 1 -」、[P.1]、[1/n] からページのスタイルを選択してください。



- 5 開始ページが1でない場合、任意のページからページ番号を開始するには「開始ページ設定」キーを押してください。
- 6 「+」または「-」キーで開始ページを設定し、「閉じる」キーを押してください。



- 7 開始番号が1でない場合は、「開始番号設定」キーを押してください。

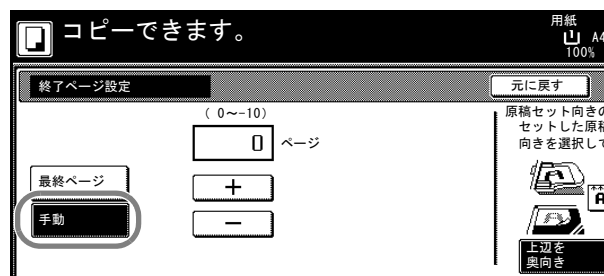
- 8 [＋] または [－] キーで開始番号を設定し、[閉じる] キーを押してください。

[テンキー] キーを押すとテンキーで入力することができます。



- 9 任意のページでページ番号を終了するには、[終了ページ設定] キーを押してください。

- 10 [手動] キーを押してください。



- 11 [＋] または [－] キーで終了ページを設定し、[閉じる] キーを押してください。
- 12 [1/n] を選択している場合、手動で「n」の番号を設定するには[分母番号設定] キーを押してください。
- 13 [手動] キーを押してください。



- 14 [＋] または [－] キーで「n」の番号を設定し、[閉じる] キーを押してください。
[テンキー] キーを押すとテンキーで入力することができます。
- 15 セットした原稿に合わせて、「原稿セット向きの設定」から[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]を選択してください。
- 16 [スタート] キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットした場合は、自動的にコピーが開始されません。

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、[スタート] キーを押してください。

次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。コピーが開始されます。

表紙付け

コピーに表紙を付けることができます。給紙元を変更して、原稿の 1 ページ目および最終ページをカラー紙や厚紙にコピーします。

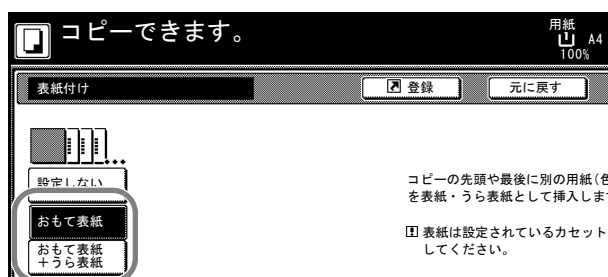
表紙の種類	説明
おもて表紙	おもて表紙として、原稿の 1 ページ目を表紙用の用紙にコピーします。
おもて表紙+うら表紙	おもて表紙とうら表紙として、原稿の 1 ページ目と最終ページを表紙用の用紙にコピーします。

表紙用に使用する用紙は手差しトレイから給紙されます。カセットから給紙させるには 3-8 ページの**表紙用紙カセット設定**を参照してください。

両面コピーを設定している場合は、表紙用の用紙も両面コピーされます。

表紙付けの操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
- 3 [表紙付け] キーを押してください。
- 4 [おもて表紙] または [おもて表紙 + うら表紙] キーを押してください。



- 5 [スタート] キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットした場合は、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、[スタート] キーを押してください。

次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。コピーが開始されます。

小冊子（シート原稿）

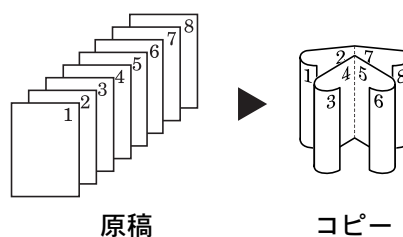
両面または片面原稿を見開き両面にコピーします。仕上がったコピーを重ねて折れば週刊誌やパンフレットのようにすることができます。また、表紙用にカラー紙や厚紙を挿入することもできます。

表紙用に使用する用紙は手差しトレイから給紙されます。カセットから給紙させるには3-8ページの**表紙用紙カセット設定**を参照してください。

参考：小冊子（シート原稿）に使用できる用紙サイズはA3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"に限られます。

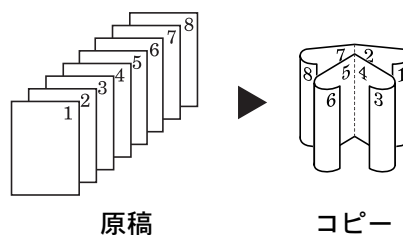
仕上がりが左とじの場合

仕上がったコピーを重ねて折ると、ページが左から右へ進むようにコピーします。



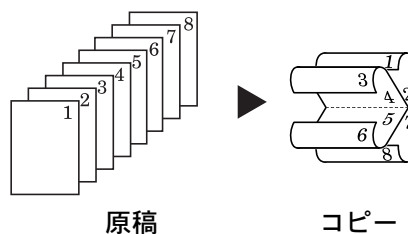
仕上がりが右とじの場合

仕上がったコピーを重ねて折ると、ページが右から左へ進むようにコピーします。



仕上がりが上とじの場合

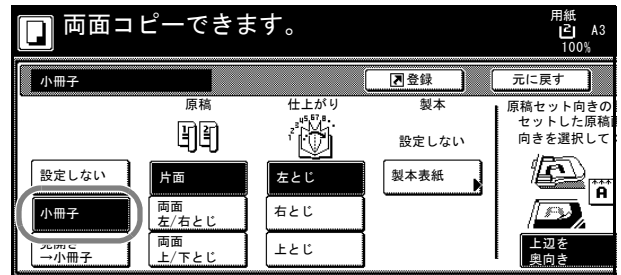
仕上がったコピーを重ねて折ると、ページが上から下へ進むようにコピーします。



小冊子の操作手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押してください。
- 2 [小冊子] キーを押してください。

- 3 「小冊子」キーを押してください。

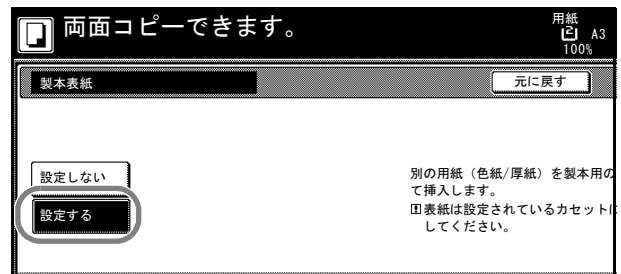


- 4 「原稿」と「仕上がり」からそれぞれのとじ方向を選択してください。

「現在の設定ではコピーできません。原稿、仕上がりの設定を変更してください。」が表示された場合は、原稿セット向きの確認（タッチパネル右側）で原稿の向きが正しいか、原稿と仕上がりの設定が正しいかを確認してください。

- 5 表紙を挿入する場合は「製本表紙」キーを押してください。

「設定する」キーを押して、「閉じる」キーを押してください。



- 6 原稿をセットし、「スタート」キーを押してください。

参考：原稿ガラスにセットする場合は、1枚目の原稿からセットしてください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットした場合は、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、「スタート」キーを押してください。

次の原稿がなければ、「読み込み終了」キーを押してください。コピーが開始されます。

小冊子（見開き原稿）

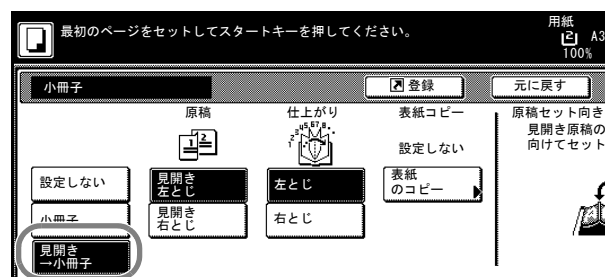
見開き原稿から見開き両面にコピーします。仕上がったコピーを重ねて折れば週刊誌やパンフレットのようにすることができます。また、表紙用にカラー紙や厚紙を挿入することもできます。

表紙に使用する用紙をセットしているカセットを変更することができます。詳細は 3-8 ページの**表紙用紙カセット設定**を参照してください。

参考：小冊子（見開き原稿）に使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11 × 17"、8 1/2 × 11"、8K、また用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11" に限られます。

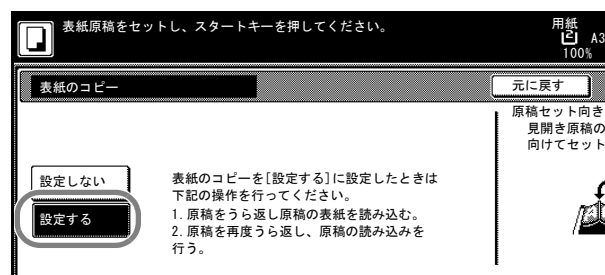
小冊子の操作手順は次のとおりです。

- 1 見開き原稿をセットし、**【機能リスト】** キーを押してください。
- 2 **【小冊子】** キーを押してください。
- 3 **【見開き→小冊子】** キーを押してください。



- 4 原稿と仕上がりを選択してください。
- 5 表紙を挿入する場合は **【表紙のコピー】** キーを押してください。

【設定する】 キーを押して、**【閉じる】** キーを押してください。



- 6 **【スタート】** キーを押してください。原稿の読み込みを開始します。

「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、**【スタート】** キーを押してください。

次の原稿がなければ、**【読み込み終了】** キーを押してください。コピーが開始されます。

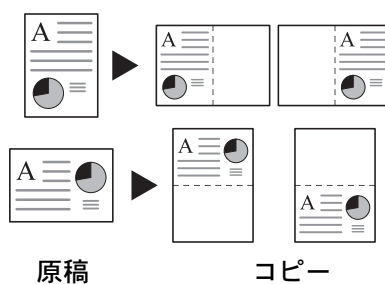
書き込み余白

コピーした用紙にコメントを書き込めるスペースを作ります。また、2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーすることもできます。

参考：書き込み余白に使用できる用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11 × 17"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、8K、16K、16KR です。

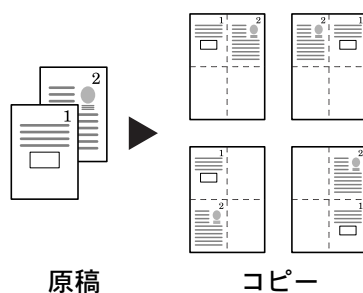
レイアウト A

原稿 1 枚を 1 枚の用紙にコピーし、用紙の半分に書き込めるスペースを作ります。



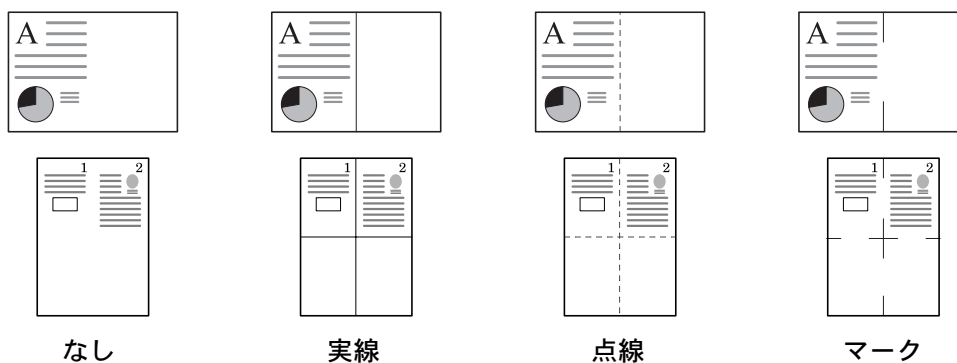
レイアウト B

原稿 2 枚を 1 枚の用紙にコピーし、用紙の半分に書き込めるスペースを作ります。



境界線の線種

境界線の線種は次のとおりです。



書き込み余白の操作手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 2 [書き込み余白] キーを押してください。
- 3 [レイアウト A] または [レイアウト B] キーを押してください。



- 4 「レイアウト」 からページの並び順を選択してください。
- 5 「境界線」 から線種を選択してください。
- 6 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットした場合は、自動的にコピーが開始されます。

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、「次原稿を読み込みます。」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、[スタート] キーを押してください。

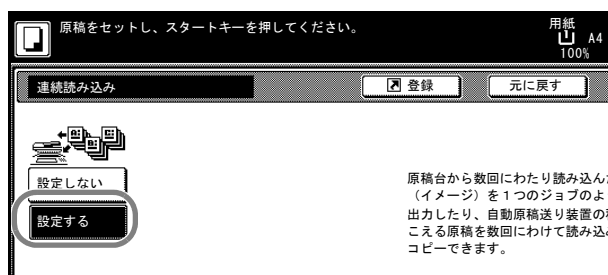
次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。コピーが開始されます。

連続読み込みコピー

オプションの原稿送り装置を使用しなくても、ページ順に並び替えたコピーを必要部数作成することができます。また、原稿枚数が多くて、一度に原稿送り装置にセットできない場合でも、数回に分けて原稿送り装置から読み込み、一括して出力することができます。このモードを使用する場合は、**【読み込み終了】** キーを押すまで原稿を読み込み続けます。

連続読み込みコピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 **【機能リスト】** キーを押してください。
- 2 **【連続読み込み】** キーを押してください。
- 3 **【設定する】** キーを押してください。



- 4 原稿をセットし、**【スタート】** キーを押してください。

次の原稿に入れ替えて、**【スタート】** キーを押してください。同じ手順で残りの原稿を読み込んでください。

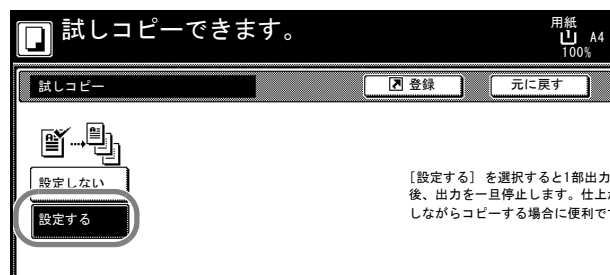
原稿の読み込みがすべて終了したら、**【読み込み終了】** キーを押してください。コピーが開始されます。

試しコピー

大量の部数をコピーする前に1部だけ試しコピーし、確認してから設定した部数を出力できます。また、コピーに問題がある場合は、残りのコピーをキャンセルできるのでミスコピーによる用紙の無駄を省くことができます。

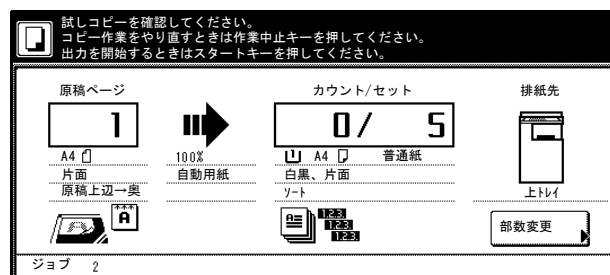
試しコピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 2 [試しコピー] キーを押してください。
- 3 [設定する] キーを押してください。



- 4 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。試しコピーが開始されます。
- 5 試しコピーを1部出力すると、設定した部数を出力するかどうかの確認画面を表示し、本機は待機状態となります。試しコピーを確認してください。

コピーに問題がない場合は、[スタート] キーを押してください。残りの部数の出力を開始します。



コピー部数を変更する場合は、[部数変更] キーを押して部数を変更してください。

コピーに問題がある場合は、[作業中止] キーを押してコピーを中止し、最初から作業をやり直してください。

再コピー

再コピーを設定しておく、コピー終了後に再度コピーが必要となったときに、必要になった部数を追加出力することができます。

参考：再コピーでデータを保持できるのは1件だけです。新しく再コピーのデータが登録されると、古いデータは削除されます。

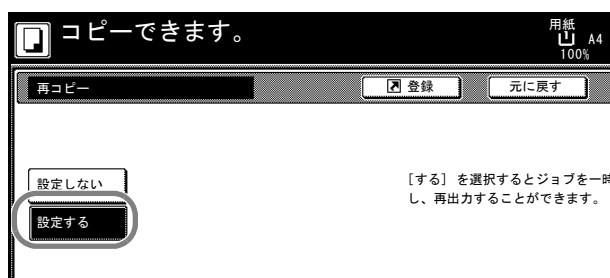
再コピーのジョブは、主電源スイッチを切ると消去されます。

再コピーを禁止したり、初期設定モードで再コピーを設定することができます。詳細は3-12 ページの**再コピー設定**を参照してください。

再コピーの設定

再コピーを設定する手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 2 [再コピー] キーを押してください。
- 3 [設定する] キーを押してください。



- 4 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。コピーが開始され、再コピージョブとして登録されます。

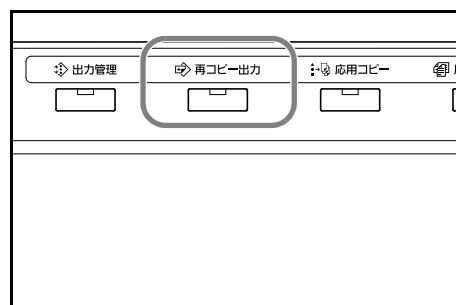
再コピー出力

[再コピー出力] キーを押すと「内容確認 / 再出力」画面が表示され、登録されているジョブの内容を参照することができます。登録されているジョブは、再出力、先頭ページの出力、削除をすることができます。

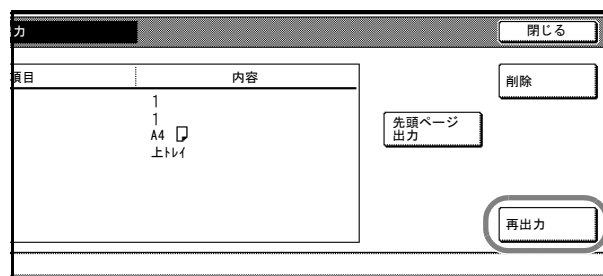
ジョブ再出力

再コピージョブを再出力する手順は次のとおりです。

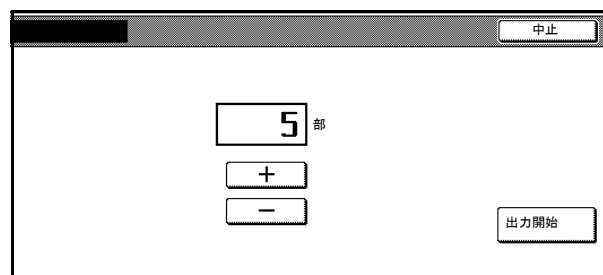
- 1 [再コピー出力] キーを押してください。



- 2 [再出力] キーを押してください。



- 3 [+] または [-] キーを押すか、テンキーで部数を設定してください。



- 4 [出力開始] キーを押してください。出力が開始されます。

先頭ページの出力

再コピージョブを確認するために、最初の 1 ページを出力することができます。

- 1 [再コピー出力] キーを押してください。
- 2 [先頭ページ出力] キーを押してください。再コピージョブの最初の 1 ページが出力されます。

ジョブの削除

登録されている再コピージョブを削除する手順は次のとおりです。

- 1 [再コピー出力] キーを押してください。
- 2 [削除] キーを押してください。
- 3 [はい] キーを押してください。選択したジョブが削除されます。

自動回転コピー

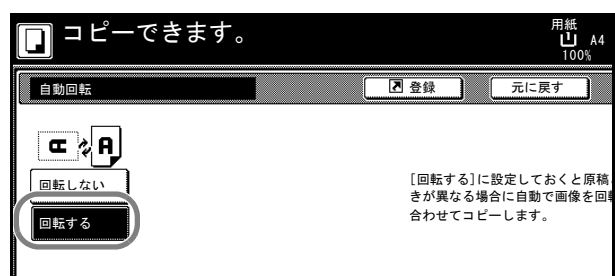
セットした原稿とカセットの中の用紙が同じサイズで向きが異なる場合、画像を反時計回りに 90 度回転してコピーします。

参考：初期設定モードで自動回転コピーするか、しないかを変更することができます。詳細は 3-10 ページの**自動回転コピー設定**を参照してください。

自動回転コピーで利用できる用紙サイズは A4、A4R、A5R、B5、B5R、B6R、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、16K、16KR、はがきに限られます。

自動回転コピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 2 [自動回転] キーを押してください。
- 3 [回転する] キーを押してください。
自動回転が設定されます。



排紙先選択

コピーの排紙先に、オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャを指定することができます。

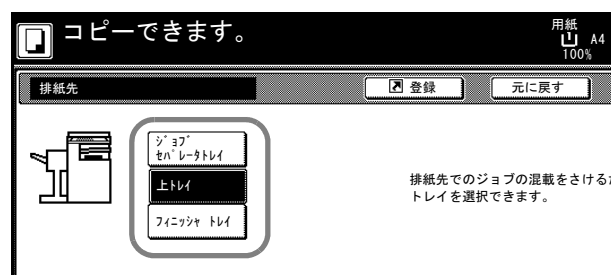
排紙先	説明
上トレイ	本体の上トレイに排紙します。
ジョブセパレータトレイ	オプションのジョブセパレータに排紙します。
フィニッシャトレイ	オプションのドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャのトレイに排紙します。

参考：オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャが必要です。

初期設定モードで設定される排紙先を変更することができます。詳細は 3-23 ページの **コピー排紙先設定** を参照してください。

排紙先を選択する手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 2 [排紙先] キーを押してください。
- 3 排紙先を選択してください。



- 4 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

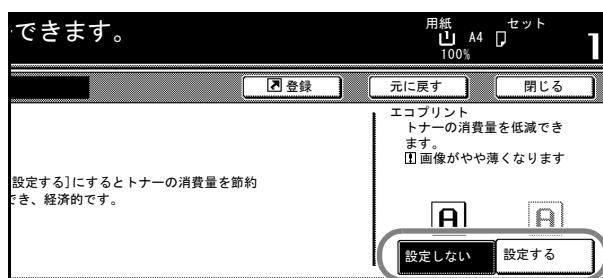
エコプリント

エコプリントを設定するとトナーの消費量が節約できます。試しコピーなど高品質なコピーが必要でないときに使用してください。

参考：画像がやや薄くなります。

エコプリントの操作手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 2 [エコプリント] キーを押してください。
- 3 [設定する] キーを押してください。
エコプリントが設定されます。

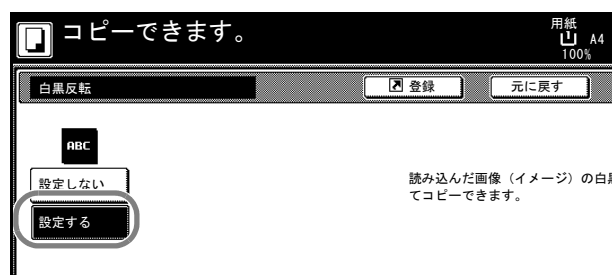


白黒反転コピー

画像の白と黒を反転して（逆にして）コピーします。

白黒反転コピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 2 [白黒反転] キーを押してください。
- 3 [設定する] キーを押してください。
白黒反転コピーが設定されます。

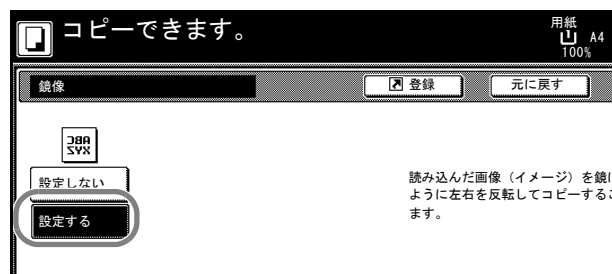


鏡像コピー

原稿を鏡に映したように反転してコピーします。

鏡像コピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 [機能リスト] キーを押し、[▼次へ] キーを押してください。
- 2 [鏡像] キーを押してください。
- 3 [設定する] キーを押してください。
鏡像コピーが設定されます。



原稿サイズ混載コピー

オプションの原稿送り装置に、原稿幅が同じサイズの原稿を一度にセットできます。原稿のサイズを1枚ずつ検知して、それぞれの原稿と同じサイズの用紙に自動的にコピーしたり、同じ用紙サイズに統一してコピーすることができます。

参考：オプションの原稿送り装置が必要です。

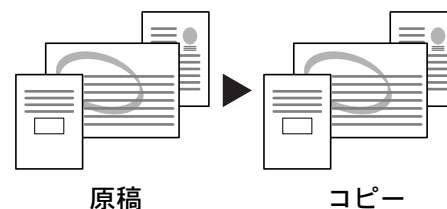
KM-2540 Type F/KM-3040 Type F には原稿送り装置が標準で装着されています。

原稿サイズ混載コピー時に原稿送り装置にセットできる枚数は、最大 30 枚です。

使用できる原稿は A3 と A4 あるいは B4 と B5 で、原稿幅が同じサイズのものにに限られます。

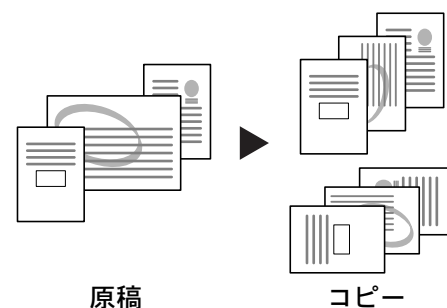
仕上がりサイズ混在

原稿と同じサイズの用紙にコピーします。



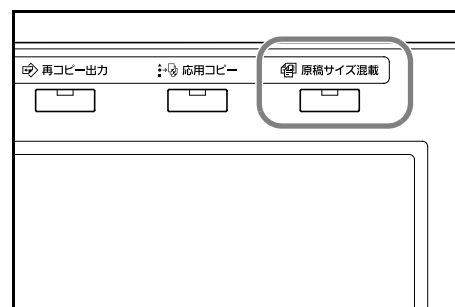
仕上がりサイズ統一

同じ用紙サイズに統一してコピーします。



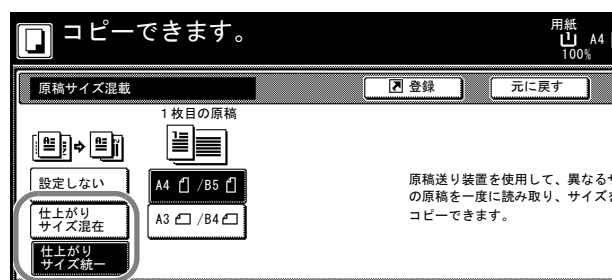
原稿サイズ混載コピーの操作手順は次のとおりです。

- 1 原稿送り装置に原稿をセットしてください。
- 2 [原稿サイズ混載] キーを押してください。



- 3 [仕上がりサイズ混在] または [仕上がりサイズ統一] キーを押してください。

[仕上がりサイズ統一] キーを押した場合は、1 枚目にセットしている原稿サイズを選択し、[閉じる] キーを押してください。[基本] 画面で給紙元を選択してください。



参考：仕上がり時のとじ方向を正しく設定するために、1 枚目の原稿サイズを設定してください。

- 4 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

プログラムコピー

操作パネルに表示しているモードおよび機能の組み合わせを8種類まで登録できます。よく使用する機能をひとつのプログラムとして登録しておけば、プログラム番号を押すだけでその機能呼び出せます。また、プログラムには名称を付けることができます。

プログラムの登録

プログラムを登録する手順は次のとおりです。

- 1 登録したいコピーモードを設定して、[プログラム] キーを押してください。
- 2 [現在の設定を登録] キーを押してください。
- 3 登録するプログラム番号（1～8）を押してください。

- 4 プログラム名を入力して、[入力終了] キーを押してください。

参考：文字の入力方法は、使用説明書を参照してください。

- 5 [はい] キーを押してください。プログラムが登録されます。

プログラムを使ったコピー

登録したプログラムを使ってコピーする手順は次のとおりです。

- 1 [プログラム] キーを押してください。
- 2 呼び出すプログラム番号（1～8）を押してください。

- 3 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。設定したプログラムでコピーをします。

プログラム名称の変更

登録したプログラムの名称を変更する手順は次のとおりです。

- 1 [プログラム] キーを押してください。
- 2 [名称変更] キーを押してください。
- 3 名称を変更するプログラム番号（1～8）を押してください。

名称変更	
名称変更する番号を選んでください。	
1. abc	5. list d
2. list a	6. 登録なし
3. list b	7. file 1
4. list c	8. file 2

- 4 プログラム名を入力しなおして、[入力終了] キーを押してください。

参考：文字の入力方法は、**使用説明書**を参照してください。

- 5 [はい] キーを押してください。変更したプログラム名称が登録されます。

プログラムの削除

プログラムを削除する手順は次のとおりです。

- 1 [プログラム] キーを押してください。
- 2 [削除] キーを押してください。
- 3 削除するプログラム番号（1～8）を押してください。

削除	
削除する番号を選んでください。	
1. abc	5. list d
2. list a	6. 登録なし
3. list b	7. file 1
4. list c	8. file 2

- 4 [はい] キーを押してください。プログラムが削除されます。

機能登録キーの設定

【機能リスト】画面の中から頻繁に使う機能を3つまで機能登録キーに登録することができます。【基本】画面、【ユーザ機能】画面の機能も登録可能です。

機能登録キーの登録

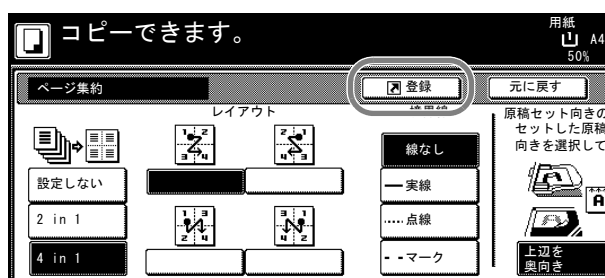
機能登録キーを登録する手順は次のとおりです。

参考：機能登録キーを登録する場合は、3-12 ページの登録ボタンの表示を【表示する】に設定してください。

1 登録したい機能を表示させてください。

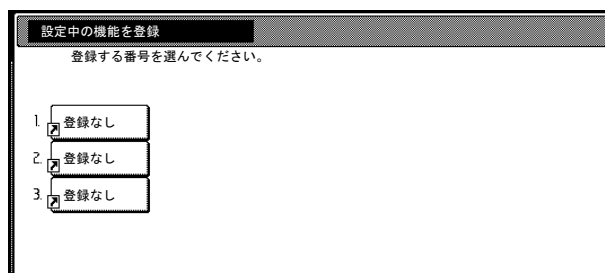
2 【登録】 キーを押してください。

参考：【登録】 キーが表示されている機能は、機能登録キーに登録することができます。



3 【設定中の機能を登録】 キーを押してください。

4 登録する番号（1～3）を押してください。



5 【はい】 キーを押してください。【基本】画面の右側に登録した機能登録キーが表示されます。

機能登録キーの削除

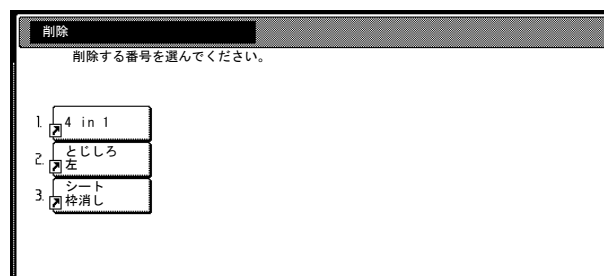
機能登録キーを削除する手順は次のとおりです。

1 機能登録キーを押して、登録している機能を表示させてください。

2 【登録】 キーを押して、「機能登録メニュー」を表示させてください。

3 【削除】 キーを押してください。

- 4 削除する番号（1～3）を押してください。



削除

削除する番号を選んでください。

1. ☒ 4 in 1

2. ☐ とじしろ 左

3. ☐ シート 枠消し

1

- 5 [はい] キーを押してください。機能登録キーが削除されます。

応用コピー

応用コピー機能は原稿を複数回に分けて読み込み、一括してコピーすることができる機能です。一度に読み込む原稿をひとつのステップとして読み込み、ステップごとに拡大/縮小、枠消し、原稿のタイプの指定などを設定することができます。またステップとステップの間に白紙を挿入したり、両面コピー時にステップの最初のページを表紙に設定することもできます。

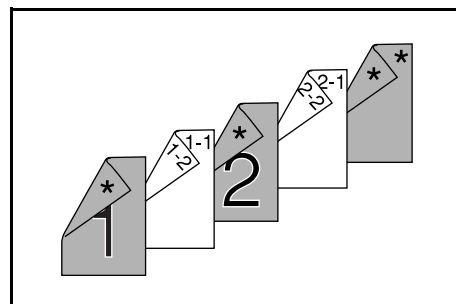
応用コピーの手順

応用コピーを以下の例で行った場合の手順を説明します。

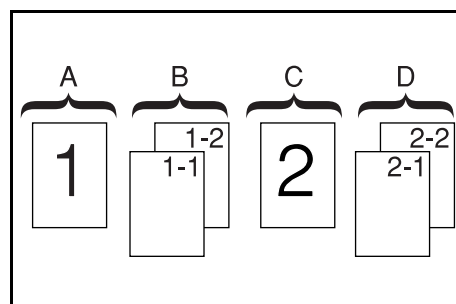
[例]

<仕上がり>

「*」は白紙を、グレーの用紙はカラー紙を示します。



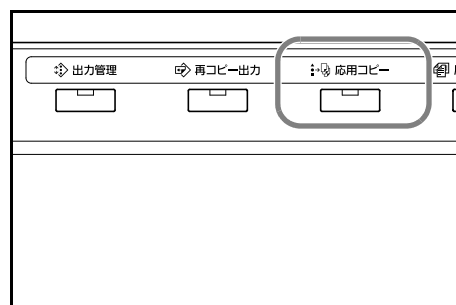
<原稿>



参考：表紙に使用するカラー紙が手差しトレイにセットされ、普通紙がカセット1にセットされているものとします。

「応用コピー」画面を表示させる。(ステップ 1)

- 1 [応用コピー] キーを押してください。



全ステップの共通設定

両面コピー、再コピーを設定します。

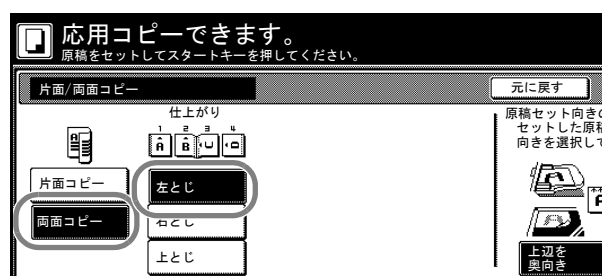
参考：再コピーは後から部数を増やすために設定しておきます。

この例で使用している以外にも各種機能を設定することができます。詳細は 1-46 ページの各機能の設定方法を参照してください。

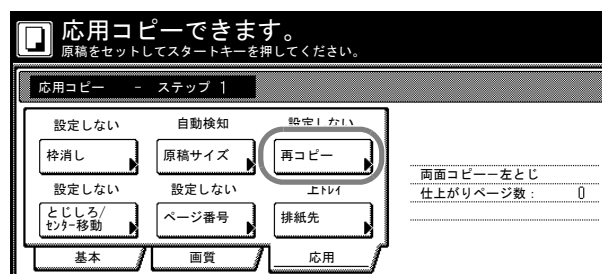
- 2 「片面/両面コピー」キーを押してください。



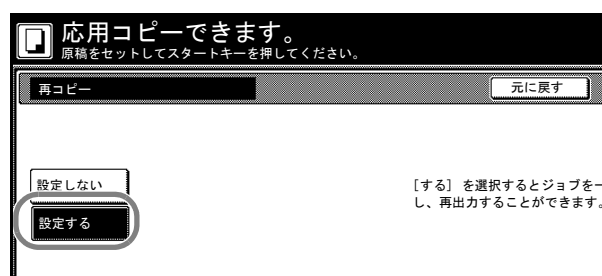
- 3 「両面コピー」キーを押して、「仕上がり」から「左とじ」を選択し、「閉じる」キーを押してください。



- 4 「応用」キーを押して、「再コピー」キーを押してください。

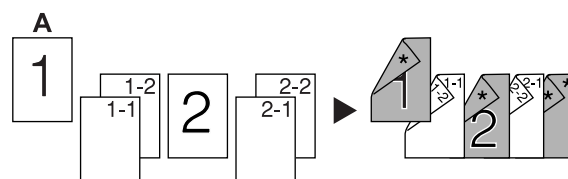


- 5 「設定する」キーを押して、「閉じる」キーを押してください。

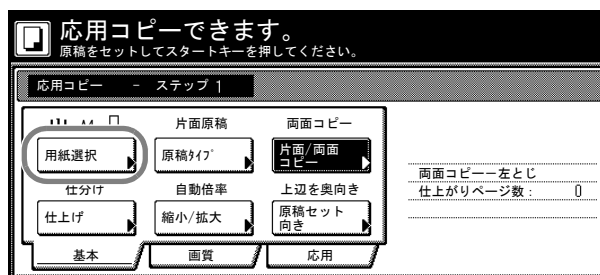


原稿 A の設定

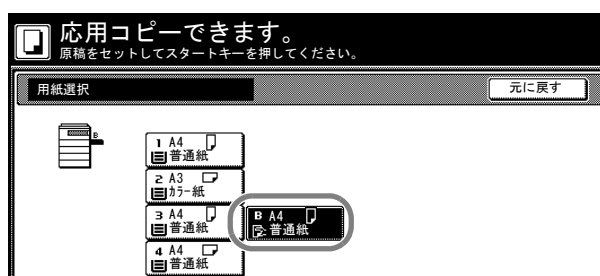
用紙選択で手差しトレイ（カラー紙）を設定します。



- 6 [基本] キーを押して、[用紙選択] キーを押してください。



- 7 手差しトレイを選択して、[閉じる] キーを押してください。

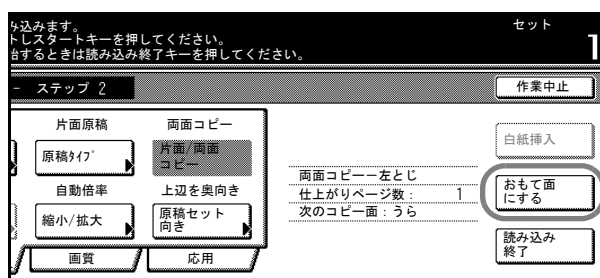


- 8 原稿 A をセットして、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りを開始します。

原稿 A のうら面を白紙に設定（ステップ 2）

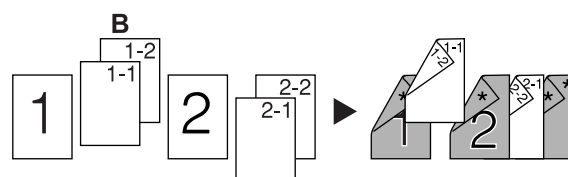
- 9 [おもて面にする] キーを押してください。

用紙のうら面を白紙にして、次の用紙からコピーします。



原稿 B の設定（ステップ 3）

用紙選択でカセット 1（普通紙）を設定します。

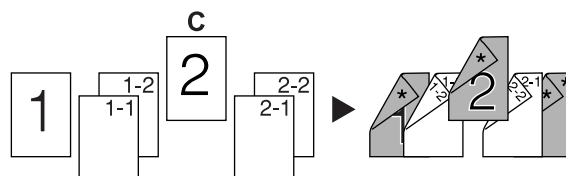


- 10 [用紙選択] キーを押してください。

- 11 カセット 1 を選択して、[閉じる] キーを押してください。
- 12 原稿 B をセットして、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りを開始します。

原稿 C の設定（ステップ 4）

用紙選択で手差しトレイ（カラー紙）を設定します。

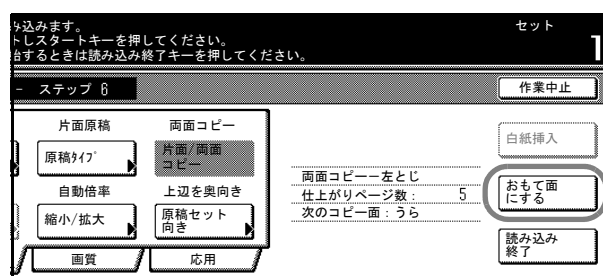


- 13 [用紙選択] キーを押してください。
- 14 手差しトレイを選択して、[閉じる] キーを押してください。
- 15 原稿 C をセットして、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りを開始します。

原稿 C のうら面を白紙に設定（ステップ 5）

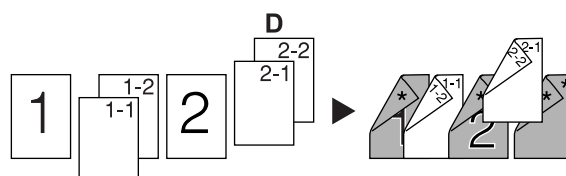
- 16 [おもて面にする] キーを押してください。

用紙のうら面を白紙にして、次の用紙からコピーをします。



原稿 D の設定（ステップ 6）

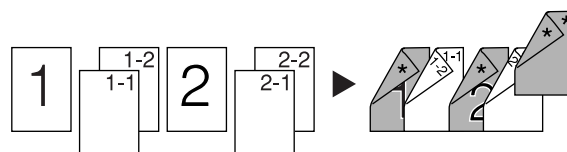
用紙選択でカセット 1（普通紙）を設定します。



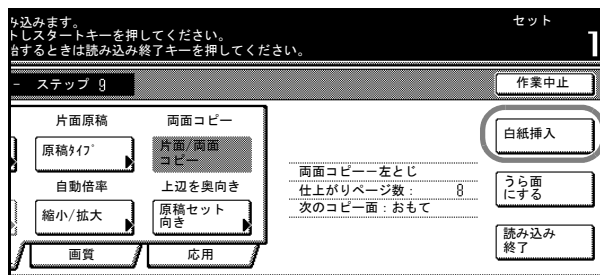
- 17 [用紙選択] キーを押してください。
- 18 カセット 1 を選択して、[閉じる] キーを押してください。
- 19 原稿 D をセットして、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。

うら表紙に白紙のカラー用紙を設定（ステップ 7）

用紙選択で手差しトレイ（カラー紙）を設定します。



- 20 [用紙選択] キーを押してください。
- 21 手差しトレイを選択して、[閉じる] キーを押してください。
- 22 [白紙挿入] キーを押してください。



- 23 以上で原稿の読み込みが完了しました。[読み込み終了] キーを押してください。出力を開始します。
 - 24 出力が問題なければ、再コピーで必要な部数を出力します。詳細は 1-30 ページの再コピーを参照してください。
- 以上で作業は完了です。

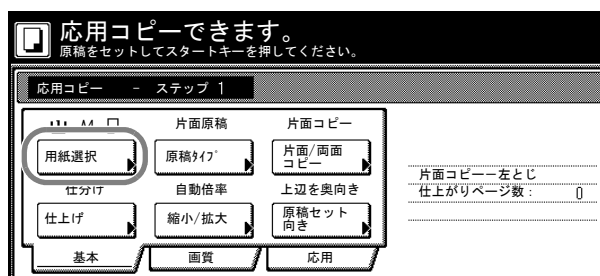
各機能の設定方法

応用コピー時に使用できるコピー機能について説明します。

用紙選択

用紙サイズを選択します。

- 1 [基本] キーを押して、[用紙選択] キーを押してください。



- 2 カセットまたは手差しトレイを選択し、[閉じる] キーを押してください。

原稿タイプ

セットする原稿に合わせて、原稿のタイプを設定します。設定できる原稿のタイプは次のとおりです。

原稿のタイプ	説明
片面原稿	片面のシート原稿です。
両面原稿	両面のシート原稿です。
見開き原稿	雑誌や本などの見開きの原稿です。

- 1 [基本] キーを押して、[原稿タイプ] キーを押してください。
- 2 [片面原稿]、[両面原稿] または [見開き原稿] を選択してください。
[両面原稿] を選択した場合は、原稿のとじ方向の確認と、原稿のセット向きの確認をしてください。
[見開き原稿] を選択した場合は、原稿のとじ方向の確認をしてください。

参考：[両面原稿] キーは、オプションの原稿送り装置を装着している場合に表示されます。

- 3 [閉じる] キーを押してください。

片面 / 両面コピー

仕上りを [片面コピー] と [両面コピー] から選択します。

- 1 [基本] キーを押して、[片面 / 両面コピー] キーを押してください。

参考：片面 / 両面コピーの設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 [片面コピー] または [両面コピー] キーを押して、「仕上がり」でとじ位置を選択してください。
- 3 セットする原稿に合わせて、原稿のセット向きを確認してください。

参考：原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

- 4 [閉じる] キーを押してください。

仕上げ

仕分けの設定をします。設定できる内容は次のとおりです。

- 仕分け…1 部ごとに出力を 90 度回転させて仕分けをします。
- ステープルコピー…オプションのドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャを使用して、ステープルコピーします。

- 1 [基本] キーを押して、[仕上げ] キーを押してください。

参考：仕上げの設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 仕分けの設定を行う場合は、[1 部ごと] キーを押してください。詳細は 1-9 ページの仕分けコピーを参照してください。

ステープルの設定を行う場合は、[ステープル設定] キーを押して、設定を行ってください。詳細は 1-10 ページのステープルコピーを参照してください。

- 3 セットする原稿に合わせて、原稿のセット向きを確認してください。

参考：原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

- 4 [閉じる] キーを押してください。

縮小 / 拡大

コピー倍率を設定します。

- 1 [基本] キーを押して、[縮小 / 拡大] キーを押してください。

- 2 コピー倍率を設定します。

縮小 / 拡大コピーの設定方法については、使用説明書の 3 章、縮小 / 拡大コピーを参照してください。

- 3 [閉じる] キーを押してください。

原稿セット向き

セットした原稿に合わせて、原稿のセット向きを設定します。

- 1 [基本] キーを押して、[原稿セット向き] キーを押してください。

- 2 [上辺を奥向き] または [上辺を左向き] を選択してください。

参考：原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

- 3 [閉じる] キーを押してください。

読み込み濃度

濃度を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動	自動濃度モードを設定します。
手動	手動濃度モードを設定します。

- 1 [画質] キーを押して、[濃度] キーを押してください。



- 2 [自動] または [手動] を選択してください。
[手動] を選択した場合は、[うすく] または [こく] キーを押して濃度を調整してください。
- 3 [閉じる] キーを押してください。

原稿の画質

原稿の種類に合わせて画質を選択します。

- 1 [画質] キーを押して、[原稿の画質] キーを押してください。
- 2 画質を選択してください。画質については、使用説明書の3章、画質の選択を参照してください。
- 3 [閉じる] キーを押してください。

エコプリント

エコプリントを設定するとトナーの消費を節約できます。

- 1 [画質] キーを押して、[エコプリント] キーを押してください。

参考：エコプリントは全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

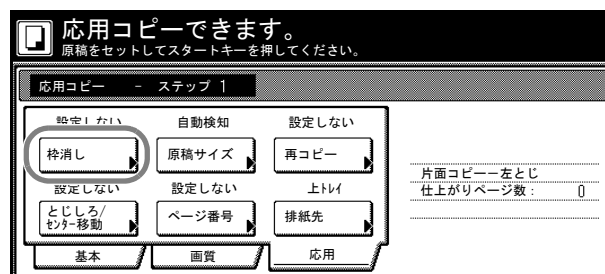
- 2 [設定する] キーを押してください。エコプリントが設定されます。
- 3 [閉じる] キーを押してください。

枠消し

原稿のまわりにできた黒い枠を消去してコピーします。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
シート枠消し	シート原稿のまわりにできる黒い枠を消します。
個別枠消し	上下左右の枠消し幅を別々に設定します。

- 1 [応用] キーを押して、[枠消し] キーを押してください。



- 2 [シート枠消し] または [個別枠消し] キーを押して、枠消し幅を設定してください。詳細は 1-17 ページの枠消しコピーを参照してください。
- 3 [閉じる] キーを押してください。

原稿サイズ選択

原稿のサイズを指定できます。

- 1 [応用] キーを押して、[原稿サイズ] キーを押してください。
- 2 原稿サイズを設定してください。詳細は 1-3 ページの原稿サイズ選択を参照してください。
- 3 [閉じる] キーを押してください。

再コピー

再コピーの設定ができます。再コピーを設定しておくとコピー終了後に追加出力が可能です。

- 1 [応用] キーを押して、[再コピー] キーを押してください。

参考：再コピー設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 再コピーを設定する場合は、[設定する] キーを押してください。詳細は 1-30 ページの再コピーを参照してください。
- 3 [閉じる] キーを押してください。

とじしろ / センター移動

とじしろ（余白）設定およびセンター移動が設定できます。

- 1 [応用] キーを押して、[とじしろ / センター移動] キーを押してください。

参考：とじしろ / センター移動は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 [とじしろ] または [センター移動] キーを押して設定してください。詳細は 1-14 ページのとじしろコピー、1-16 ページのセンター移動コピーを参照してください。
- 3 [閉じる] キーを押してください。

ページ番号

原稿の上から順番にページ番号を付けます。

- 1 [応用] キーを押して、[ページ番号] キーを押してください。

参考：ページ番号設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 ページ番号の設定方法については 1-20 ページのページ番号を参照してください。
- 3 [閉じる] キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

排紙先選択

オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャを排紙先に指定できます。

- 1 [応用] キーを押して、[排紙先] キーを押してください。

参考：排紙先選択はオプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャを装着している場合に表示されます。

排紙先選択は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 排紙先を指定してください。詳細は 1-33 ページの排紙先選択を参照してください。
- 3 [閉じる] キーを押してください。

2 出力管理機能

この章では、本機の出力管理機能について説明します。

- 出力管理機能について ...2-2 ページ
- 出力管理機能を使用するには ...2-3 ページ

出力管理機能について

出力管理機能は、待機中のジョブを管理する機能です。例えば、コピー中にコンピュータからの印刷やファクスの受信があると、出力されるまで待機するジョブが発生します。出力管理機能を使うと、出力中 / 待機中のジョブを一覧で確認することができます。

出力管理機能は次のようなときに便利です。

目的	方法
自分のジョブが何番目に出力されるのを知りたい。	【出力状況】画面で現在のジョブを確認することができます。リストの上から順番に出力されますので、自分のジョブが何番目に出力されるか確認ができます。 (リスト中の「  」はコピージョブ、「  」はプリントジョブ、「  」はファクスジョブを表します。)
自分のジョブが出力されているかどうかを知りたい。	【出力状況】画面を確認してください。【出力状況】画面に表示されている場合はまだ出力されていません。
出力待ちのジョブを早く出力したい。	【出力状況】画面で早く出力したいジョブを選択し、【順位上げる】キーを押してください。出力の順位が上がります。また【割り込み出力】キーを押すと現在の出力を中断し、選択したジョブを割り込ませて出力できます。

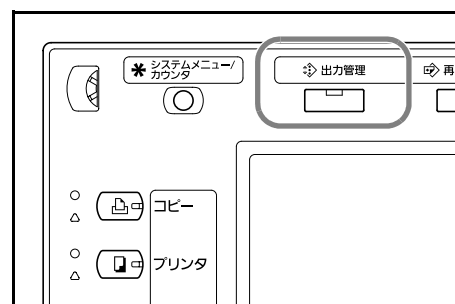
参考：本機をプリンタまたはファクスとして使用するためには、オプションのプリンタキットまたはファクスキットが必要です。

KM-2540 Type F/KM-3040 Type F にはファクスキットが標準で装着されています。

出力管理機能を使用するには

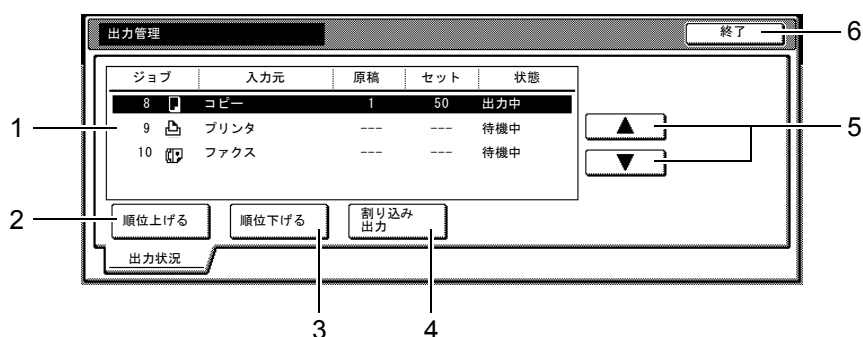
出力管理機能では、【出力状況】画面からジョブを管理します。

【出力管理】キーを押してください。【出力状況】画面が表示されます。



【出力状況】画面

現在の出力状況や待機中のジョブが表示されます。



- 1 ジョブリスト—ジョブの情報を表示します。最上段に現在出力中のジョブを表示し、上から順に出力されます。「ジョブ」の項目にある「」はコピージョブを、「」はプリントジョブを、「」はファクスジョブを表します。
- 2 【順位上げる】キー—選択しているジョブの出力順位を上げます。上から2段目まで移動することができます。
- 3 【順位下げる】キー—選択しているジョブの出力順位を下げます。
- 4 【割り込み出力】キー—現在出力中のジョブを中断し、選択しているジョブの出力を開始します。ジョブはリストの最上段に移動します。
- 5 【▲】キー / 【▼】キー—ジョブを選択するときに使用します。
- 6 【終了】キー—出力管理機能を終了します。【基本】画面または出力中の画面が表示されます。

3 システムメニュー

この章では、本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明します。
設定できる主な内容は次のとおりです。

- 初期設定 ...3-2 ページ
- 手差しトレイ用紙設定 ...3-29 ページ
- 原稿サイズ登録 ...3-30 ページ
- ドラムリフレッシュ ...3-31 ページ
- レポート出力 ...3-32 ページ
- トータルカウンタの参照と印刷 ...3-35 ページ
- 言語切替 ...3-36 ページ

初期設定

本機では、ウォームアップが終了した後や【リセット】キーを押した後の状態を初期設定モードといいます。初期設定モードのときに自動的に設定される内容を初期設定と呼びます。初期設定は**コピー初期設定**、**マシン初期設定**に分かれます。使用のしかたに応じてこれらの設定は自由に変更できます。

コピー初期設定

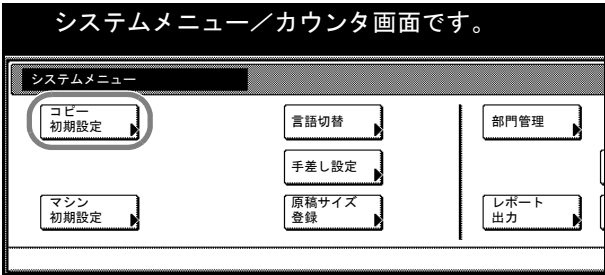
コピー初期設定では次の項目を設定できます。

- 濃度モード設定 ...3-3 ページ
- 濃度ステップ設定 ...3-4 ページ
- 原稿の画質 ...3-4 ページ
- エコプリント設定 ...3-4 ページ
- 地色調整 ...3-5 ページ
- 黒筋軽減処理 ...3-5 ページ
- 用紙選択 ...3-6 ページ
- 自動用紙選択設定 ...3-6 ページ
- 用紙種類の指定（自動用紙） ...3-7 ページ
- 優先カセット設定 ...3-7 ページ
- 表紙用紙カセット設定 ...3-8 ページ
- 自動倍率優先設定 ...3-8 ページ
- 自動濃度調整 ...3-8 ページ
- 手動濃度調整 ...3-9 ページ
- 縮小 / 拡大設定 ...3-9 ページ
- ソート / 仕分けコピー設定 ...3-10 ページ
- 自動回転コピー設定 ...3-10 ページ
- とじしろ初期値の設定 ...3-11 ページ
- 枠消し初期値の設定 ...3-11 ページ
- コピー部数制限 ...3-11 ページ
- 再コピー設定 ...3-12 ページ
- 登録ボタンの表示 ...3-12 ページ
- 画面変更（基本機能） ...3-13 ページ
- 画面変更（追加機能） ...3-13 ページ

「コピー初期設定」画面の表示方法

次の手順にしたがって、「コピー初期設定」画面を表示させてください。

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。
- 2 [コピー初期設定] キーを押してください。



3

- 3 テンキーで4桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は25枚機では2500、30枚機では3000となっています。
暗証番号が合致すれば、「コピー初期設定」画面が表示されます。

参考：4桁の暗証番号は変更することができます。3-26ページの管理者暗証番号変更を参照してください。

- 4 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

濃度モード設定

初期設定モードでの濃度モードを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
手動	手動濃度モードが設定されます。
自動	自動濃度モードが設定されます。

濃度モードについては使用説明書を参照してください。

- 1 3-3ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「濃度モード」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [手動] または [自動] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

濃度ステップ設定

濃度調整の段階数を変更します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
1 ステップ	7 段階の濃度調整ができます。
0.5 ステップ	より細かい 13 段階の濃度調整ができます。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「濃度ステップ」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [1 ステップ] または [0.5 ステップ] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

原稿の画質

初期設定モードでの原稿の画質を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
文字 + 写真	文字と写真が混在する原稿に適しています。
写真	写真などの原稿に適しています。
文字	書類など文字が多い原稿に適しています。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「原稿の画質」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [文字 + 写真]、[写真] または [文字] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

エコプリント設定

初期設定モードでのエコプリントを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
設定しない	エコプリントを設定しません。
設定する	エコプリントを設定します。

エコプリントについては、1-34 ページを参照してください。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「エコプリント」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [設定しない] または [設定する] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

地色調整

コピー後の地色が濃い場合に、うすくすることができます。

項目	説明
うすく	コピーの地色をうすくします。
こく	コピーの地色をこくします。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「地色調整」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [うすく] または [こく] キーを押して、濃度を調整してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

黒筋軽減処理

黒筋軽減処理を設定すると、オプションの原稿送り装置を使用したコピーに黒筋（原稿にない筋状の汚れ）が発生した場合に、黒筋をめだたなくすることができます。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
設定しない	黒筋軽減処理をしません。
設定する（弱く）	黒筋軽減処理を弱めに実行します。
設定する（強く）	黒筋軽減処理を強めに実行します。

参考：黒筋軽減処理を行うときは、まず [設定する（弱く）] を設定してください。それでも黒筋が軽減されない場合は [設定する（強く）] を設定してください。

黒筋軽減処理を行うと細かい文字の再現性が低下しますので、通常は工場出荷時のまま ([設定しない]) をお勧めします。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「黒筋軽減処理」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [設定しない]、[設定する（弱く）] または [設定する（強く）] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

用紙選択

初期設定モードで、原稿をセットしたときの用紙の選択方法を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動用紙	自動的に同じサイズ of 用紙が入ったカセットを選択します。
優先カセット	優先カセット（3-7 ページ参照）で設定されているカセットを選択します。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「用紙選択」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [自動用紙] または [優先カセット] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

自動用紙選択設定

自動用紙選択時に、倍率を変更した場合の用紙サイズの選択方法を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
最適サイズ	変倍後のサイズに合わせて用紙サイズを変更します。
原稿サイズと同じ	変倍後も原稿と同じ用紙サイズのままにしておきます。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「自動用紙選択設定」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [最適サイズ] または [原稿サイズと同じ] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

用紙種類の指定（自動用紙）

自動用紙選択モードで選択する用紙を、用紙種類で限定することができます。例えば[普通紙]を設定すると、同じサイズの用紙がセットされ、用紙種類の設定が普通紙であるカセットを選択します。[設定しない]を設定すると、用紙種類に関係なく、同じサイズの用紙がセットされたカセットを選択します。

設定できる用紙種類は次のとおりです。

普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、上質紙、カスタム 1～8

参考：現在カセットに設定されている用紙種類が選択できます。詳細は 3-16 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「用紙種類の指定（自動用紙）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [設定しない] または [設定する] を選択してください。
[設定する] を選択した場合は、用紙種類を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

優先カセット設定

自動的に優先して使用するカセット（1～4）を選択します。

参考：手差しトレイは優先カセットとして設定することはできません。

「カセット 3」、「カセット 4」はオプションのペーパーフィーダを装着している場合に表示されます。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「優先カセット」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 優先して使用するカセットを選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

表紙用紙カセット設定

表紙用紙をセットする給紙元を、カセット（1～4）と手差しトレイから設定します。表紙用紙は、表紙付け（1-22 ページ参照）や小冊子（1-23 ページ、1-25 ページ参照）で使します。

参考：「カセット 3」、「カセット 4」はオプションのペーパーフィーダを装着している場合に表示されます。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「表紙用紙カセット」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 表紙用紙をセットする給紙元を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

自動倍率優先設定

任意で選択したカセットが原稿と違うサイズの場合に、自動倍率させるかどうか設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
設定しない	等倍（100%）を設定します。
設定する	自動的に用紙サイズに合わせた倍率を設定します。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「自動倍率優先」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [設定しない] または [設定する] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

自動濃度調整

自動濃度モードでコピーを行う場合の全体的な濃度を調整します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
うすく	自動濃度モードでコピーを行う場合の全体的な濃度をうすくします。
こく	自動濃度モードでコピーを行う場合の全体的な濃度をこくします。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「濃度調整（自動）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [うすく] または [こく] キーを押して、濃度を調整してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

手動濃度調整

手動濃度モードでコピーを行う場合の全体的な濃度を調整します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
うすく	手動濃度モードでコピーを行う場合の全体的な濃度をうすくします。
こく	手動濃度モードでコピーを行う場合の全体的な濃度をこくします。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「濃度調整（手動）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [うすく] または [こく] キーを押して、濃度を調整してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

縮小 / 拡大設定

初期設定モードでの縮小 / 拡大を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動倍率	自動的に用紙サイズに合わせた倍率を設定します。
100%	等倍（100%）を設定します。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「縮小 / 拡大」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [自動倍率] または [100%] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

ソート / 仕分けコピー設定

初期設定モードでのソートコピー / 仕分けコピーについて設定します。設定項目は次のとおりです。

項目		説明
ソート	ソートしない	ソートコピーを設定しません。
	ソートする	ソートコピーを設定します。
仕分け	しない	仕分けコピーを設定しません。
	1 部ごと（ページごと）	仕分けコピーを設定します。（「ソートしない」を設定している場合は「ページごと」になります）

ソートコピーについては使用説明書、仕分けコピーについては 1-9 ページを参照してください。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「ソート / 仕分け」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 「ソート」で [ソートしない] または [ソートする] を選択してください。
- 4 「仕分け」で [しない] または [1 部ごと]（[ページごと]）を選択してください。
- 5 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

自動回転コピー設定

初期設定モードでの自動回転コピーを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
回転しない	自動回転コピーを設定しません。
自動回転する	自動回転コピーを設定します。

自動回転コピーについては、1-32 ページを参照してください。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「自動回転」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [回転しない] または [自動回転する] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

とじしろ初期値の設定

とじしろ幅の初期値を設定します。設定範囲は 0 ～ 18 mm（1 mm 単位）です。

とじしろコピーについては、1-14 ページを参照してください。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「とじしろ初期値」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [▲]、[▼]、[◀] または [▶] キーを押して、とじしろ幅を設定してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

枠消し初期値の設定

枠消し幅の初期値を設定します。設定範囲は 0 ～ 50 mm（1 mm 単位）です。

枠消しコピーについては、1-17 ページを参照してください。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「枠消し初期値」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [+] または [-] キーで、「外枠」（原稿の回り）と「中枠」（中央）の枠消し幅の初期値を設定してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

コピー部数制限

1 回のコピーで設定できる部数を制限します。設定できる部数は 1 ～ 999 部です。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「コピー部数制限」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 テンキーを使って、コピー部数制限値を設定してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

再コピー設定

再コピーの使用を禁止したり、初期設定モードで再コピーを設定することができます。設定項目は次のとおりです。

項目		説明
機能	使用しない	再コピーの使用を禁止します。
	使用する	再コピーの使用を許可します。
初期状態	設定しない	再コピーをしません。
	設定する	再コピーをします。

再コピーについては、1-30 ページを参照してください。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「再コピー」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 「機能」で [使用しない] または [使用する] を選択してください。
- 4 「初期状態」で [設定しない] または [設定する] を選択してください。
- 5 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

登録ボタンの表示

機能登録キーを登録 / 削除する際に使用する [登録] キーの表示 / 非表示を設定します。機能登録キーについては、1-40 ページを参照してください。

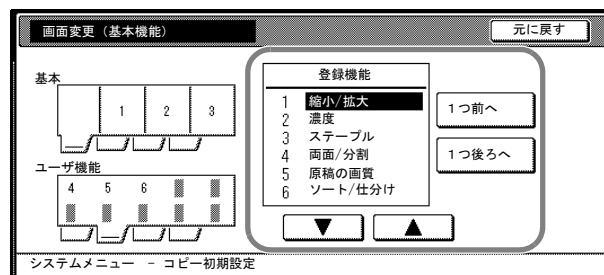
- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「登録ボタンの表示」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [表示する] または [表示しない] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

画面変更（基本機能）

基本機能の画面を使いやすいようにレイアウト変更します。[基本] 画面の3箇所と[ユーザ機能]画面の3箇所の機能を並べ替えることができます。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「画面変更（基本機能）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 「登録機能」に現在の機能が表示されています。

[▼] または [▲] キーで並べ替える機能を選択してください。[1つ前へ] と [1つ後ろへ] キーを押すと、「登録機能」の順番が変わります。



「登録機能」の番号は表示位置（画面左側）の番号と対応しています。

- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

画面変更（追加機能）

よく使用する機能を使いやすいように画面をレイアウト変更します。[ユーザ機能]画面の6箇所をよく使用する機能に変更することができます。

- 1 3-3 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法を参照して、「コピー初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「画面変更（追加機能）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 「登録機能」には現在の機能が、[登録候補]には現在の機能から変更可能な機能が表示されています。

「登録候補」の [▼] または [▲] キーで変更する機能を選択してください。「登録機能」の [▼] または [▲] キーで入れ替える機能を選択し、[←] キーを押すと、機能が移動します。



「登録機能」の番号は表示位置（画面左側）の番号と対応しています。

- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「コピー初期設定」画面に戻ります。

マシン初期設定

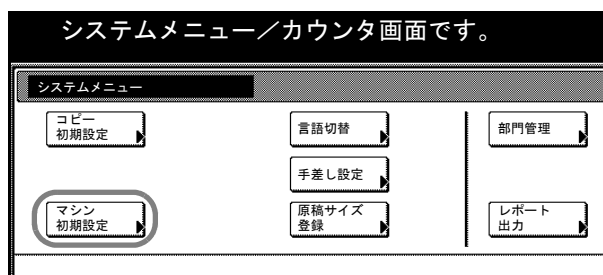
マシン初期設定では次の項目を設定できます。

- ・ オートカセットチェンジ設定 ...3-15 ページ
- ・ 用紙サイズの設定 ...3-15 ページ
- ・ 用紙種類の設定 ...3-16 ページ
- ・ 手差しトレイの用紙サイズ登録 ...3-17 ページ
- ・ 手差し設定の確認画面表示設定 ...3-17 ページ
- ・ 用紙種類自動設定（はがき） ...3-18 ページ
- ・ 用紙種類の属性（用紙の重さ）設定 ...3-19 ページ
- ・ 用紙種類の属性（両面印刷）設定 ...3-20 ページ
- ・ 特定用紙種類の動作設定 ...3-20 ページ
- ・ 原稿自動検知設定 ...3-21 ページ
- ・ 原稿セット向きの設定 ...3-22 ページ
- ・ スリープモード移行時間設定 ...3-22 ページ
- ・ 低電力モード移行時間設定 ...3-23 ページ
- ・ オートクリア時間設定 ...3-23 ページ
- ・ コピー排紙先設定 ...3-23 ページ
- ・ ファクス排紙先設定 ...3-24 ページ
- ・ 電源投入時モード ...3-24 ページ
- ・ 報知音設定 ...3-25 ページ
- ・ 静音モード ...3-25 ページ
- ・ 管理者暗証番号変更 ...3-26 ページ
- ・ オートスリープ設定 ...3-27 ページ
- ・ オートクリア設定 ...3-27 ページ
- ・ 自動ドラムリフレッシュ ...3-28 ページ

「マシン初期設定」画面の表示方法

次の手順にしたがって、「マシン初期設定」画面を表示させてください。

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。
- 2 [マシン初期設定] キーを押してください。



- 3 テンキーで4桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は25枚機では2500、30枚機では3000となっています。

暗証番号が合致すれば、「マシン初期設定」画面が表示されます。

参考：4桁の暗証番号は変更することができます。3-26ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

- 4 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

オートカセットチェンジ設定

オートカセットチェンジを使用すると、使用中のカセットの用紙がなくなった場合、自動的に同じサイズ/同じ向きなどの他のカセットから給紙するように切り替えて出力を続けます。また、違う用紙種類を設定しているカセットには切り替えないように設定することもできます。

設定項目は次のとおりです。

項目		説明
機能	使用しない	オートカセットチェンジを使用しません。
	使用する	オートカセットチェンジを使用します。
用紙種類	区別しない	用紙が同じサイズ/同じ向きであれば、違う用紙種類を設定しているカセットにも自動的に切り替えます。
	区別する	違う用紙種類を設定しているカセットには切り替えません。

- 3-14ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 【▲】または【▼】キーを押して、「オートカセットチェンジ」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 「機能」で【使用しない】または【使用する】を選択してください。
- 「用紙種類」で【区別しない】または【区別する】を選択してください。
- 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

用紙サイズの設定

カセット1～4の用紙サイズを設定できます。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動検知	用紙サイズの検知を自動で行います。【センチ】または【インチ】から単位の選択が必要です。
定形サイズ	定形サイズを設定します。設定できる用紙サイズはA3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11×17"、8 1/2×14"、11×8 1/2"、8 1/2×11"、5 1/2×8 1/2"、8 1/2×13 1/2"、8 1/2×13" (Oficio II)、8K、16K、16KRです。

参考：「カセット 3」、「カセット 4」はオプションのペーパーフィーダを装着している場合に表示されます。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「用紙サイズ（カセット 1～4）」から用紙サイズを設定するカセットを選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [自動検知] または [定形サイズ] を選択してください。
[自動検知] を選択した場合は、単位を選択してください。
[定形サイズ] を選択した場合は、用紙サイズを選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

用紙種類の設定

カセット 1～4 の用紙の種類を設定できます。

設定できる用紙の種類は、普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、上質紙、カスタム 1～8 です。

参考：「カセット 3」、「カセット 4」はオプションのペーパーフィーダを装着している場合に表示されます。

用紙種類の属性（用紙の重さ）設定（3-19 ページ参照）で、カセットにセットできない重さ（用紙の厚さ）に設定されている用紙種類は選択できません。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「用紙種類（カセット 1～4）」から用紙種類を設定するカセットを選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 用紙の種類を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

手差しトレイの用紙サイズ登録

手差しトレイで使用する不定形の用紙サイズを、あらかじめ4種類まで登録しておくことができます。登録したサイズはユーザ登録サイズとして用紙サイズの選択時に表示されます。また、各登録サイズに対して用紙種類を設定できます。設定内容は次のとおりです。

設定内容	設定項目
用紙サイズ	たて：98 ～ 297 mm（1 mm 単位） よこ：148 ～ 432 mm（1 mm 単位）
用紙種類	普通紙、OHP フィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、 ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、 封筒、上質紙、カスタム 1 ～ 8

- 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 【▲】または【▼】キーを押して、「手差し用紙登録」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 【▲】または【▼】キーを押して、「用紙サイズ（ユーザ登録 1 ～ 4）」から登録する番号を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 【設定する】キーを押し、【▲】または【▼】キーを押して、「たて」と「よこ」のサイズを設定してください。
【テンキー】キーを押すとテンキーで入力することができます。
用紙種類を選択する場合は【用紙種選択】キーを押してください。用紙種類を選択して【閉じる】キーを押してください。
- 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。
- 【閉じる】キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

手差し設定の確認画面表示設定

【基本】画面で手差しトレイを選択したときに、「手差し設定」画面を表示するか、しないかを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	手差しトレイ選択時に「手差し設定」画面を表示しません。
使用する	手差しトレイ選択時に「手差し設定」画面を表示します。

- 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 【▲】または【▼】キーを押して、「手差し設定の確認画面表示」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 【使用しない】または「使用する」を選択してください。

- 4 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

用紙種類自動設定（はがき）

手差しトレイにはがきをセットし、手差しトレイの用紙サイズを「はがき」に設定した場合、手差しトレイの用紙種類を自動的に「はがき」に変更するか、しないかを設定します。設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
設定しない	手差しトレイの用紙サイズを「はがき」に設定した場合でも、手差しトレイの用紙種類は変更しません。
設定する	手差しトレイの用紙サイズを「はがき」に設定した場合は、手差しトレイの用紙種類を自動的に「はがき」に変更します。

参考：手差しトレイの用紙種類が自動的に「はがき」に変更された後、「はがき」以外の用紙種類に変更できます。

手差しトレイの用紙サイズおよび用紙種類の設定については、使用説明書の2章、カセットおよび手差しトレイのサイズを操作パネルで設定を参照してください。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 【▲】または【▼】キーを押して、「用紙種類自動設定（はがき）」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 3 【設定しない】または【設定する】を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

用紙種類の属性（用紙の重さ）設定

各用紙種類に対して重さ（用紙の厚さ）を設定します。設定できる用紙種類と重さは次のとおりです。

カセットにセットする用紙種類

用紙の重さ	軽い	普通 1	普通 2	普通 3	重い 1	重い 2	重い 3	超重い
秤量 (g/m ²)、 用紙種類	64 g/m ²	60 g/m ² 75 g/m ²	76 g/m ² 90 g/m ²	91 g/m ² 105 g/m ²	106 g/m ² 135 g/m ²	136 g/m ² 170 g/m ²	171 g/m ²	OHP フィルム
普通紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
プレプリント	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
ボンド紙	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N
再生紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
薄紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
レターヘッド	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
カラー紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
パンチ済み紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
厚紙	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
上質紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
カスタム 1～8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

Y：選択できます。 N：選択できません。

手差しトレイにセットする用紙種類

用紙種類	軽い	普通 1	普通 2	普通 3	重い 1	重い 2	重い 3	超重い
秤量 (g/m ²)、 用紙種類	64 g/m ²	60 g/m ² 75 g/m ²	76 g/m ² 90 g/m ²	91 g/m ² 105 g/m ²	106 g/m ² 135 g/m ²	136 g/m ² 170 g/m ²	171 g/m ²	OHP フィルム
普通紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
OHP フィルム	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
プレプリント	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
ラベル紙	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ボンド紙	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N
再生紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
薄紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
レターヘッド	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
カラー紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
パンチ済み紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
封筒	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
はがき	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
厚紙	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
上質紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
カスタム 1～8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

Y：選択できます。 N：選択できません。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「用紙種類の属性（用紙重さ）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [▲] または [▼] キーを押して、重さを設定する用紙種類を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 4 重さを選択してください。設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。
- 5 [閉じる] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

用紙種類の属性（両面印刷）設定

用紙種類のカスタム 1～8 をそれぞれ両面印刷に使用するか、しないかを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	両面印刷に使用できません。
使用する	両面印刷に使用できます。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「用紙種類の属性（両面印刷）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [▲] または [▼] キーを押して、「カスタム 1」～「カスタム 8」から設定する用紙種類を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 4 [使用しない] または [使用する] を選択してください。設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。
- 5 [閉じる] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

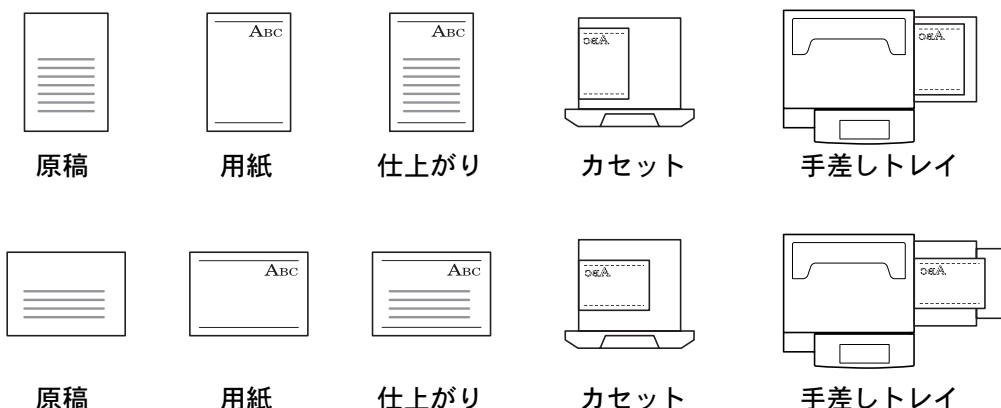
特定用紙種類の動作設定

パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドに印刷する際、原稿のセット方法やコピー機能の組み合わせによって、穴の位置が揃わなくなったり、画像の天地が逆に印刷されることがあります。この設定で、仕上がりの向きを揃えることができます。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
印刷方向を合わせる	仕上がりの向きを揃えて印刷します。
速度優先	[印刷方向を合わせる] の設定を解除します。

[印刷方向を合わせる] を設定した場合は、次の方法で用紙をセットしてください。

例：レターヘッドにコピーする場合



参考：カセットまたは手差しトレイに用紙をセットするときは、印刷される面を上にしてセットしてください。

〔印刷方向を合わせる〕を設定すると、印刷の速度がやや遅くなります。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「特定用紙種類動作設定」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [印刷方向を合わせる] または [速度優先] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

原稿自動検知設定

似ている大きさの原稿を自動検知した場合の用紙サイズを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
はがき /A6	はがきと A6R について、どちらのサイズに検知するか選択します。
B4/Folio	B4 と Folio について、どちらのサイズに検知するか選択します。
11 × 15"	11 × 15" のサイズを自動検知するかどうか選択します。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「原稿自動検知設定」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [▲] または [▼] キーを押して、設定する用紙サイズを選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 4 「はがき /A6」を選択した場合は、[はがき] または [A6] を選択してください。

「B4/Folio」を選択した場合は、[B4] または [Folio] を選択してください。

「11 × 15"」を選択した場合は、[使用する] または [使用しない] を選択してください。

- 5 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。
- 6 [閉じる] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

原稿セット向きの設定

初期設定モードでの原稿の向きの初期値を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
上辺を奥向き	原稿の上辺が奥側に設定されます。
上辺を左向き	原稿の上辺が左側に設定されます。

原稿セット向きについては、1-7 ページを参照してください。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「原稿セット向き」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [上辺を奥向き] または [上辺を左向き] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

スリープモード移行時間設定

3-27 ページのオートスリープ設定で [使用する] を選択した場合に、オートスリープモードが働くまでの時間を設定します。設定範囲は 1 ～ 240 分（1 分単位）です。オートスリープモードについては、使用説明書の 3 章、スリープモードを参照してください。

参考：本機を頻繁に使用する場合は、オートスリープモードが働くまでの時間を長めに、使用しない時間が長い場合は短めに設定することをお勧めします。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「スリープモード移行時間」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [+] または [-] キーを押して、オートスリープモードが働くまでの時間を設定してください。

- 4 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

低電力モード移行時間設定

自動低電力モードが働くまでの時間を設定します。設定範囲は1～240分（1分単位）です。自動低電力モードについては、使用説明書の3章、低電力モードを参照してください。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 【▲】または【▼】キーを押して、「低電力モード移行時間」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 3 【+】または【-】キーを押して、自動低電力モードが働くまでの時間を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

オートクリア時間設定

3-27 ページのオートクリア設定で【使用する】を選択した場合に、操作が終了してからオートクリアが働くまでの時間を設定できます。設定範囲は10～270秒（10秒単位）です。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 【▲】または【▼】キーを押して、「オートクリア時間」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 3 【+】または【-】キーを押して、オートクリアが働くまでの時間を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

コピー排紙先設定

コピー出力時に優先される排紙先を設定できます。

排紙先	説明
上トレイ	本体の上トレイに排紙します。
ジョブセパレータトレイ	ジョブセパレータ（オプション）に排紙します。
フィニッシュャトレイ	オプションのドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャのトレイに排紙します。

参考：この設定はオプションのドキュメントフィニッシャ、ジョブセパレータまたは内蔵フィニッシャを装着している場合に表示されます。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「コピー排紙先設定」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 排紙先を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

ファクス排紙先設定

ファクスで受信した原稿、各種レポートの出力時に優先される排紙先を設定します。

排紙先	説明
上トレイ	本体の上トレイに排紙します。
ジョブセパレータトレイ	ジョブセパレータ（オプション）に排紙します。
フィニッシャトレイ	オプションのドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャのトレイに排紙します。

参考：この設定はオプションのファクスキットとドキュメントフィニッシャ、ジョブセパレータまたは内蔵フィニッシャを装着している場合に表示されます。

KM-2540 Type F/KM-3040 Type F にはファクスキットが標準で装着されています。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「ファクス排紙先設定」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 排紙先を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

電源投入時モード

電源を入れて最初に表示される画面を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
コピー画面	電源を入れると最初の画面はコピー画面（[コピー] キーを押したときの画面）になります。
ファクス画面	電源を入れると最初の画面はファクス画面（[ファクス] キーを押したときの画面）になります。

参考：この設定は、オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。
KM-2540 Type F/KM-3040 Type F にはファクスキットが標準で装着されています。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「電源投入時モード」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [コピー画面] または [ファクス画面] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

報知音設定

本機の操作中に鳴る報知音を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
操作確認音	操作パネルやタッチパネルのキーを押したときに鳴る「ピッ」という音です。
正常終了音	コピーや印刷の処理が正常に終了したときに鳴る音です。
準備完了音	ウォームアップが終了したときに鳴る音です。
注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。

それぞれの報知音を鳴らす場合は [設定する]、鳴らさない場合は [設定しない] を設定してください。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「報知音（操作確認音）」、「報知音（正常終了音）」、「報知音（準備完了音）」または「報知音（注意音）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [設定しない] または [設定する] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

静音モード

本機の動作音を低減します。本機の動作音が気になる場合は、静音モードを [使用する] に設定してください。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	静音モードを設定しません。
使用する	静音モードを設定して、本機の動作音を低減します。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「静音モード」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [使用しない] または [使用する] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

管理者暗証番号変更

本機管理者の暗証番号を変更できます。

注意：管理者暗証番号を変更したときは必ずメモを取るようにしてください。万一忘れた場合は、サービス担当者に連絡してください。

参考：工場出荷時は 25 枚機では 2500、30 枚機では 3000 となっています。

管理者暗証番号は 0000 ～ 9999 の範囲で変更できます。必ず 4 桁で設定してください。

管理者暗証番号には、「1111」や「1234」など、推測されやすい番号の使用はできるだけ避けてください。

管理者暗証番号の入力が必要な設定は次のとおりです。

- コピー初期設定
 - マシン初期設定
 - レポート出力
 - 部門管理
-

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「管理者暗証番号変更」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 テンキーを使って、新しい管理者暗証番号を入力してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

オートスリープ設定

オートスリープモードは、一定時間操作がないと自動的にスリープモードに移行する機能です。ここではオートスリープモードの使用 / 不使用を設定します。スリープモードについては、**使用説明書の 3 章、スリープモード**を参照してください。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	オートスリープモードを使用しません。
使用する	オートスリープモードを使用します。

参考：本機の操作においてオートスリープモードが使用上の不便さを与える場合には、オートスリープモードを使用しない設定にしてください。オートスリープモードを使用しない設定にする前に、まずオートスリープが働くまでの時間（スリープモード移行時間）を長めに設定することをお勧めします。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「オートスリープ」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [使用しない] または [使用する] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

オートクリア設定

オートクリアは、本機の操作終了後一定時間が経過すると、設定されていた諸機能を解除して、自動的に初期設定モードに戻る機能です。ここではオートクリアの使用 / 不使用を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	オートクリアを使用しません。
使用する	オートクリアを使用します。

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「オートクリア」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [使用しない] または [使用する] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

自動ドラムリフレッシュ

電源を入れたとき、低電力モードまたはスリープモードから復帰したときに自動ドラムリフレッシュを実行することがあります。自動ドラムリフレッシュは、画質を維持するために、周辺の温度や湿度を感知して自動的に実行されます。

ここでは、自動ドラムリフレッシュが実行される時間を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	自動ドラムリフレッシュを実行しません。
標準	自動ドラムリフレッシュが実行される時間を標準（最大 140 秒）にします。
長い	自動ドラムリフレッシュが実行される時間を長く（最大 180 秒）にします。

参考：必要に応じてドラムリフレッシュを実行することもできます。（3-31 ページのドラムリフレッシュ参照）

- 1 3-14 ページの「マシン初期設定」画面の表示方法を参照して、「マシン初期設定」画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「自動ドラムリフレッシュ」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [使用しない]、[標準]、または [長い] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「マシン初期設定」画面に戻ります。

手差しトレイ用紙設定

手差しトレイにセットする用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定してください。

手差しトレイの用紙サイズの設定

手差しトレイの用紙サイズの設定方法と、設定できる用紙サイズは次のとおりです。

設定方法	単位設定	用紙サイズ
自動検知	センチ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、B6R、はがき
	インチ	11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"
その他定形サイズ		ISO B5、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Comm. #10、Comm. #9、Comm. #6-3/4、Monarch、Executive、往復はがき、洋形 2 号、洋形 4 号、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13" (Oficio II)、8K、16K、16KR
サイズ入力		たて：98 ～ 297 mm (1 mm 単位) よこ：148 ～ 432 mm (1 mm 単位)
ユーザ登録サイズ		あらかじめ登録している用紙サイズ (1 ～ 4) 登録できる用紙サイズ たて：98 ～ 297 mm (1 mm 単位) よこ：148 ～ 432 mm (1 mm 単位)

参考：手差しトレイの用紙サイズの設定方法は、使用説明書の 2 章、手差しトレイの用紙サイズの設定を参照してください。

手差しトレイの用紙種類の設定

手差しトレイに設定できる用紙の種類は次のとおりです。

普通紙、OHP フィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、上質紙、カスタム 1 ～ 8

参考：手差しトレイの用紙種類の設定方法は、使用説明書の 2 章、手差しトレイの用紙種類の設定を参照してください。

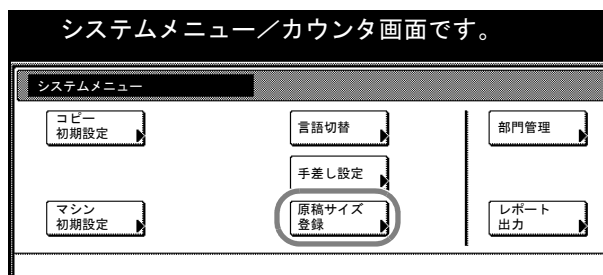
原稿サイズ登録

不定形の原稿サイズをあらかじめ4種類まで登録しておくことができます。登録したサイズは、ユーザ登録サイズとして原稿サイズの選択時に表示されます。

登録できるサイズの範囲は縦 50 ～ 297 mm（1 mm 単位）、横 50 ～ 432 mm（1 mm 単位）です。

1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

2 [原稿サイズ登録] キーを押してください。



3 「原稿サイズ（ユーザ登録 1 ～ 4）」から登録する番号を選択して[設定値変更] キーを押してください。

4 [設定する] キーを押してください。

5 [+] または [-] キーを押して、「Y」（たて）と「X」（よこ）のサイズを設定してください。

6 設定を確定する場合は[閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は[元に戻す] キーを押してください。

7 [閉じる] キーを押してください。「システムメニュー」画面に戻ります。

ドラムリフレッシュ

コピーに画像が流れたようなにじみや、部分的に白点が発生する場合は、ドラムリフレッシュを行ってください。ドラムリフレッシュには2種類の方法があります。

項目	説明
ドラムリフレッシュ 1	画像が流れたようなにじみが発生する場合に行ってください。約 160 秒かかります。
ドラムリフレッシュ 2	部分的に白点が発生する場合に行ってください。約 90 秒かかります。

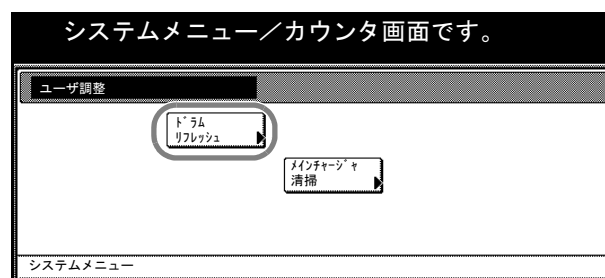
注意：【ドラムリフレッシュ 2】を実行する場合は、手差しトレイに A3 または 11 × 17" の用紙をセットしてください。

【ドラムリフレッシュ 2】を実行すると、機械本体より振動音がし、約 90 秒後に用紙を排出してドラムリフレッシュが終了します。排出された用紙はトナーで汚れていますが、異常ではありません。

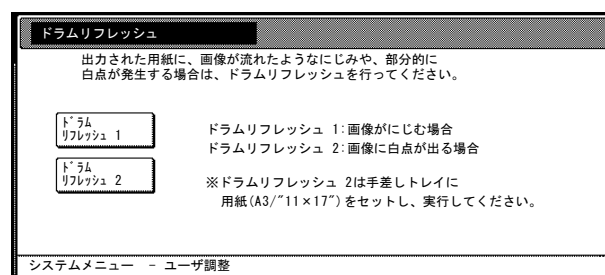
1 【システムメニュー / カウンタ】 キーを押してください。

2 【ユーザ調整】 キーを押してください。

3 【ドラムリフレッシュ】 キーを押してください。



4 【ドラムリフレッシュ 1】 または 【ドラムリフレッシュ 2】 キーを押してください。ドラムリフレッシュを開始します。



5 ドラムリフレッシュが終了したら、【閉じる】 キーを押してください。「システムメニュー」画面に戻ります。

レポート出力

操作パネルから次のレポートを出力することができます。

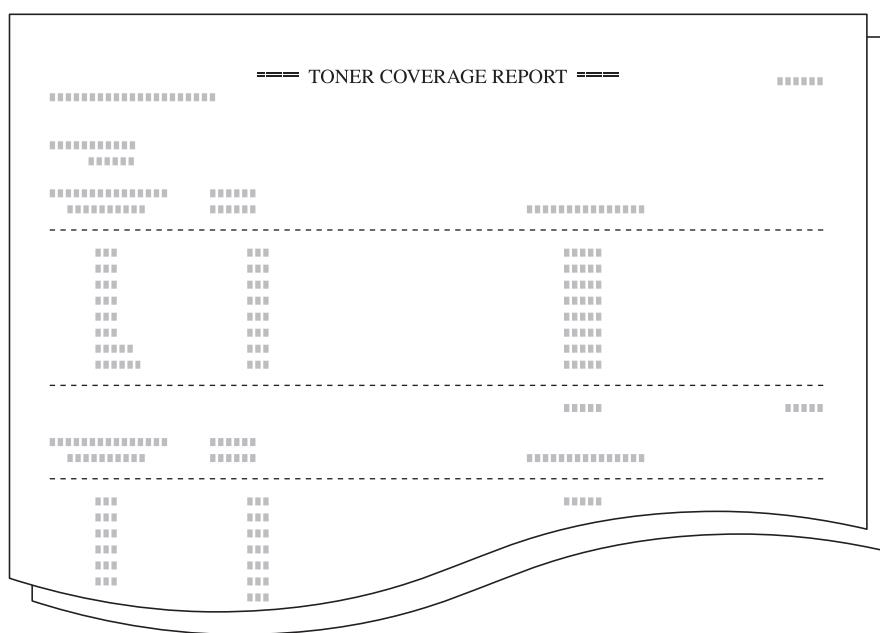
コピーステータスレポート

[illegible]

マシンステータスレポート

[illegible]

トナーカバレッジレポート



トナーカバレッジレポートは、用紙サイズごとに出力枚数と黒比率の平均値を記載したレポートです。次の4種類の内容が含まれています。

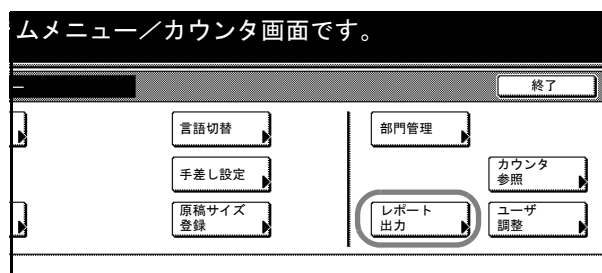
- ・ トータルトナーカバレッジレポート
- ・ コピートナーカバレッジレポート
- ・ プリンタトナーカバレッジレポート
- ・ ファクストナーカバレッジレポート

トナーカバレッジレポートに記載されている情報から換算したコピー枚数と、トナーコンテナの保証枚数とは、完全には一致しません。実際にコピーできる枚数は、使用状態（コピー内容や単発コピーと連続コピーの頻度など）、設置環境（温度や湿度）によって異なるからです。

参考：レポートを出力する場合は、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

2 [レポート出力] キーを押してください。



- 3 テンキーで4桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は25枚機では2500、30枚機では3000となっています。

暗証番号が合致すれば、「レポート出力メニュー」画面が表示されます。

参考：4桁の暗証番号は変更することができます。3-26ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

- 4 印刷するレポートを押してください。レポートの印刷を開始します。

参考：[トナーカバレッジレポート]を選択すると、4種類のトナーカバレッジレポートを一度に出力します。

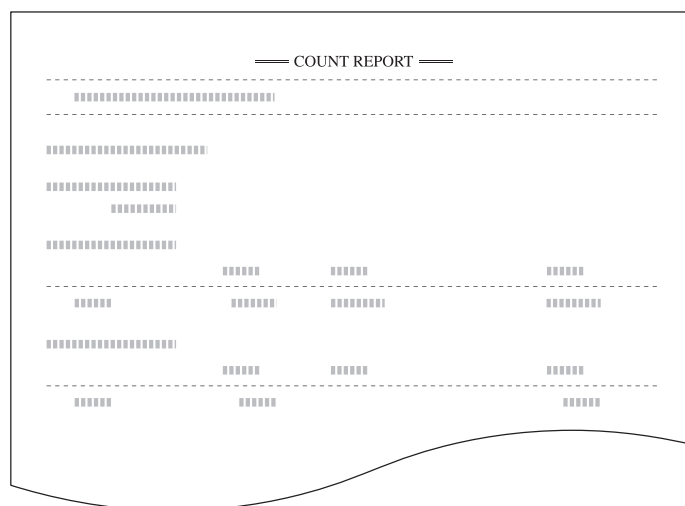
- 5 [閉じる]キーを押してください。「システムメニュー」画面に戻ります。

トータルカウンタの参照と印刷

操作パネルでトータルカウンタを参照することができます。参照できる数値は次のとおりです。

- コピー枚数、印刷枚数、ファクス出力枚数、およびその合計
 - コピー、ファクス送信時における原稿の読み込み枚数、およびその合計
- また、その内容をカウンタレポートとして出力することができます。

カウンタレポート



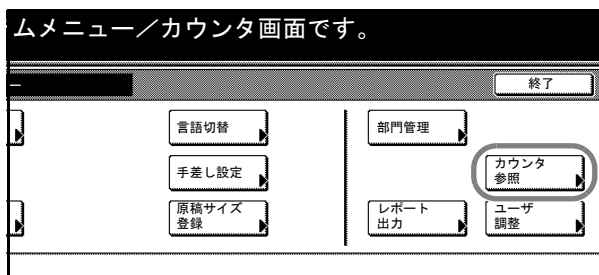
参考：レポートを出力する場合は、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

本機をプリンタ、ファクスとして使用するためには、オプションのプリンタキット、ファクスキットが必要です。

KM-2540 Type F/KM-3040 Type F にはファクスキットが標準で装着されています。

1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

2 [カウンタ参照] キーを押してください。



3 タッチパネルにそれぞれの数値が表示されます。

カウンタレポートを印刷する場合は、[レポート印刷] キーを押してください。

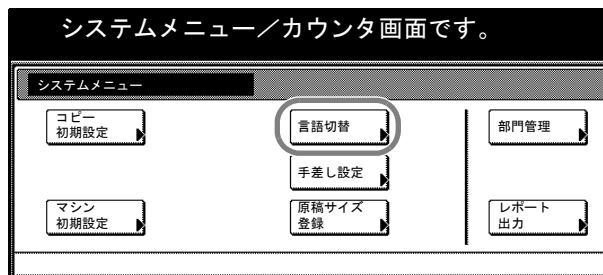
確認を終了する場合は、[閉じる] キーを押してください。「システムメニュー」画面に戻ります。

言語切替

タッチパネルに表示される言語を選択することができます。

選択できる言語：日本語、英語（English）、フランス語（Français）、スペイン語（Español）

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。
- 2 [言語切替] キーを押してください。



- 3 切り替えたい言語のキーを押してください。タッチパネルの言語が変更されます。

4 部門管理

この章では、本機の部門管理について説明します。

- 部門管理について ...4-2 ページ
- 部門編集 ...4-4 ページ
- 部門管理集計 ...4-12 ページ
- 部門管理の設定 ...4-15 ページ
- 部門管理初期設定 ...4-16 ページ
- 部門管理時の操作 ...4-22 ページ

部門管理について

部門管理では、部門別に部門コードを設定することにより、部門別の使用枚数を管理することができます。

本機の部門管理は、次の特長を備えています。

- 同じ部門コードで、コピーとオプションのプリンタ機能を一括管理することができます。
- 最大 500 部門の管理ができます。
- 部門コードは 0 ～ 99999999 までの最大 8 桁で設定できます。
- 全部門または部門別で使用枚数を集計することができます。
- 制限枚数を 1 枚単位で 999,999 枚まで設定することができます。
- カウンタのクリアは全部門でも各部門ごとでもできます。
- 部門コード入力で自部門の使用枚数の集計を参照することができます。

注意：部門編集で使用制限の設定を行う場合は、部門管理初期設定の**コピー部門管理**を**【設定する】**に変更しておく必要があります。また、オプションのプリンタキットを装着している場合は、部門管理初期設定の**プリンタ部門管理**を**【設定する】**に設定してください。詳細は 4-16 ページの**部門管理初期設定**を参照してください。

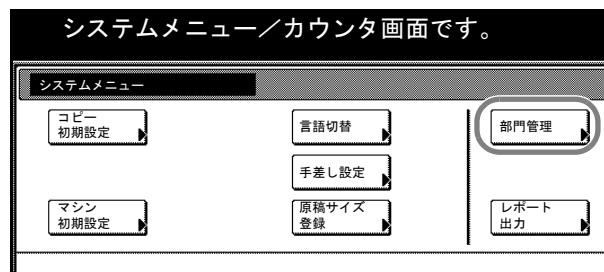
部門管理で設定できる内容は次のとおりです。

設定	説明	参照ページ
部門編集	新規部門登録－新しい部門を登録します。最大、500 部門まで登録することができます。 部門削除－登録された部門を抹消します。 部門情報修正－部門名称や部門コードを変更します。 使用制限変更－各部門の使用制限を変更します。	4-4 ページ
部門管理集計	全部門集計－全部門のトータル枚数の集計、部門管理レポート出力と、カウンタのクリアができます。 部門別集計－部門別の集計と、カウンタのクリアができます。	4-12 ページ
部門管理の設定	部門管理を行うか行わないかを設定します。	4-15 ページ
部門管理初期設定	部門管理機能の初期設定を変更します。	4-16 ページ

「部門管理」画面の表示方法

部門管理は「部門管理」画面から設定します。次の手順にしたがって「部門管理」画面を表示させてください。

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。
- 2 [部門管理] キーを押してください。



- 3 テンキーで4桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は25枚機では2500、30枚機では3000となっています。

暗証番号が合致すれば、「部門管理」画面が表示されます。

参考：4桁の暗証番号は変更することができます。3-26ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

- 4 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

部門編集

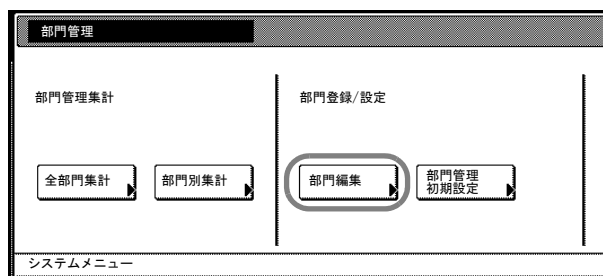
新しい部門の登録や、部門の削除、制限内容を修正します。

新規部門登録

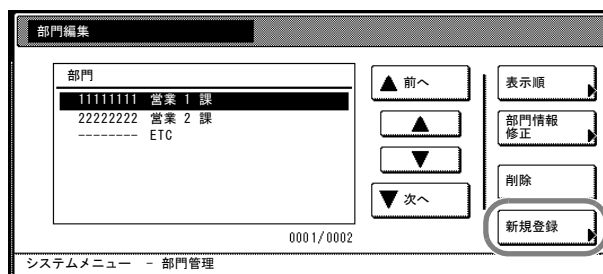
新しい部門を登録します。必要な設定は次のとおりです。

設定	説明
部門コード	部門ごとの暗証番号を、0 ～ 99999999 までの最大 8 桁で設定します。
表示名（登録名）	部門名を全角 16 文字、半角 32 文字以内で設定します。
フリガナ（半角）	部門名のフリガナを半角 32 文字以内で設定します。
使用制限	コピー / プリンタの各機能の使用について、制限を設定します。設定方法は 4-5 ページの 使用制限の設定 を参照してください。

- 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 「部門編集」キーを押してください。



- 「新規登録」キーを押してください。



- 「▲」または「▼」キーを押して、「部門コード」を選択し、「設定値変更」キーを押してください。
- 部門コードをテンキーで入力してください。
- 「閉じる」キーを押してください。
- 「▲」または「▼」キーを押して、「表示名（登録名）」を選択し、「設定値変更」キーを押してください。
- 部門名を入力し、「入力終了」キーを押してください。
文字の入力方法は、**使用説明書**を参照してください。

- 9 [▲] または [▼] キーを押して、「フリガナ（半角）」を選んで、[設定値変更] キーを押してください。
- 10 部門名のフリガナを入力し、[入力終了] キーを押してください。
文字の入力方法は、**使用説明書**を参照してください。
- 11 すべての登録ができれば、[次へ] キーを押してください。

注意：「部門コード」、「表示名（登録名）」、「フリガナ（半角）」で登録していない項目があるとエラーになり、次の画面に進みません。登録もれがないか確認をしてください。

すでに登録している部門コードで登録しようとするエラーになり、次の画面に進みません。別の部門コードに変更してください。

- 12 使用制限の設定を行ってください。
設定方法は次の**使用制限の設定**を参照してください。
- 13 使用制限の設定が終了したら、[登録] キーを押してください。
続けて部門を登録する場合は [新規登録] キーを押して、手順 4 ～ 13 を繰り返してください。
- 14 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

使用制限の設定

使用制限の設定では、部門ごとにコピー / プリンタの使用を禁止したり、使用できる枚数を制限することができます。

部門管理初期設定の**コピー / プリンタ出力の管理**で [一括] と [個別] のどちらを選択するかによって使用制限の設定項目が変わります。4-18 ページの**コピー / プリンタ出力の管理**を参照してください。

コピー / プリンタ出力の管理で [一括] を設定した場合（工場出荷時）

コピーとプリンタの出力枚数を一括して管理します。設定できる項目は次のとおりです。

- コピー使用制限（一括）...4-6 ページ
- プリンタ使用制限（一括）...4-6 ページ
- 出力制限 ...4-7 ページ
- ファクス送信使用制限 ...4-7 ページ

コピー / プリンタ出力の管理で【個別】を設定した場合

コピーとプリンタの出力枚数を個別に管理します。設定できる項目は次のとおりです。

- コピー使用制限（個別）...4-8 ページ
- プリンタ使用制限（個別）...4-9 ページ
- ファクス送信使用制限 ...4-7 ページ

コピー使用制限（一括）

コピーの使用を許可するか、禁止するか設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用可	コピーの使用を許可します。
使用不可	コピーの使用を禁止します。

参考：部門管理初期設定の**コピー部門管理**（4-16 ページ参照）を【設定しない】にしている場合は、この項目は表示されません。

- 1 4-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。
- 2 【▲】または【▼】キーを押して、「コピー」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 3 【使用可】または【使用不可】を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

プリンタ使用制限（一括）

プリンタの使用を許可するか、禁止するか設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用可	プリンタの使用を許可します。
使用不可	プリンタの使用を禁止します。

参考：この設定は、オプションのプリンタキットを装着している場合に表示されます。
部門管理初期設定の**プリンタ部門管理**（4-17 ページ参照）を【設定しない】にしている場合は、この項目は表示されません。

- 1 4-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。
- 2 【▲】または【▼】キーを押して、「プリンタ」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。

- 3 [使用可] または [使用不可] を選択してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

出力制限

コピーの制限枚数を設定します。オプションのプリンタキットを装着している場合は、コピーとプリンタで使用する合計の制限枚数でカウントします。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	コピーとプリンタで使用する枚数を制限しません。
カウンタ制限	コピーとプリンタで使用する合計枚数を、1～999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。

参考：次の場合はこの項目が表示されません。

- ・ コピー使用制限（一括）（4-6 ページ参照）とプリンタ使用制限（一括）（4-6 ページ参照）を両方とも [使用不可] に設定している場合
- ・ コピー使用制限（一括）を [使用不可] に設定し、プリンタキットを装着していない場合

- 1 4-4 ページの**新規部門登録**の手順 1～11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。
- 2 [▲] または [▼] キーを押して、「制限（全体）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 3 [制限なし] または [カウンタ制限] を選択してください。
[カウンタ制限] を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。
- 4 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

ファクス送信使用制限

ファクスの送信について使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	ファクスの送信枚数を制限しません。
カウンタ制限	ファクスの送信枚数を、1～999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	ファクス送信の使用を禁止します。

参考：この設定は、オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

KM-2540 Type F/KM-3040 Type F にはファクスキットが標準で装着されています。

部門管理初期設定のファクス部門管理（4-19 ページ参照）を【設定しない】にしている場合は、この項目は表示されません。

- 1 4-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。
- 2 【▲】または【▼】キーを押して、「ファクス送信」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 3 【制限なし】、【カウンタ制限】または【使用不可】を選択してください。
【カウンタ制限】を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。
- 4 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

コピー使用制限（個別）

コピーの使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	コピーの使用枚数を制限しません。
カウンタ制限	コピーの使用枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	コピーの使用を禁止します。

参考：部門管理初期設定のコピー部門管理（4-16 ページ参照）を【設定しない】にしている場合は、この項目は表示されません。

- 1 4-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。
- 2 【▲】または【▼】キーを押して、「コピー」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 3 【制限なし】、【カウンタ制限】または【使用不可】を選択してください。
【カウンタ制限】を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。
- 4 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

プリンタ使用制限（個別）

プリンタの使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	プリンタの使用枚数を制限しません。
カウンタ制限	プリンタの使用枚数を、1～999,999枚の範囲（1枚単位）で制限します。
使用不可	プリンタの使用を禁止します。

参考：この設定は、オプションのプリンタキットを装着している場合にのみ表示されます。

部門管理初期設定の**プリンタ部門管理**（4-17 ページ参照）を「設定しない」にしている場合は、この項目は表示されません。

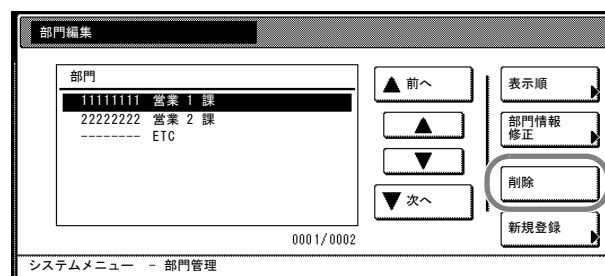
- 4-4 ページの**新規部門登録**の手順 1～11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。
- 【▲】または【▼】キーを押して、「プリンタ」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 【制限なし】、【カウンタ制限】または【使用不可】を選択してください。
【カウンタ制限】を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。
- 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

部門削除

登録された部門を抹消します。

- 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 【部門編集】キーを押してください。
- 削除したい部門コードを選択して、【削除】キーを押してください。

参考：「部門」の表示順を変更することができます。【表示順】キーを押して、【コードによる並び替え】（[1→9] と [9→1]）と【名称による並び替え】（[A→Z] と [Z→A]）から選択してください。



- 4 削除する部門コードを確認して、[はい] キーを押してください。

参考：その他の部門を削除する場合は手順 3～4 を繰り返してください。

- 5 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

部門情報修正

一度登録した部門名や部門コードを変更します。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 2 [部門編集] キーを押してください。
- 3 変更したい部門コードを選択して、[部門情報修正] キーを押してください。

参考：「部門」の表示順を変更することができます。[表示順] キーを押して、[コードによる並び替え] ([1 → 9] と [9 → 1]) と [名称による並び替え] ([A → Z] と [Z → A]) から選択してください。

- 4 部門コードを変更する場合は、[▲] または [▼] キーを押して、「部門コード」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。

- 5 [クリア] キーを押して、古い部門コードを削除し、新しい部門コード（最大 8 桁）をテンキーで入力してください。[閉じる] キーを押してください。
- 6 部門名を変更する場合は、[▲] または [▼] キーを押して、「表示名（登録名）」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 7 [全消去] キーを押して、古い部門名を削除してください。新しい部門名を入力して、[入力終了] キーを押してください。
文字の入力方法は、使用説明書を参照してください。
- 8 フリガナを変更する場合は、[▲] または [▼] キーを押して、「フリガナ（半角）」を選んで、[設定値変更] キーを押してください。

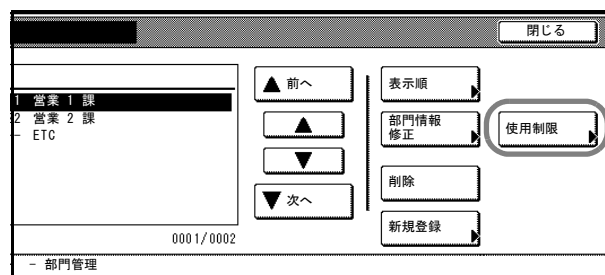
- 9 [全消去] キーを押して、古いフリガナを削除してください。新しいフリガナを入力して、[入力終了] キーを押してください。
文字の入力方法は、**使用説明書**を参照してください。
- 10 [閉じる] キーを押してください。
- 11 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

使用制限の変更

部門ごとに設定された使用制限を変更します。

注意：部門編集で使用制限の設定を行う場合は、部門管理初期設定の**コピー部門管理**を**〔設定する〕**に変更しておく必要があります。また、オプションのプリンタキットを装着している場合は、部門管理初期設定の**プリンタ部門管理**を**〔設定する〕**に設定してください。詳細は 4-16 ページの**部門管理初期設定**を参照してください。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 2 [部門編集] キーを押してください。
- 3 変更したい部門コードを選択して、**〔使用制限〕** キーを押してください。



参考：「部門」の表示順を変更することができます。[表示順] キーを押して、[コードによる並び替え] ([1 → 9] と [9 → 1]) と [名称による並び替え] ([A → Z] と [Z → A]) から選択してください。

- 4 使用制限の変更を行ってください。使用制限の設定方法は 4-5 ページの**使用制限の設定**を参照してください。
- 5 [閉じる] キーを押してください。
- 6 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

部門管理集計

全部門または各部門別に使用枚数を集計します。また、一定期間管理した使用枚数をクリアして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。

全部門集計

全部門の使用枚数を集計します。集計された枚数を部門管理レポートとして出力することもできます。また、全部門の使用枚数を一括でクリアできます。

参考：部門管理レポートを出力する場合は、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。

- 2 [全部門集計] キーを押してください。

- 3 全部門の使用枚数が表示されますので確認してください。

部門管理レポートを出力する場合は [レポート印刷] キーを押し、レポートの種類を選択してください。

機能ごとに集計する場合は、[機能別レポート] キーを押してください。

The screenshot shows a window titled '部門管理' (Department Management). At the top right is a '閉じる' (Close) button. The main area displays usage statistics: 'コピー' (Copy) with a value of 1,234, 'プリンタ' (Printer) with a dashed line, 'ファクス' (Fax) with a dashed line, and a '合計' (Total) of 1,234. Below this, there's a section for 'ファクス送信' (Fax Transmission) with fields for '送信ページ数' (Number of pages transmitted) and '通信時間' (Communication time) in minutes and seconds. On the right side, there are two buttons: 'カウンタクリア' (Counter Clear) and 'レポート印刷' (Report Print), with the latter being highlighted by a red circle.

部門管理初期設定の集計サイズ 1～5 (4-21 ページ参照) で設定している用紙サイズごとに集計する場合は、[サイズ別レポート] キーを押してください。

サンプル：部門管理レポート

機能別レポート（コピーとプリンタの管理が [一括] の場合）

The sample report is titled 'DEPT. COUNT REPORT (COPY+PRINT)'. It shows a table with columns for '部門' (Department), 'コピー' (Copy), and 'プリンタ' (Printer). The data is presented in a tabular format with dashed lines separating the sections. The report is enclosed in a box with a wavy bottom edge.

機能別レポート（コピーとプリンタの管理が【個別】の場合）

4

サイズ別レポート

参考：部門管理初期設定のコピー / プリンタ出力の管理（4-18 ページ参照）の設定によって、出力されるフォームが変わります。

- 4 使用枚数のクリアを行う場合は、[カウンタクリア] キーを押してください。
- 5 [はい] キーを押してください。
- 6 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

部門別集計

部門別のコピー枚数を集計します。また、各部門別にコピー枚数のクリアができます。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 2 [部門別集計] キーを押してください。

- 3 希望の部門コードを選択して、[集計] キーを押してください。

参考：リストに表示される「---ETC」は、部門コードを入力しないで印刷された枚数をカウントします。「---ETC」でカウントされる印刷は次のとおりです。

- 各種レポートの印刷
- プリンタエラーレポートの印刷
- 部門コードを設定していないコンピュータからの印刷（部門管理初期設定の部門登録外の印刷（プリンタ）を「設定する」にしている場合）

部門の表示順を変更することができます。[表示順] キーを押して、「コードによる並び替え」（「1 → 9」と「9 → 1」）と「名称による並び替え」（「A → Z」と「Z → A」）から選択してください。

- 4 選択した部門の使用枚数が表示されますので確認してください。

参考：「1,234 (999,999)」のように、出力枚数の後にカッコで制限枚数が表示されます。

- 5 使用枚数のクリアを行う場合は、[カウンタクリア] キーを押してください。
- 6 [はい] キーを押してください。
- 7 [閉じる] キーを押してください。
- 8 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

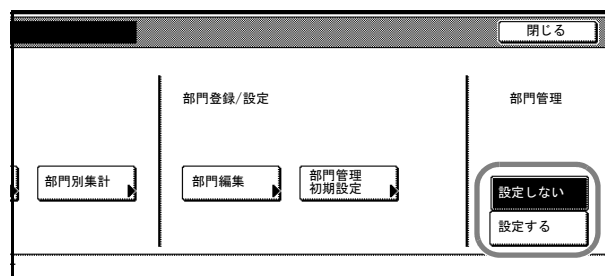
部門管理の設定

部門管理を有効または無効に設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	部門管理を無効にします。
設定する	部門管理を有効にします。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。

- 2 「設定しない」または「設定する」を選択してください。



- 3 「閉じる」キーを押してください。
- 4 「終了」キーを押してください。
「設定する」を選択した場合は、部門コード入力画面が表示されます。
「設定しない」を選択した場合は、「基本」画面が表示されます。

部門管理初期設定

部門管理の初期設定を変更します。

部門管理初期設定では次の項目が設定できます。

- コピー部門管理 ...4-16 ページ
- プリンタ部門管理 ...4-17 ページ
- プリンタエラーレポート ...4-17 ページ
- 部門登録外の印刷（プリンタ） ...4-18 ページ
- コピー/プリンタ出力の管理 ...4-18 ページ
- ファクス部門管理 ...4-19 ページ
- 制限超過時の設定 ...4-20 ページ
- カウンタ制限の初期値 ...4-20 ページ
- 集計サイズ 1 ～ 5...4-21 ページ

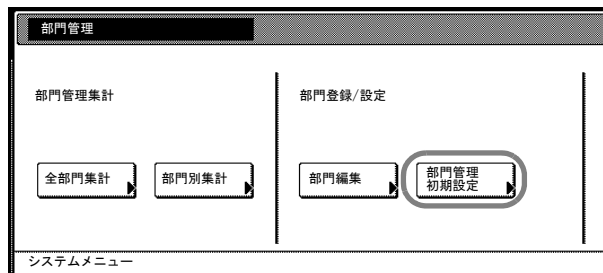
コピー部門管理

コピー機能で部門管理を有効または無効に設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	コピー機能で部門管理を無効にします。
設定する	コピー機能で部門管理を有効にします。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。

- 2 「部門管理初期設定」キーを押してください。



- 3 「▲」または「▼」キーを押して、「コピー部門管理」を選択し、「設定値変更」キーを押してください。
- 4 「設定しない」または「設定する」を選択してください。
- 5 設定を確定する場合は「閉じる」キーを、設定をキャンセルする場合は「元に戻す」キーを押してください。
- 6 「閉じる」キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

プリンタ部門管理

プリンタ機能で部門管理を有効または無効に設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	プリンタ機能で部門管理を無効にします。
設定する	プリンタ機能で部門管理を有効にします。

参考：この設定は、オプションのプリンタキットを装着している場合に表示されます。

4

- 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 〔部門管理初期設定〕キーを押してください。
- 〔▲〕または〔▼〕キーを押して、「プリンタ部門管理」を選択し、〔設定値変更〕キーを押してください。
- 〔設定しない〕または〔設定する〕を選択してください。
- 設定を確定する場合は〔閉じる〕キーを、設定をキャンセルする場合は〔元に戻す〕キーを押してください。
- 〔閉じる〕キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

プリンタエラーレポート

プリンタ機能で部門管理を有効にしているときに、まちがった部門コードで印刷した場合、エラーレポートを出力するかどうか設定します。

まちがった部門コードで印刷した場合は、「この部門コードは登録されていません。」を表示し出力されません。エラーレポートは〔印刷可 / 解除〕キーを押すと出力されます。

設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	まちがった部門コードで印刷した場合、エラーレポートを出力しません。
設定する	まちがった部門コードで印刷した場合、エラーレポートを出力します。

参考：プリンタ部門管理を〔設定しない〕にしている場合は、この項目は表示されません。

- 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 〔部門管理初期設定〕キーを押してください。

- 3 【▲】または【▼】キーを押して、「プリンタエラーレポート」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 4 【設定しない】または【設定する】を選択してください。
- 5 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。
- 6 【閉じる】キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

部門登録外の印刷（プリンタ）

プリンタ機能で部門管理を有効にしている場合、部門管理機能のないプリンタドライバからでも出力できるように設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	部門管理機能のないプリンタドライバからは出力できません。
設定する	部門管理機能のないプリンタドライバからでも出力できます。

参考：プリンタ部門管理（4-17 ページ参照）を【設定しない】にしている場合は、この項目は表示されません。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 2 【部門管理初期設定】キーを押してください。
- 3 【▲】または【▼】キーを押して、「部門登録外の印刷（プリンタ）」を選択し、【設定値変更】キーを押してください。
- 4 【設定しない】または【設定する】を選択してください。
- 5 設定を確定する場合は【閉じる】キーを、設定をキャンセルする場合は【元に戻す】キーを押してください。
- 6 【閉じる】キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

コピー / プリンタ出力の管理

コピーとプリンタの管理を一括で行うか、個別に行うかを選択します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
一括	コピーとプリンタの出力枚数を合計で管理します。
個別	コピーとプリンタの出力枚数を個別に管理します。

参考：この設定を変更すると、コピーとプリンタの使用制限の設定項目が変わります。詳細は 4-5 ページの**使用制限の設定**を参照してください。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 2 [部門管理初期設定] キーを押してください。
- 3 [▲] または [▼] キーを押して、「コピー/プリンタ出力の管理」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 4 [一括] または [個別] を選択してください。
- 5 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。
- 6 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

ファクス部門管理

オプションのファクス機能で部門管理を有効または無効に設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	ファクス機能で部門管理を無効にします。
設定する	ファクス機能で部門管理を有効にします。

参考：この設定は、オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。
KM-2540 Type F/KM-3040 Type F にはファクスキットが標準で装着されています。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 2 [部門管理初期設定] キーを押してください。
- 3 [▲] または [▼] キーを押して、「ファクス部門管理」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 4 [設定しない] または [設定する] を選択してください。
- 5 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。
- 6 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

制限超過時の設定

使用制限で設定されている制限枚数を超えたときの動作を設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	制限方法
即時使用禁止	制限枚数を超えたらすぐに使用禁止にして、出力を停止します。
次ジョブから使用禁止	出力中または読み込み中のジョブは続行し、次のジョブから使用禁止にします。
警告のみ	警告メッセージの表示のみを行います。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 2 [部門管理初期設定] キーを押してください。
- 3 [▲] または [▼] キーを押して、「制限超過時の設定」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 4 [即時使用禁止]、[次ジョブから使用禁止] または [警告のみ] を選択してください。
- 5 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。
- 6 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

カウンタ制限の初期値

新規部門登録を行う際の、制限枚数の初期値を変更することができます。設定範囲は 1 枚単位で 1 ～ 999,999 枚です。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
- 2 [部門管理初期設定] キーを押してください。
- 3 [▲] または [▼] キーを押して、「カウンタ制限の初期値」を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
- 4 テンキーを使って制限枚数の初期値を入力してください。
- 5 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。
- 6 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

集計サイズ 1 ～ 5

特定の用紙サイズを指定して、その用紙の使用枚数を集計し、確認することができます。また、用紙サイズと用紙種類を指定して集計することもできます。

参考：集計する用紙サイズは、集計サイズ 1 ～ 5 の 5 種類を指定することができます。

用紙種類を設定していない場合は、用紙種類にかかわらず指定したサイズの使用枚数を集計します。ただし、別の集計サイズが同じサイズで用紙種類を指定している場合、その集計サイズで指定している用紙種類の使用枚数を除いて集計します。

- 1 4-3 ページの「部門管理」画面の表示方法を参照して、「部門管理」画面を表示させてください。
 - 2 [部門管理初期設定] キーを押してください。
 - 3 [▲] または [▼] キーを押して、「集計サイズ 1 ～ 5」から設定する番号を選択し、[設定値変更] キーを押してください。
 - 4 [設定する] キーを押してください。
-
- 5 [サイズ選択] キーを押してください。
 - 6 指定する用紙サイズを選択して、[閉じる] キーを押してください。
 - 7 用紙種類を指定する場合は、[用紙種選択] キーを押してください。
 - 8 指定する用紙種類を選択して、[閉じる] キーを押してください。
 - 9 設定を確定する場合は [閉じる] キーを、設定をキャンセルする場合は [元に戻す] キーを押してください。
 - 10 [閉じる] キーを押してください。「部門管理」画面に戻ります。

参考：集計サイズ 1 ～ 5 で指定した用紙の使用枚数は部門管理集計のレポート印刷で出力することができます。詳細は 4-12 ページの**全部門集計**を参照してください。

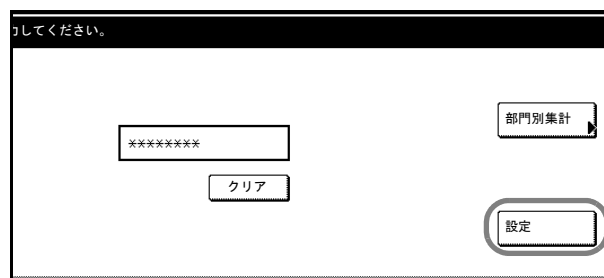
部門管理時の操作

コピー操作

部門管理を行っているときは、所属する部門コードを入力することによってのみコピーの操作ができます。

注意：コピー終了後は、必ず【ログアウト】キーを押してください。部門コード入力画面が表示されます。

- 1 部門コードをテンキーで入力して、【設定】キーを押してください。【基本】画面が表示されます。



参考：入力を間違えた場合は、【クリア】キーを押して入力しなおしてください。

入力された部門コードが登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴ります。正しい部門コードを入力してください。

部門コードを入力し、【部門別集計】キーを押すと、自部門の使用枚数が表示されます。

- 2 通常のコピー操作を行ってください。
- 3 コピー終了後、【ログアウト】キーを押してください。部門コード入力画面が表示されます。

プリント操作

部門管理を行っているときは、印刷の際にコンピュータでの部門コード入力が必要です。詳細は **KX プリンタドライバ操作手順書** を参照してください。

参考：オプションのプリンタキットが必要です。

ファクス操作

部門管理を行っているときは、所属する部門コードを入力することによってのみファクスの操作ができます。詳細はファクスキットの**使用説明書**を参照してください。

参考：オプションのファクスキットが必要です。

KM-2540 Type F/KM-3040 Type F にはファクスキットが標準で装着されています。

5 困ったときは

この章では、トラブルが発生した場合の対処方法を説明します。

- トラブルが発生した場合 ...5-2
- こんな表示が出たら ...5-5

トラブルが発生した場合

次の表は一般的なトラブルが発生した場合の対処方法をまとめたものです。

トラブルが発生した場合は、次のことをお調べください。それでも直らない場合は、サービス担当者までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
主電源スイッチを ON () にしても操作パネルに何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	—
[スタート] キーを押してもコピーが排出されない。	タッチパネルにメッセージが表示されていませんか。	各メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	5-5 ページ
原稿サイズが正しく検知されない。	原稿が正しくセットされていますか。	原稿ガラスに原稿をセットする場合は、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	使用説明書の 2 章参照
		オプションの原稿送り装置に原稿をセットする場合は、原稿を上向きにセットしてください。	使用説明書の 2 章参照
	蛍光灯の真下に機械を設置していませんか。	機械を蛍光灯の真下に設置しないでください。	—
白紙が排出される。	原稿が正しくセットされていますか。	原稿ガラスに原稿をセットする場合は、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	使用説明書の 2 章参照
		オプションの原稿送り装置に原稿をセットする場合は、原稿を上向きにセットしてください。	使用説明書の 2 章参照
	蛍光灯の真下に機械を設置していませんか。	機械を蛍光灯の真下に設置しないでください。	—
コピーがうすい。	自動濃度モードですか。	自動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	3-8 ページ
	手動濃度モードですか。	濃度調節キーで適正な濃度を設定してください。	使用説明書の 3 章参照
		初期の濃度を変更する場合は、手動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	3-9 ページ
	トナーコンテナのかくはんは十分ですか。	トナーコンテナを 10 回程度上下に振ってください。	使用説明書の 5 章参照
	エコプリントが設定されていませんか。	エコプリントの設定を [設定しない] にしてください。	1-34 ページ
	トナー補給のメッセージが表示されていませんか。	トナーコンテナを交換してください。	使用説明書の 5 章参照
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	使用説明書の 2 章参照

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーがこい。	自動濃度モードですか。	自動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	3-8 ページ
	手動濃度モードですか。	濃度調節キーで適正な濃度を設定してください。	使用説明書の3章参照
		初期の濃度を変更する場合は、手動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	3-9 ページ
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。	原稿は印刷された写真ですか。	画質を【写真】にしてください。	使用説明書の3章参照
コピーが鮮明でない。	原稿の種類に合った画質を選択していますか。	適切な画質を選択してください。	使用説明書の3章参照
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	使用説明書の2章参照
コピーが汚れる。	原稿押さえや原稿ガラスが汚れていませんか。	原稿押さえや原稿ガラスを清掃してください。	使用説明書の5章参照
コピーがぼける。	本機を湿度の高い状態で使用していませんか。	ドラムリフレッシュを行ってください。	3-31 ページ
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	使用説明書の2章参照
コピーがずれる。	原稿が正しくセットされていますか。	原稿ガラスに原稿をセットする場合は、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	使用説明書の2章参照
		原稿送り装置に原稿をセットする場合は、原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	使用説明書の2章参照
	用紙が正しくセットされていますか。	カセットの横ガイドの位置を確認してください。	使用説明書の2章参照
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットし直してください。	使用説明書の2章参照
	用紙の種類や保管状態。	用紙をカセットから一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	使用説明書の2章参照
	用紙がカールしたり、折れやしわがありませんか。	新しい用紙に交換してください。	使用説明書の2章参照
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか。	つまった用紙を取り除いてください。	使用説明書の6章参照
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	使用説明書の2章参照
オプションの原稿送り装置使用時にコピーに黒いすじが写る。	スリットガラスが汚れていませんか。	スリットガラスを清掃してください。	使用説明書の5章参照
	—	黒筋軽減処理を設定してください。黒すじをめだたなくすることができます。	3-5 ページ

困ったときは

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーにしわがでる。	分離針が汚れていませんか。	分離針を清掃してください。	使用説明書の 5 章参照
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	使用説明書の 2 章参照
	用紙のセット方向は正しいですか。	用紙のセット方向を変更してください。	—

こんな表示が出たら

タッチパネルに次のような表示が出た場合は、処理方法にしたがって作業してください。

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
〇〇カバーを閉じてください。	表示されているカバーが開いていませんか。	カバーを確実に閉めてください。	—
カバーを確認してください。	開いているカバーがありませんか。 メッセージに開いているカバーの指示がありませんか。	カバーを確実に閉めてください。	—
原稿送り装置を閉じてください。	原稿をセットした状態で、原稿送り装置（オプション）が開いていませんか。	原稿送り装置（オプション）を閉じてください。	—
原稿送り装置カバーを閉じてください。	原稿送り装置（オプション）の上カバーが開いていませんか。	原稿送り装置上カバーを確実に閉めてください。	使用説明書の2章参照
カセット〇をセットしてください。	表示されているカセットがしっかりセットされていますか。	カセットを一度引き出して、しっかり押し込んでください。	—
カセット〇を引き出して、機械内部の用紙を確認してください。	—	表示されているカセットを引き出して完全に取り外し、内部の用紙を取り除いてください。	—
給紙ユニットをセットしてください。	給紙ユニットがしっかりセットされていますか。	給紙ユニットを一度引き出して、しっかり押し込んでください。	使用説明書の6章参照
用紙補給してください。カセット〇	表示されているカセットの用紙がなくなっていますか。	用紙を補充してください。別のカセットに同じサイズ、同じ向きの用紙がセットされている場合は、タッチパネル左側の用紙選択キーでそのカセットを選択すると、カセットを変更してコピーを再開することができます。	—
手差しに用紙を補給してください。〇〇用紙	手差しトレイに設定されたサイズの用紙がセットされていますか。	手差しトレイに設定されたサイズの用紙をセットしてください。	使用説明書の2章参照
手差しに用紙がありません。用紙を補給してください。	手差しトレイの用紙がなくなっていますか。	手差しトレイに用紙を補充してください。	使用説明書の2章参照
手差しのサイズを変更してください。	設定されたサイズの用紙が、手差しトレイに設定されていますか。	手差しトレイのサイズを設定しなおしてください。	使用説明書の2章参照
適当な用紙がありません。	設定されたサイズの用紙がセットされていますか。	使用可能なサイズの用紙をセットしてください。	—
原稿の向きが違います。	選択した用紙の方向が原稿の向きと合っていますか。	原稿のセット方向を変えてください。そのまま【スタート】キーを押すと等倍でコピーします。	—
設定用紙サイズと実際の用紙サイズが異なっています。確認してください。	設定されている用紙がセットされていますか。また設定は正しいですか。	設定されている用紙をセットしてください。また設定が間違っている場合は設定を変更してください。	—
原稿と用紙の向きが違います。	選択した用紙の方向と原稿の向きが合っていますか。	原稿のセット方向を変えてください。	—
	蛍光灯の真下に機械を設置していませんか。	機械を蛍光灯の真下に設置しないでください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
原稿をもう一度セットし直してください。	—	原稿送り装置（オプション）から原稿を取り出し、そろえてからセットし直してください。	使用説明書の2章参照
原稿をもう一度初めからセットしてください。	—	原稿送り装置（オプション）から原稿を取り出し、元の順番に並べてセットし直してください。	使用説明書の2章参照
原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	原稿送り装置（オプション）に原稿が残っていませんか。	原稿送り装置（オプション）の原稿を取り除いてください。	—
この用紙種はコピーできません。	設定されているコピー機能で使えない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
この用紙種はステープルできません。	ステープルできない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	ドキュメントフィニッシャの使用説明書参照
このサイズは仕分けできません。	仕分けコピーできない用紙サイズ（A3、B4、A5R、B6R、Folio、11×17"、8 1/2×14"、5 1/2×8 1/2"、8K）をセットしていませんか。	用紙サイズを変更してください。	1-9 ページ
このサイズはステープルできません。	ステープルできない用紙サイズをセットしていませんか。	用紙サイズを変更してください。	使用説明書の付録参照 ドキュメントフィニッシャの使用説明書参照
ステープルできません。 ○○枚：最大ステープル枚数	表示されている最大ステープル枚数を超えていませんか。	ステープルする枚数を減らして、最大ステープル枚数以下にしてください。	使用説明書の付録参照 ドキュメントフィニッシャの使用説明書参照
上トレイ用紙オーバーです。 用紙を取り除き、スタートキーを押してください。	コピー中に、上トレイに収納できる枚数を超えていませんか。	上トレイから用紙を取り出して、 【スタート】 キーを押してください。出力を再開します。	—
上トレイ用紙オーバーです。 用紙を取り除き、継続キーを押してください。	プリンタ出力中に、上トレイに収納できる枚数を超えていませんか。	上トレイから用紙を取り出して、 【継続】 キーを押してください。出力を再開します。	—
フィニッシャ用紙オーバーです。 用紙を取り除き、スタートキーを押してください。	コピー中に、ドキュメントフィニッシャ（オプション）に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイから用紙を取り出して、 【スタート】 キーを押してください。出力を再開します。	—
フィニッシャ用紙オーバーです。 用紙を取り除き、継続キーを押してください。	プリンタ出力中に、ドキュメントフィニッシャ（オプション）に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイから用紙を取り出して、 【継続】 キーを押してください。出力を再開します。	—
用紙を取り除いてください。 フィニッシャトレイ	ドキュメントフィニッシャ（オプション）に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイから用紙を取り出してください。	—
選ばれたモードは設定できません。	同時に設定できない機能を選択していませんか。	設定を確認してください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
制限枚数終了のためコピーできません。	部門管理で設定されている制限枚数を超えていませんか。	部門管理で設定されている制限枚数に達したため、これ以上のコピーができません。部門管理でコピーカウントをクリアしてください。	4-12 ページ
キーカウンタをセットしてください。	キーカウンタが正しくセットされていますか。	キーカウンタを奥まで確実にセットしてください。	—
キーカードをセットしてください。	キーカードが正しくセットされていますか。	キーカードを奥まで確実にセットしてください。	—
メモリオーバーです。	—	コピーの空きメモリが無くなったか、または原稿制限枚数 999 ページに達したため、現在のコピーを処理できません。次のメッセージが表示されますので、処理方法を選択してください。 [作業中止]：コピーをキャンセルします。 [継続]：読み込みが終了しているページまでをコピーします。	—
トナーが残り少なくなりました。	—	トナーコンテナの交換時期が近づいています。トナーコンテナを準備してください。	使用説明書の 5 章参照
コピーできます。 トナーを補給してください。	—	機内のトナーが残り少なくなったので、1 枚ずつの印刷しかできません。交換するトナーコンテナを準備してください。	使用説明書の 5 章参照
トナーを補給してください。	—	トナーコンテナを交換してください。	使用説明書の 5 章参照
トナー補給中です。	—	トナーを補給中です。しばらくお待ちください。	—
トナーコンテナをセットしてください。	トナーコンテナがしっかりセットされていますか。	前カバーを開け、トナーコンテナを取り出してください。トナーコンテナをよく振ってから、再度セットしてください。	使用説明書の 5 章参照
メインチャージャを清掃してください。	メインチャージャを清掃しましたか。	トナーコンテナの交換後はメインチャージャを清掃してください。清掃が終了したら、[終了] キーを押してください。調整が開始されます。5 分お待ちください。	使用説明書の 5 章参照
しばらくお待ちください。 定着温度調整中です。	—	内部の調整を行っています。しばらくお待ちください。	—
廃棄トナーボックスを確認してください。	廃棄トナーボックスがしっかりセットされていますか。	廃棄トナーボックスを確実にセットしてください。	使用説明書の 5 章参照
廃棄トナーボックスを交換してください。	—	廃棄トナーボックスを交換してください。	使用説明書の 5 章参照
スリットガラスを清掃してください。	—	付属の清掃用布でスリットガラスを乾拭きしてください。	使用説明書の 5 章参照
両面ユニットを入れてください。	両面ユニットがしっかりセットされていますか。	左カバー 1 を開け、両面ユニットを確実にセットしてください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
ステープルの針がありません。 針をセットしてください。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）または内蔵フィニッシャ（オプション）の針が無くなっていませんか。	針ケースを交換してください。	使用説明書の 4 章参照 ドキュメントフィニッシャの使用説明書参照
定期点検の時期です。	—	本機を良好に保つために定期点検が必要です。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
定期点検間近です。			
紙づまりです。	—	紙づまりが発生した場合には、紙づまり位置がメッセージ表示に表示され、機械が停止します。主電源スイッチは ON（ ）のまま手順にしたがい、取り除いてください。	使用説明書の 6 章参照
フィニッシャ内部トレイの用紙を取り除いてください。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイに用紙が残っていませんか。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイの用紙をすべて取り除いてください。	—
ステープル針づまりです。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）または内蔵フィニッシャ（オプション）でステープルの針がつまっていませんか。	つまった針を取り除いてください。	使用説明書の 4 章参照 ドキュメントフィニッシャの使用説明書参照
エラーが発生しました。 サービス担当者に連絡してください。	前カバーの開閉、主電源スイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	表示されている C と数字を書きとめてください。主電源スイッチを OFF（⊖）にして電源コードを抜き、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
このカセットは使用できません。 他のカセットを選んでください。	—	使用しているカセットは故障のため使用を中止しています。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。コピーを行う場合は、他のカセットを使用してください。	—
システムエラーです。 主電源を OFF/ON してください。	—	システムエラーが発生しています。主電源スイッチをいったん OFF にし、再度 ON にしてください。	—
しばらくお待ちください。 リモート編集中です。	ネットワークに接続されたコンピュータから部門管理の編集を行っていませんか。	編集を行っている間はコピーできません。	—
KMAS を確認してください。	前カバーの開閉、主電源スイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	KMAS ユニットを確認し、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—

付録

この章では次の内容を説明します。

- 用紙について ... 付録 -2 ページ
- 機能組み合わせ表 ... 付録 -10 ページ
- 用語集 ... 付録 -15 ページ
- 区点コード表 ... 付録 -18 ページ

用紙について

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンタ用の用紙（普通紙）にコピーできるように設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙にコピーすることができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりになったり紙にシワがよったりするので、用紙の選択は慎重に行ってください。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙は、手差しトレイから給紙してください。

参考：再生紙は下表に示した基本仕様のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプルコピーを行ってください。コピーの結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンタ用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。用紙の品質は、コピーの品質にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと満足のできる結果が得られません。

用紙の基本仕様

次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。詳細は以下のページで説明します。

項目	仕様
重さ	カセット : 60 ~ 120 g/m ² 手差しトレイ : 45 ~ 200 g/m ²
厚さ	0.086 ~ 0.110 mm
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°
保水度	4 ~ 6 %
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 % 以上

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮めることになりかねません。用紙表面が滑らかで均一なものを選んでください。ただし、コーティング加工や、その他の表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めますので使用を避けてください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80 % 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の 20 % を超えないものをご使用ください。

用紙サイズ

次の表に記載したサイズ of 用紙がカセットまたは手差しトレイで使用できます。

寸法誤差の許容範囲は縦横ともに ± 0.7 mm です。用紙四隅の角度は、 $90^\circ \pm 0.2^\circ$ のものを使用してください。

手差しトレイ	カセットまたは手差しトレイ
B6R (128 × 182 mm)	A3 (297 × 420 mm)
はがき (100 × 148 mm)	B4 (257 × 364 mm)
往復はがき (148 × 200 mm)	A4 (297 × 210 mm)
Executive (7 1/4 × 10 1/2")	A4R (210 × 297 mm)
Envelope DL (110 × 220 mm)	B5 (257 × 182 mm)
Envelope C5 (162 × 229 mm)	B5R (182 × 257 mm)
Envelope C4 (229 × 324 mm)	A5R (148 × 210 mm)
ISO B5 (176 × 250 mm)	Folio (210 × 330 mm)
Comm.#10 (4 1/8 × 9 1/2")	11 × 17"
Comm.#9 (3 7/8 × 8 7/8")	8 1/2 × 14"
Comm.#6-3/4 (3 5/8 × 6 1/2")	11 × 8 1/2"
Monarch (3 7/8 × 7 1/2")	8 1/2 × 11"
洋形 2 号 (114 × 162 mm)	5 1/2 × 8 1/2"
洋形 4 号 (105 × 235 mm)	8 1/2 × 13" (Oficio II)
サイズ入力 (98 × 148 ~ 297 × 432 mm)	8 1/2 × 13 1/2"
	8K (273 × 394 mm)
	16K (273 × 197 mm)
	16KR (197 × 273 mm)

滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙 1 枚を 1 m² の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によってコピーがぼやけるなどのコピー品質の問題を引き起こすことがあります。

用紙の適正な重さはカセットで 60 ～ 120 g/m²、手差しトレイで 45 ～ 200 g/m² の範囲です。

厚さ

本機で使用する用紙は極端に厚いものや、または薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは 0.086 ～ 0.110 mm の範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱いコピーになります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は 4 ～ 6 % の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- ・ 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- ・ 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- ・ 用紙は購入時の箱や梱包紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- ・ 長時間放置した用紙は、少なくとも 48 時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- ・ 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

繊維の方向

用紙が製造される時、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようにカットされているものと、用紙の幅に対して繊維が垂直（横目）になるようにカットされているものがあります。横目の用紙は給紙時に問題を起す原因になりますので、用紙は縦目のものをお使いください。

その他の仕様

多孔性：紙の繊維の密度を表します。

硬さ：柔らかすぎる紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール：ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくときどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。これを利用して、カセットにセットする面を考えてカールを打ち消し合うようにすると、仕上がりがより平らになります。

静電気：トナーを付着させるために、コピーの過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ：コピーされたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明なコピーがえられます。

品質について：サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなつてつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で製品が正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

梱包について：きちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理：次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようお勧めします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプルコピーを行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

ここでは、普通紙以外の特殊な用紙にコピーする場合について説明します。
本機には、次のような特殊な用紙を使用することができます。

- OHP フィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙 (45 g/m² 以上 64 g/m² 以下)
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙 (106 g/m² 以上 200 g/m² 以下)
- ラベル紙
- 上質紙

以上の用紙を使用する場合はコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、OHP フィルム、薄紙、封筒、はがきは手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊用紙は次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で 사용할ことが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙はサンプル用紙を本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、本機または操作員に被害が生じても当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を設定してください。(使用説明書の 2 章、カセットおよび手差しトレイのサイズを操作パネルで設定を参照してください。)

OHP フィルム

OHP フィルムは、コピー中の定着熱に耐えるものである必要があります。

次の表は、本機で利用できる OHP フィルムの条件です。

項目	仕様
耐熱性	最低 190 °C までの熱に耐えること。
厚さ	0.100 ～ 0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°

トラブルを避けるために、OHP フィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向を本機に向けて）セットしてください。

OHP フィルムが排出部分で頻繁に紙づまりを起こす場合は、排紙される際に OHP フィルムの先を慎重に少しでも手で引いてみてください。

ラベル紙

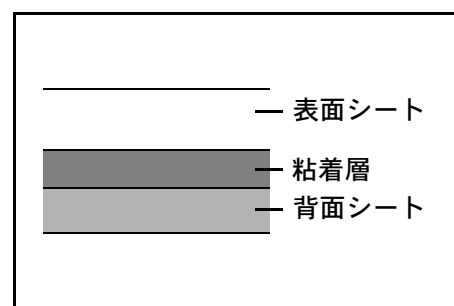
ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

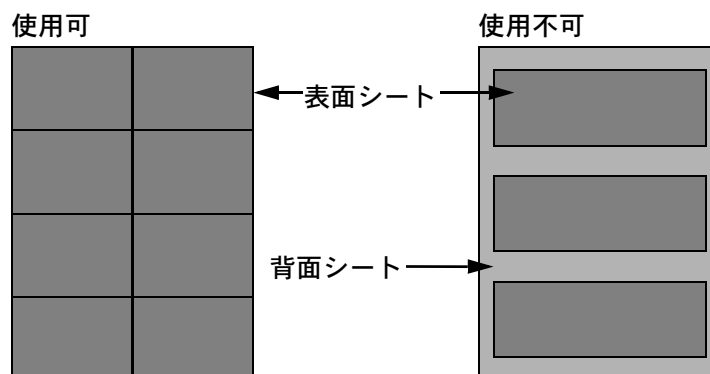
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル紙は、図のような 3 層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。



ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

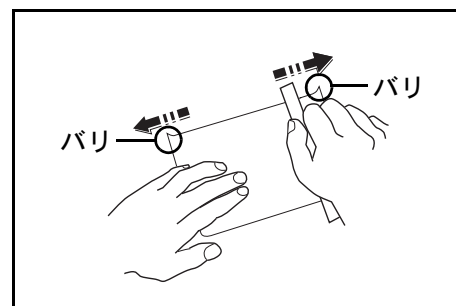
項目	仕様
表面シートの重さ	44 ～ 74 g/m ²
基本重量（用紙全体の重さ）	104 ～ 151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086 ～ 0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115 ～ 0.145 mm
保水度	4 ～ 6 %（混合）

はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるままコピーを行うと、紙づまりの原因になります。

往復はがきにコピーする場合は、折り目のないものを使用してください。

また、はがきによっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。



封筒

封筒は必ず手差しトレイから給紙してください。

封筒は構造上、表面全体に均一なコピーができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒でのコピーが満足いくものであるかをサンプルコピーで確認してください。

封筒は長時間放置しておくとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、本機内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。

封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。

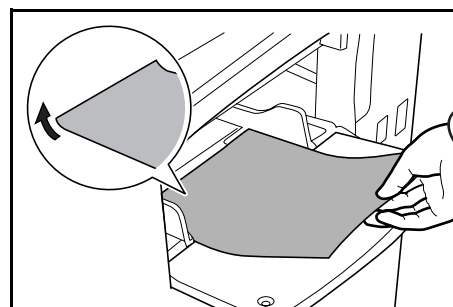
紙づまりが起きる場合は、一度にセットする封筒の枚数を少なくしてみてください。

複数の封筒をコピーする際は、紙づまりを避けるため上トレイに 10 枚以上残らないようご注意ください。

厚紙

厚紙はさばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。用紙によっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は用紙を平らなところに置き、**はがき**と同様に定規のようなもので軽く 1～2 回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのままコピーを行うと紙づまりの原因になります。

参考：バリを取り除いても給紙されない場合は、図のように用紙の先端を数ミリ上にそらせてから手差しトレイにセットしてください。



カラー紙

カラー紙は付録-2 ページの表を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素はコピー中の熱（最高 200 ℃）に耐えるものでなければなりません。

プレプリント

プレプリント用紙は付録-2 ページの表を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクはコピー中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものである必要があります。カレンダーなどに使われる表面加工を施してある紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が付録-2 ページの表を満たすものでなければなりません。

参考：再生紙を購入する前に、仕上がり満足いくものであるかをサンプルコピーで確認してください。

機能組み合わせ表

本機のさまざまな機能を組み合わせて、さらに効率的に使用することができます。機能の組み合わせは下の一覧表をご参照ください。

		後から設定する機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		用紙選択		両面 / 分割コピー					原稿サイズ選択					ページ集約コピー		自動濃度モード		手動濃度モード		縮小 / 拡大コピー			(サ)		(サ)		連続読み込みコピー		画質			とじしろコピー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				原稿サイズ混載コピー			原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー							原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー			原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿サイズ混載コピー		原稿				

※1 オプションの原稿送り装置が必要です。(KM-2540 Type F/KM-3040 Type F には原稿送り装置が標準で装着されています。)

後から設定する機能																			
センター移動コピー	ページ番号	ソートコピー	仕分けコピー (ページごと)	仕分けコピー (1部ごと)	シート枠消し	ブック枠消し	個別枠消し	表紙付け	小冊子 (シート原稿)	小冊子 (見開き原稿)	自動回転コピー	試しコピー	書き込み余白	エコプリント	原稿セット向き	白黒反転コピー	鏡像コピー	再コピーの設定	排紙先選択 ※1
ジョブセパレータ	上トレイ	フィニッシャトレイ	ステープルコピー※2	折り込みコピー															
Y	Y	41	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	8	8	Y	Y	Y	Y	10	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	8	8	Y	Y	Y	Y	Y	10	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	8	8	Y	Y	N1	Y	7	10	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	8	8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	8	8	Y	Y	N1	Y	7	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	38	36	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	5	5	5	19	16	16	Y	Y	N1	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	5	5	5	19	16	16	Y	Y	N1	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	20	18	18	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	2	Y	Y	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	9	Y	Y	Y	6	6	6	9	9	9	Y	Y	9	Y	Y	Y	Y	Y	24
Y	Y	Y	Y	Y	6	6	6	9	9	9	Y	Y	9	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	22	22	Y	Y	22	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	23	23	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	23	23	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	39	39
Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	23	23	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	39	39
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	N1	Y	Y	Y	Y	Y	7	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	14	14	Y	Y	N1	Y	Y	21	Y	Y	Y
Y	Y	N1	13	13	Y	N1	Y	14	Y	N	Y	Y	N1	Y	Y	10	Y	Y	Y
Y	Y	N1	13	13	Y	Y	Y	14	N	Y	Y	Y	N1	Y	7	10	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	29
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N1	N1	N1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

※1 オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャが必要です。

※2 オプションのドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャが必要です。

※3 オプションの原稿送り装置が必要です。(KM-2540 Type F/KM-3040 Type F には原稿送り装置が標準で装着されています。)

先に設定する機能			後から設定する機能																								
			用紙選択	両面 / 分割コピー					原稿サイズ選択							縮小 / 拡大コピー				原稿サイズ混載コピー（サイズ混在）※1	原稿サイズ混載コピー（サイズ統一）※1	連続読み込みコピー	画質			とじしろコピー	
				片面→両面	両面→両面※1	見開き→両面	両面→片面※1	見開き→片面	定形 / 不定形サイズ	サイズ入力	自動検知	ユーザー登録サイズ				ページ集約コピー	自動濃度モード	手動濃度モード	等倍（100%）				たてよこ独立変倍	自動倍率	ズームコピー		
排紙先選択※2	ジョブセパレータ	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	上トレイ	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	フィニッシャトレイ	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	ステープルコピー※3	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	25	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	割り込みコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	応用コピー（ステップ1）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y
	応用コピー（ステップ2～）	Y	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	Y	Y	Y	Y	N
	出力管理機能	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
	再コピー出力	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N

※1 オプションの原稿送り装置が必要です。(KM-2540 Type F/KM-3040 Type F には原稿送り装置が標準で装着されています。)

※2 オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャが必要です。

※3 オプションのドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャが必要です。

Y：組み合わせできます。

N：組み合わせできません。

N1：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。

- 1 写真は自動濃度モードがありません。
- 2 自動倍率のみのため自動倍率に移行。
- 3 自動用紙のみのため自動用紙に移行。
- 4 とじしろコピーと小冊子は組み合わせできません。
- 5 枠消しコピーと原稿サイズ選択 (サイズ入力) は組み合わせできません。
- 6 枠消しコピーと原稿サイズ混載コピーは組み合わせできません。
- 7 見開き原稿は上辺が奥側のみになるため組み合わせできません。
- 8 両面コピー / 分割コピーが設定されていた場合は小冊子を優先します。
- 9 原稿サイズ混載コピーとは組み合わせできません。
- 10 両面コピーの白黒反転は禁止。
- 11 分割コピー (見開き→片面) では原稿サイズ選択はできません。
- 12 分割コピー (見開き→片面) ではページ集約コピーはできません。
- 13 小冊子と仕分けコピーの組み合わせは禁止。
- 14 小冊子の操作手順で設定ができます。
- 15 小冊子と原稿サイズ選択 (サイズ入力) の組み合わせは禁止。
- 16 後から設定する機能が優先されて、自動検知に修正されます。
- 17 ステープルコピーは禁止。
- 18 小冊子とページ集約コピーの組み合わせはできません。
- 19 表紙付けと原稿サイズ選択 (サイズ入力) は組み合わせできません。

後から設定する機能																																									
センター移動コピー		ページ番号		ソートコピー		仕分けコピー（ページごと）		仕分けコピー（1部ごと）		枠消しコピー			表紙付け		小冊子（シート原稿）		小冊子（見開き原稿）		自動回転コピー		試しコピー		書き込み余白		エコプリント		原稿セット向き		白黒反転コピー		鏡像コピー		再コピーの設定		排紙先選択※1			ステープルコピー※2		割り込みコピー	
Y	Y	Y	40	40	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	37	Y	ジョブセパレータ			
Y	Y	Y	40	40	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	37	Y	上トレイ				
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	フィニッシュャトレイ					
Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	ステープルコピー※2					
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	割り込みコピー				
N	N	N	N	N	Y	N	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	応用コピー（ステップ1）			
N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	応用コピー（ステップ2～）				
N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	出力管理機能				
N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	再コピー出力				

先に設定する機能	排紙先選択※1	ジョブセパレータ
		上トレイ
		フィニッシュャトレイ
		ステープルコピー※2
		割り込みコピー
		応用コピー（ステップ1）
		応用コピー（ステップ2～）
		出力管理機能
		再コピー出力

※1 オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャ、内蔵フィニッシャが必要です。

※2 オプションのドキュメントフィニッシャまたは内蔵フィニッシャが必要です。

- 20 表紙付けとページ集約コピーは組み合わせできません。
- 21 表紙付けと白黒反転コピーの組み合わせは禁止。
- 22 後から設定する機能が優先されて、先に設定した機能は解除されます。
- 23 オプションのドキュメントフィニッシャを装着している場合は、後から設定する機能が優先されて、ソートコピーが「ソートする」、仕分けコピーが「しない」に変更されます。
オプションのドキュメントフィニッシャを装着していない場合は、後から設定する機能が優先されて、ソートコピーが「ソートする」、仕分けコピーが「1部ごと」に変更されます。
- 24 オプションの内蔵フィニッシャを装着している場合は、先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。
- 25 オプションの内蔵フィニッシャを装着している場合は、後から設定する機能が優先されて、先に設定した機能は解除されます。
- 26 自動用紙に移行するため解除されます。
- 27 ページ集約コピーと原稿サイズ選択 (サイズ入力) は組み合わせできません。
- 28 連続読み込みコピーとの組み合わせは禁止。
- 29 割り込みコピーとの組み合わせは禁止。
- 30 写真は自動濃度モードがありません。(手動濃度モードへ移行)
- 31 原稿サイズ選択 (A3、B4、A4R、B5R、A5R、11 × 17"、8 1/2 × 11"、8K 以外の用紙) はできません。
- 32 書き込み余白との組み合わせは禁止。
- 33 後から設定する機能が優先されて、原稿の向きは「上辺を奥向き」になります。
- 34 ページ集約コピーとの組み合わせは禁止。
- 35 小冊子との組み合わせは禁止。(自動倍率へ移行)
- 36 原稿サイズ選択 (B6、B6R、A6R、11 × 15"、はがき) 時は、後から設定する機能が優先されて、自動検知になります。
- 37 後から設定する機能が優先されて、排紙先が「フィニッシュャトレイ」に変更されます。
- 38 原稿サイズ選択 (B6、B6R、A6R、11 × 15"、はがき) は、設定変更を促すメッセージが表示されます。
- 39 オプションのドキュメントフィニッシャを装着している場合は選択できません。

- 40 オプションのドキュメントフィニッシャを装着している場合は、排紙先が「フィニッシュトレイ」に変更されます。
- 41 「自動用紙」を設定した場合は、後から設定する機能が優先されて、「自動用紙」が解除されます。
- 42 ページ番号を設定した場合は、「自動用紙」は選択できません。

用語集

AppleTalk

Apple 社の Mac OS に標準搭載されているネットワーク機能です。また、AppleTalk のネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称です。AppleTalk ではファイル共有やプリンタ共有などのサービスが提供されます。AppleTalk ネットワーク上の別のコンピュータのアプリケーションソフトを起動することもできます。

CPM (copies per minute)

A4 用紙を 1 分間当りに印刷（プリント）できる枚数を示します。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

DHCP は TCP/IP ネットワーク上で、IP Address や Subnet Mask、Gateway Address を自動的に解決するプロトコルです。特にクライアント数の多いネットワーク環境において、プリンタを含めて個々のクライアントに IP Address を個別に割当てて必要がないため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1 インチ（25.4 mm）当たりのドット数を表します。

IEEE1284

プリンタとコンピュータを接続する国際標準規格です。この規格は IEEE（Institute of Electrical and Electronic Engineers）で、1994 年に制定されました。

IP アドレス

ネットワークに接続されたコンピュータ 1 台ずつに割り振られた識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0 から 255 までの数字を 4 つ並べて表現します。

KPDL

Adobe PostScript Level 3 と互換の京セラのページ記述言語です。

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985 年に IBM 社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOS をベースに拡張したもので、小規模なネットワークでは TCP/IP などのほかのプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向きません。IBM 社の OS/2 や Microsoft 社の Windows シリーズの標準プロトコルで、NetBEUI を利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

NetWare

Novell 社のネットワーク OS（ネットワーク管理ソフトウェア）です。NetWare は様々な OS 上で動作することができます。

PostScript

Adobe Systems 社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷が可能です。現在 Level 1 と呼ばれている最初のバージョンは 1985 年に登場しました。1990 年にはカラー印刷や日本語などの 2 バイト言語に対応した Level 2 が、1996 年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF 形式への対応などを追加した Level 3 が発表されています。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

コンピュータ同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

USB (Universal Serial Bus)

Hi-Speed USB に準拠した USB インタフェースを装備しています。最大通信速度は 480 Mbps で、データ転送を高速に行います。

エコプリント

トナーを節約するための印刷モードです。エコプリントでの印刷は通常モードでの印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンタのページ言語を解釈し、実行する機能です。本プリンタは PCL 6、KPDLL、KC-GL のエミュレーションを備えています。

オートスリープモード

省電力のために設けられているモードで、本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないとスリープモードに移行します。スリープモード時は電力の消費は最小に抑えられます。

グレースケール

コンピュータ上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表します。1 ビットの場合は白と黒のみで中間色がない状態、8 ビットなら（白と黒を含めて）256 階調、16 ビットなら 65536 階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

ネットワークの識別するためのネットワークアドレスに、IP Address の何ビットを使用するかを定義する 32 ビットの数値です。

自動改ページ待ち時間

データをプリンタへ送信している間に、時間的な切れ目が発生する場合があります。このときプリンタは、データが途切れても改ページせずに、次にある程度途切れた後のデータが送信される場合に備えます。自動改ページ待ち時間とは、この自動改ページを発行するまでの間、あらかじめ設定されている改ページ時間だけ待機する機能です。待機を始めてから設定された改ページ時間を越えた時点で、プリンタは自動的に排紙処理を行います。ただし、最終ページに印刷データがなにもない場合は、プリンタは排紙処理を行いません。

自動低電力モード

省電力のために設けられているモードで、本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないと低電力モードに移行します。低電力モード時は待機状態より消費電力が少なくなります。

自動用紙選択機能

コピー時に、原稿サイズと同じサイズ of 用紙を自動的に選択する機能です。

ステータスページ

ステータスページを印刷すると、搭載メモリ容量、コピーや印刷の総枚数、給紙元の設定など本機に関する様々な情報を確認することができます。ステータスページは本体操作パネルから出力できます。

増設メモリ

プリンタ用にメモリを増設することができます。メモリを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。増設できるメモリは 128 MB、256 MB、512 MB です。本機で利用できるメモリについては弊社製品取り扱い店等にお問い合わせください。

手差しトレイ

本体右側にある給紙トレイです。封筒、ハガキ、OHP シート、ラベル用紙などを使用する場合は、カセットではなく手差しトレイにセットしてください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外のコンピュータへアクセスする際に使用する、コンピュータやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先の IP Address について特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタドライバは、付属の CD-ROM に収録されています。本機に接続したコンピュータにインストールしてください。

区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0100												0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z		0600											
0110	!	”	°	’	ˆ	˜	˘	˙	˚	?		0360				a	b	c	d	e		0610	K	Λ	M	N	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ		
0120	˘	˙	˚	˛	˜	˘	˙	˚	˛	˜		0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω						
0130	-	/	\	~			...	...	...	...		0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	0630					α	β	γ	δ	ε	ζ	η
0140	“	”	(	)	[	]	{	}				0390	z									0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ		
0150	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】		0400	あ	い	う	え	お					0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω					
0160	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≧		0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	0660											
0170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥		0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	0670											
0180	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆		0430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	づ	て	で	0680												
0190	★	○	●	◎	◇							0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	0690											
0200	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒			0450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	へ	べ	へ	ほ	0700												
0210	→	←	↑	↓	=							0460	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	
0220												0470	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	
0230	⊂	⊃	∪	∩								0480	ゐ	ゑ	を	ん						0730	Ь	Э	Ю	Я								
0240												0490										0740												
0250												0500	ア	アイ	イ	ウ	エ	エ	オ			0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й		
0260	∠	⊥	∩	∇	≡	≠	≪	≫	√			0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	ケ	ゲ	コ	0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у		
0270	∞	∞	∴	∫	∫							0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	セ	ゼ	ソ	0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э		
0280												0530	ゾ	タ	チ	ヂ	ツ	ツ	テ	デ		0780	ю	я										
0290												0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	0790											
0300												0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	フ	ヘ	ベ	ペ	ホ	0800											
0310												0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	0810												
0320	4	5	6	7	8	9						0570	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ウ	ワ	0820											
0330												0580	ヱ	エ	ラン	ヴ	カ	ケ				0830												
0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q		0590										0840												

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0850												1100											1350											
0860												1110											1360											
0870												1120											1370											
0880												1130											1380											
0890												1140											1390											
0900												1150											1400											
0910												1160											1410											
0920												1170											1420											
0930												1180											1430											
0940												1190											1440											
0950												1200											1450											
0960												1210											1460											
0970												1220											1470											
0980												1230											1480											
0990												1240											1490											
1000												1250											1500											
1010												1260											1510											
1020												1270											1520											
1030												1280											1530											
1040												1290											1540											
1050												1300	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	1550												
1060												1310	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	1560												
1070												1320	㉔	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	1570											
1080												1330	X										1580											
1090												1340											1590											

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
4800	弑	丐	丕	个	卅	丿	井	丿	义		5050	廠	厶	參	簪	雙	叟	曼	豈	叮	叨		5300	奸	妸	妝	佞	佻	妣	妲	姆	姨	
4810	乖	乘	亂	丿	豫	爭	舒	式	于	亞	5060	叭	叭	吁	呿	呀	听	吭	吼	吮	呐		5310	姜	妍	姘	姚	娥	娟	娑	娜	娉	
4820	亟	亠	亢	京	毫	竄	从	仍	仄	仆	5070	吩	吝	呖	咏	呵	咎	咄	呱	呷	咎		5320	婀	姪	婉	娠	娶	婢	婪	媚	媼	
4830	仂	仗	仞	仞	仞	仞	价	伉	佚	估	佛	5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	哇	哇	号	咸		5330	嫵	嫂	媽	媽	嫗	娣	嫩	嫖	嫖
4840	佢	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗		5090	啞	咬	哄	哈	咨							5340	嬌	嬋	嬖	嬖	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵
4850	侑	佯	來	侖	儘	倪	俟	俎	俘	俛		5100		思	哂	咤	咤	咤	哥	哦	唏		5350	孀	子	孕	孕	孖	孖	孩	熟	孖	
4860	俑	俚	俐	俚	俚	倚	倨	倨	倪	倥		5110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	啞	哇	啞	啞		5360	學	孖	孖	一	它	宦	宸	冤	寇
4870	倅	倅	倅	倡	倩	倅	倅	倅	倅	倅		5120	售	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜		5370	寔	寐	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
4880	偃	假	會	偕	修	偈	做	偕	偕	偕		5130	咯	喊	唱	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞		5380	寶	尅	將	專	對	尔	尅	尅	尅
4890	傀	倣	傳	倣	倣							5140	喻	喇	哢	嗚	嗚	嗚	嗚	嗚	嗚	嗚		5390	尹	屁	屈	屎	肩				
4900	僉	僇	傳	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇		5150	嘔	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉		5400	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨
4910	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇		5160	嘴	嘶	嘲	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉		5410	岑	岔	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌
4920	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇		5170	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙		5420	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
4930	兢	競	兩	兪	兮	冀	門	同	冊	冉		5180	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙		5430	尚	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌
4940	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏		5190	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹		5440	嵌	岳	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌
4950	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏		5200	圈	國	圍	圓	團	團	團	團	團	團		5450	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
4960	几	處	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏		5210	坏	址	坎	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪		5460	巔	巒	巒	巒	巒	巒	巒	巒	巒
4970	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂		5220	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪		5470	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
4980	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂		5230	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪		5480	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
4990	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒		5240	堡	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢		5490	廁	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
5000	辦	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬		5250	墟	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢		5500	廖	廣	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
5010	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦	勦		5260	墟	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢		5510	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬
5020	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍		5270	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻		5520	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
5030	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍		5280	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天		5530	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎
5040	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄		5290	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢		5540	往	往	往	往	往	往	往	往	往

[illegible]

索引

数字

2in1 コピー 1-11

4in1 コピー 1-12

A

AppleTalk 付録 -15

C

CPM 付録 -15

D

DHCP 付録 -15

dpi 付録 -15

I

IEEE1284 付録 -15

IP アドレス 付録 -15

K

KPDL 付録 -15

N

NetBEUI 付録 -15

NetWare 付録 -15

O

OHP フィルム 付録 -7

P

PostScript 付録 -16

T

TCP/IP 付録 -16

U

USB 付録 -16

あ

厚紙 付録 -9

え

エコプリント 1-34, 付録 -16

初期設定 3-4

エミュレーション 付録 -16

エラーメッセージ 5-5

お

応用コピー 1-42

機能の設定 1-46

手順 1-42

オートカセットチェンジ 3-15

オートクリア

時間の設定 3-23

使用 / 不使用の設定 3-27

オートスリープモード 付録 -16

移行時間設定 3-22

使用 / 不使用の設定 3-27

か

改ページ待ち時間 付録 -16

カウンタ制限の初期値 4-20

書き込み余白 1-26

画質

初期設定 3-4

画面変更（基本機能） 3-13

画面変更（追加機能） 3-13

カラー紙 付録 -9

管理者暗証番号変更 3-26

き

機能組み合わせ表 付録 -10

機能登録キー

削除 1-40

登録 1-40

表示 / 非表示の設定 3-12

給紙元 1-2

鏡像コピー 1-35

く

区点コード表 付録 -18

グレースケール 付録 -16

黒筋軽減処理 3-5

け

原稿サイズ混載コピー 1-36

原稿サイズ選択 1-3

登録方法 3-30

原稿サイズについて vii

原稿自動検知設定 3-21

原稿セット向き 1-7

初期設定 3-22

言語切替 3-36

こ

コピー / プリンタ出力の管理 4-18

コピー機能 1-1

コピー枚数 1-6

部数制限 3-11

さ

再コピー

削除 1-31

出力 1-30

初期設定 3-12

設定 1-30

先頭ページの出力 1-31

再生紙 付録-9

サブネットマスク 付録-16

し

地色調整 3-5

システムメニュー 3-1

自動回転コピー 1-32

初期設定 3-10

自動低電力モード 付録-17

移行時間設定 3-23

自動濃度調整

初期設定 3-8

自動倍率優先設定 3-8

自動用紙選択機能 付録-17

自動用紙選択設定 3-6

用紙種類の指定（自動用紙） 3-7

集計サイズ 4-21

縮小 / 拡大設定 3-9

出力管理機能

出力管理機能を使用するには 2-3

〔出力状況〕画面 2-3

説明 2-2

手動濃度調整

初期設定 3-9

小冊子

シート原稿 1-23

見開き原稿 1-25

使用制限

コピー 4-6, 4-8

出力制限 4-7

説明 4-5

ファクス 4-7

プリンタ 4-6, 4-9

変更 4-11

初期設定

コピー初期設定 3-2

部門管理初期設定 4-16

マシン初期設定 3-14

白黒反転コピー 1-35

仕分けコピー 1-9

初期設定 3-10

す

ステータスページ 付録-17

ステープルコピー 1-10

せ

静音モード 3-25

制限超過時の設定 4-20

センター移動コピー 1-16

そ

増設メモリ 付録-17

ソートコピー

初期設定 3-10

た

正しくお使いいただくために

原稿および用紙サイズについて vii

使用説明書について vi

商標について iii

本書の読みかた vii

試しコピー 1-29

て

手差しトレイ 付録-17

手差し設定の確認画面表示設定 3-17

手差しトレイの用紙サイズ登録 3-17

用紙サイズの設定 3-29

用紙種類の設定 3-29

デフォルトゲートウェイ 付録-17

電源投入時モード 3-24

と

トータルカウンタの参照と印刷 3-35

特定用紙種類の動作設定 3-20

とじしろコピー 1-14

初期設定 3-11

トラブルが発生した場合 5-2

ドラムリフレッシュ 3-31

自動ドラムリフレッシュ 3-28

の

濃度ステップ設定 3-4

濃度モード設定 3-3

は

排紙先選択 1-33

初期設定（コピー） 3-23

初期設定（ファクス） 3-24

はがき 付録 -8

ひ

表紙付け 1-22

表紙用紙カセット 3-8

ふ

封筒 付録 -8

部門管理

コピー 4-16

プリンタ 4-17

集計 4-12

使用制限 4-5

初期設定 4-16

新規部門登録 4-4

説明 4-2

ファクス 4-19

部門削除 4-9

部門情報修正 4-10

有効 / 無効の設定 4-15

設定中の操作 4-22

部門管理集計

全部門集計 4-12

部門別集計 4-13

部門登録外の印刷（プリンタ） 4-18

プリンタエラーレポート 4-17

プリンタドライバ 付録 -17

プレプリント 付録 -9

プログラムコピー

削除 1-39

登録 1-38

プログラムを使ったコピー 1-38

名称の変更 1-39

へ

ページ集約コピー 1-11

ページ番号 1-20

ほ

報知音 3-25

本書の読みかた vii

ゆ

優先カセット設定 3-7

よ

用紙 付録 -2

基本仕様 付録 -2

適正な用紙の選択 付録 -3

特殊な用紙 付録 -6

用紙サイズについて vii

用紙サイズの設定 3-15

用紙種類自動設定（はがき） 3-18

用紙種類の設定 3-16

用紙種類の属性

用紙の重さ 3-19

両面印刷 3-20

用紙選択 3-6

ら

ラベル紙 付録 -7

れ

レポート出力 3-32

連続読み込みコピー 1-28

わ

枠消しコピー 1-17

初期設定 3-11

MEMO

印刷品質維持のため、トナーコンテナは京セラミタ純正品の使用をお勧めします。

京セラミタ製品には、数々の品質検査に合格した京セラミタ純正品のトナーコンテナをご使用ください。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

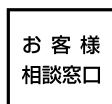
お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 **京セラ ミタジャパン株式会社**

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

<http://www.kyoceramita.co.jp>



0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。